



Gorilla

Panasonic®

取扱説明書

基本操作編

SSDポータブルカーナビゲーション

品番 CN-GP747VD

ご使用前に、「安全上のご注意」(P.6～P.13)を必ずお読みください。

- このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
 - ・説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
 - ・保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、説明書とともに大切に保管してください。
- 本書は基本的な操作を抜粋して記載しています。

詳しい操作説明については、当社サイトに掲載の取扱説明書 詳細操作編をご覧ください。P.3

※SSDとはSolid State Device (ソリッドステートデバイス) の略で、地図データの記録媒体として(大容量)フラッシュメモリーを使用したものです。

この商品は、海外ではご使用になれません。 FOR USE IN JAPAN ONLY

当社サイトで「ユーザー登録」をしてください

PC <http://panasonic.jp/navi/>

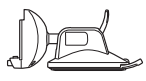
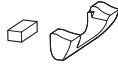
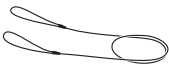
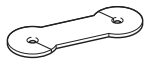
- ユーザー登録と同時に、自動的に「ナビcafe」の会員登録が行われ、インターネットでの各種サービスをご利用いただけます。

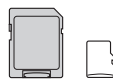


保証書別添付

内容物の確認

万一、不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

番号	品 名	数量
①	 ナビゲーション 本体	1
②	 吸盤スタンド*1	1
③	 吸盤スタンド 保護用シート	1
④	 取付用シート*2	1
⑤	 コードクリップ	3
⑥	 クッション材 (小/大)	各 1
⑦	 クリーナー ※吸盤スタンド用	1
⑧	 スタンド用 ストラップ (0.48 m)	1
⑨	 コードリール	1
⑩	 フック	1
⑪	 タッピンねじ (φ3×12 mm)	1
⑫	 シガーライターコード (12 V/24 V車対応) (1.8 m)	1
⑬	 カメラユニット	1
⑭	 カメラユニット 専用ケーブル (45 mm)	1

番号	品 名	数量
⑮	 microSDHCメモリー カード 8GB*3 ※カメラユニット専用	1
⑯	 FM-VICS用 アンテナ	1
⑰	 アンテナコード (4 m)	1
⑱	 コードクランパー	3
⑲	 クリーナー ※VICS アンテナ用	1
⑳	 アーステープ	1

* 1 印…吸盤スタンドの吸盤面には、吸盤保護用透明フィルムが貼られています。取り付けの際は吸盤保護用透明フィルムをはがしてご使用ください。

* 2 印…取付用シート裏面には、ダッシュボードに貼り付けるための粘着テープが貼られています。

* 3 印…microSDHCメモリーカードに付属の専用アダプターは、パソコンなどで使用することができます。ナビゲーション本体には挿入しないでください。

■その他添付品

品 名	数量
取扱説明書 基本操作編(本書)	1
保証書	1

※寸法は、おおよその数値です。

※イラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。

※包装材料などは、商品を取り出したあと、地域・自治体の定めに従って、適切に廃棄やリサイクルの処理をしてください。

取り付けについては下記をご覧ください。

☞「カメラユニットを取り付ける」P.20

☞「車に吸盤スタンドを取り付ける」P.22

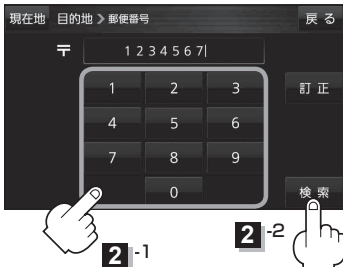
☞「車にVICSアンテナを取り付ける」P.30

別売品については下記をご覧ください。

☞「詳細操作編」

本書の読みかた

本書では、用途別に下記のマークを使用しています。本書をお読みになる前にご覧ください。

🔍 P.3 参照していただきたいページ番号を表します。	
検索 など	タッチパネル部のボタンを 黒地に白文字 で表します。
	タッチパネル操作を 表します。
2 ⁻¹	操作の順番を表します。
(例) 2 郵便番号を入力し、検索 をタッチする。 2⁻¹ 2⁻² 	

※本製品の仕様、画面表示、外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

※本書に記載の寸法・質量はおおよその数値です。

※イラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。

※画面表示などの色は実際と異なる場合があります。

※当社サイトのURLは、予告なく変更することがあります。

本機の詳しい操作説明について

本書は基本的な操作を抜粋して記載しています。

詳しい操作説明については、下記サイトに掲載の取扱説明書 詳細操作編をご覧ください。

※スマートフォンの場合は、QRコードをカメラで読み込んで
サイトにアクセスすることができます。車内でご覧になる場合は、
車を安全な場所に停車させてご覧ください。

※本書では『詳細操作編』と省略して記載しています。



[http://car.panasonic.jp/support/
manual/navi/agree.html](http://car.panasonic.jp/support/manual/navi/agree.html)

もくじ

内容物の確認	2
本書の読みかた	3
もくじ	4
安全上のご注意	6

はじめに

P.14

使用上のお願い	14
ナビゲーションシステムについて	18
現在地の測位について	18
現在地を測位するまでの時間	18
現在地の測位ができない環境について	18
現在地(自車)マークのすれについて	19
クイックGPSについて	19
自律航法(Gジャイロ)とマップマッチングについて	19
カメラユニットを取り付ける	20
カメラユニットの取り付けかた	20
カメラユニットの取り外しかた	21
microSDHCメモリーカードを カメラユニットに挿入する／取り出す	21
車に吸盤スタンドを取り付ける	22
ナビゲーションの取り付け位置について	22
取り付け上のお願い	23
取り付ける前に	23
取り付け角度・寸法について	24
吸盤スタンドの取り付けかた	24
吸盤スタンドの取り外しかた	28
コードクリップの取り付け／取り外しかた	29
車にVICSアンテナを取り付ける	30
VICSアンテナの取り付け位置について	30
取り付け上のお願い	30
取り付ける前に	30
VICSアンテナの取り付けかた	31
動作の種類と走行中の制限について	34
動作の種類について	34
走行中の制限について	34
制限される主な機能	35
電源について	35
主電源スイッチについて	35
シガーライターコード／ACアダプターで使用する	36
内蔵電池で使用する	37
本機の電源を切る	38
SDメモリーカード／ microSDHCメモリーカードについて	39
使用できるSDメモリーカード／ microSDHCメモリーカード	39
SDメモリーカードを挿入する／取り出す	40
各部のなまえとはたらき	41

ナビゲーションの操作

P.42

地図画面の見かた	42
画面のボタンについて	42
画面の表示内容について	43
地図の操作	44
地図を拡大／縮小する	44
地図表示(方位)を切り換える	44
地図スクロール(地図を動かす)	45
ナビメニュー画面／設定メニューについて	46
メニュー画面を表示する	46
現在地ボタン／戻るボタンについて	46
各メニュー画面を表示する	47
クイックメニューについて	48
設定メニューを表示する	49
自宅を登録する	50
地図から自宅／地点を登録する	51
目的地を設定する	52
登録地点から探す	52
住所から探す	53
ガイドブックを利用する	54
ガイドブック地点を利用する	55
ルートを変更する	56
経由地の追加	56
出発地／経由地／目的地の変更と削除	57
ecoドライブ情報について	58
VICS情報(FM多重)について	59
表示について	60
VICS情報(FM多重)の文字情報を見る	61
おでかけナビサポート「ここいこ」について	62
「ここいこ」ご利用の流れ	62
スマートフォンを本機に登録する	63
機器登録したスマートフォンの詳細を見る／削除する	64
接続するスマートフォンを切り換える	65
「ここいこ」で検索した地点を本機に送信する	66
検索した地点をすぐに本機に送信する	66
検索した地点を日時指定して本機に送信する	66
ランドマーク表示の設定をする	67
ガイドブック地点の設定をする	67
音声案内の音量を調整する	68
速度連動案内の設定をする	68
BLUETOOTHの設定をする	69
本機の機器名を変更する	69
本機のパスキーを変更する	70

AV・テレビ・Gアプリを楽しむ P.71

AVモードの基本操作	71
操作したいAVモードに切り換える	71
AVモードを終了する	71
音量調整する	72
AV同時動作について	73
テレビ(ワンセグ)について	74
視聴エリアを変更する	76
選局する	77
チャンネルリストを確認／選局する	77
音楽／動画／画像について	78
Gアプリについて	80

My ストッカーを使う P.81

My ストッカー／SDメモリーカードにコピーする	81
--------------------------	----

カメラユニットを利用する P.82

microSDHCメモリーカードをフォーマットする	82
カメラユニットの設置確認をする	83
カメラユニットの画質調整をする	83
カメラユニットを設定する	84
自動撮影について	84
手動撮影する	85
手動撮影の設定をする	85
カメラユニットで撮影した記録ファイルを再生する	86
記録ファイルを保存フォルダへ移動／削除する	87

システム設定をする P.88

システム設定画面を表示する	88
セキュリティコードについて	89
セキュリティコードを設定する	89
セキュリティコードを解除する	89
お買い上げ時の状態に戻す(初期化)	90
初期化される項目について	90
バージョン情報を見る	91
地図更新について	91
バージョンアップキットで地図を更新する	91
インターネットを利用して地図を更新する (Web 地図更新)	91
リャビューカメラ／ビデオ映像を表示する	92
リャビューカメラを接続する	92
ビデオカメラなどを接続する	92
映像入力設定と表示について	93
リャビューカメラ／ビデオ映像の画質調整をする	94
リャビューカメラ映像の目安線を表示する	94
リャビューカメラ映像の目安線を調整する	95

困ったとき P.96

故障かな!?	96
こんなメッセージが出たときは	104

必要なとき P.109

本機を廃棄するときのお願い	109
電池のリサイクルについて	109
リサイクル協力店について	109
電池を取り出す前に	109
内蔵電池の取り外しかた	109
地図ソフトについて	111
BLUETOOTHについて	115
VICSについて	116
商標などについて	118
仕様	120
保証とアフターサービス	122

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



危険

「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

内蔵電池に関するご注意



危険



本機は充電式電池を内蔵しています

- 廃棄時以外は、分解しない
 - 他の機器で使用したり、充電をしない
 - 火の中へ投入、加熱をしない
 - 火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・放置をしない
- 発熱、発火、破裂の原因となります。

次の安全上のご注意は、廃棄時取り出した内蔵電池に適用されます。



本機に内蔵している電池は本機専用です

- 他の機器で使用したり、充電をしない
 - 火の中へ投入、加熱をしない
 - 水などの液体への投入をしない
 - クギで刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしない
 - ⊕と⊖を金属などで接触させない
 - ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり保管しない
 - 火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・放置をしない
- 発熱、発火、破裂の原因となります。

- 取り出した電池は、必ずコネクタの金属端子部をテープなどで絶縁して、リサイクル協力店へお持ちください。

内蔵電池に関するご注意

警告



電池の液が漏れたときは、以下の処置をする

万一、液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。
皮膚や衣服に付いたときは、きれいな水でよく洗い流したあと、すぐに医師にご相談ください。

ACアダプター(別売)に関するご注意

危険



必ず、指定のACアダプターを使用する

指定以外のACアダプターを使用すると、火災や感電、故障、内蔵電池の発熱、発火、破裂の原因となります。

警告



電源プラグに付いたほこりや汚れを取り除き、根元まで確実に差し込む
感電や発熱による火災の原因となります。

- とくとき乾いた布で拭き、ほこりや汚れを取り除いてください。
- 傷んだ電源プラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。



コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない

たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。



ぬれた手で抜き差ししない

感電の原因となります。

ぬれ手禁止

注意



ACアダプターの本体部分を持ってコンセントから抜く

コードを引っ張るとコードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

ACアダプター(別売)に関するご注意



注意



通電中のACアダプターに長時間直接触れて使用しない
低温やけどの原因となることがあります。

座布団やタオル等でくるんだり上に物を置いたりしない
ACアダプターが異常に発熱し、故障や火災の原因となります。

著しく温度が高くなる場所*に置かない
故障や火災の原因となることがあります。

※直射日光のあたるところ、アイロンや暖房器具の近くなど

取り付けや配線をするとき



警告



シガーライターコード(12 V / 24 V車対応)は⊖アース車専用です
⊕アース車には使用できません。
火災や故障の原因となります。

VICS用アンテナ、車載用吸盤スタンドおよびナビゲーション本体は、保安基準に従って取り付ける
視界不良による事故の原因となります。

説明書に従って、正しく取り付けや配線をする
火災や故障の原因となります。

作業が困難な場合は、お買い上げの販売店(専門業者)へご依頼ください。

シガーライタープラグは確実に差し込む
感電や発熱による火災などの原因となります。

シガーライターソケットは、定期的に点検・清掃する
ソケットの中にタバコの灰などの異物が入ると、接触不良により発熱し、火災の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回す
ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダルなどに巻きつくと、交通事故の原因となります。

作業後は、車の電装品*の動作確認をする
正常に動作しないと、火災や感電、交通事故の原因となります。
※ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど

車載用吸盤スタンドがぬれたり、水が入ったりしないように注意する
ダッシュボードから落下し、交通事故やけがの原因となります。

警告



視界や運転を妨げる場所※、同乗者に危険をおよぼす場所には、取り付けない

交通事故やけがの原因となります。

※ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダル付近など

エアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けや配線をしない

エアバッグが動作しなかったり、動作したエアバッグで本機や部品が飛ばされ、死亡事故の原因となります。

車両メーカー・車をお買い上げの販売店に作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。

取り付けに、車の保安部品※を使わない

制御不能や発火、交通事故の原因となります。

※ステアリング、ブレーキ系統、タンクなどのボルトやナット

シガーライターソケットまたはアクセサリ用電源ソケットから複数の電源をとらない

複数の機器を接続すると、車両の定格を超えることがあり、火災や感電、故障、車両側ヒューズの断線などの原因となります。

ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って、飲み込むおそれがあります。

万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。



分解禁止

分解や改造をしない

(廃棄時に充電式電池を取り出すための分解は除く)

特に、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは、絶対におやめください。

交通事故や火災、感電、故障の原因となります。

シガーライターコードをはさみやカッターなどで切ったり被覆をはがしたりしない

火災や感電、故障の原因となります。



ぬれ手禁止

ぬれた手でシガーライタープラグの抜き差しはしない

感電の原因となります。

取り付けや配線をするとき



注意

**必ず、付属品や指定の部品を使用する**

機器の損傷や確実に固定できず、事故や故障、火災の原因となります。

車載用吸盤スタンドおよびナビゲーション本体は確実に取り付ける
走行中に外れる・落下するなど、交通事故やけがの原因となります。

- 設置面の汚れ・ワックスなどを拭き取り、スタンドを取付用シートの上に確実に取り付けてください。
- スタンドの落下を防ぐために付属のスタンド用ストラップをご使用ください。
- 車載時は、必ずナビゲーション本体をスタンドに固定してご使用ください。
また、しっかりと取り付けられていることを確認してください。

取付用シートをダッシュボードからはがす場合は、ゆっくりと、慎重にはがす

強力な粘着テープを使用しているため、無理にはがすと貼付面を傷める可能性があります。

**高温になる場所※に取り付けない**

火災や故障の原因となります。

※ヒーターの熱風などが直接あたるところなど

コードを破損しない

断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。

- 傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものを載せる、熱器具へ近づける、車の金属部や高温部に接触させるなどしないでください。
- 車体やねじ、可動部(シートレールなど)へ挟み込まないように引き回してください。
- ドライバーなどの先で押し込まないでください。

振動や傾きのある不安定な場所には、取り付けない

走行中に外れ、交通事故やけがの原因となります。

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない

水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となります。

取付用シートを貼り付ける場所の表面が柔らかい材質・本皮・木製パネル・布張りなどの場合は、貼り付けない

表面仕上げを傷める場合があります。

カメラユニットやナビゲーション本体のカメラユニット専用端子とパソコンなどの機器を接続しない

パソコンなどの機器に接続した場合、故障の原因となります。

警告



ルート案内中でも、常に、実際の交通規制に従う
交通事故の原因となります。

必ず規定容量のヒューズを使用する
また、交換は専門技術者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。
ヒューズ交換や修理は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」に依頼してください。

医療用電気機器などへの影響を確認する
また、病院や航空機内など、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う
電気機器*の近くでは、電源を切る

電気機器や医療用電気機器が誤作動するなどの影響を与える場合があります。
病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従ってください。

- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着した方がいる可能性があるので、電源を切ってください。
- 心臓ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用になる場合は、当該の各医療用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響について必ずご確認ください。

※心臓ペースメーカー、その他医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他自動制御機器など

自動車で使用する場合は、必ず付属のシガーライターコードを
ナビゲーション本体に接続し、付属の吸盤スタンドに装着して
使用する

ナビゲーションの性能を発揮できず、事故やけがの原因となります。



本機を自動車および歩行時以外*には、使用しない

ナビゲーションの性能を発揮できず、事故やけが、火災、故障の原因となります。

- 本機のルート案内は自動車専用のものです。歩行時には参考としてご使用ください。
- ※船舶・航空機・自転車・バイクなど

運転中や歩行中に操作したり、画像や表示を注視しない

交通事故やけがの原因となります。

車載時は、必ず安全な場所に停車してご使用ください。

歩行時は、必ず安全な場所に立ち止まってご使用ください。

故障や異常な状態のまま使用しない

画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因となります。

カード類は、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って、飲み込むおそれがあります。

万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。



警告

**屋外で使用する場合には、雨水・海水などがかかる場所やほこりの多い場所で使用しない**

本機は防水・防塵構造ではありません。
火災や発煙、発火、感電、故障の原因となります。

機器内部に、水や異物を入れない

金属物や燃えやすいものが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、
発火、感電、故障の原因となります。
飲み物などがかからないようにご注意ください。

シガーライタープラグに水などをかけない

ショートや絶縁不良で発熱し、火災や発煙、発火、感電の原因となります。
飲み物などがかからないようにご注意ください。

通電中のナビゲーション本体に長時間直接触れて使用しない

低温やけどの原因となることがあります。
手に持って長時間使用しないでください。

大きな音量で使用しない

周囲の音が聞こえないことによる交通事故の原因となります。

運転中や歩行中、周囲の音が聞こえないと危険な場所※でヘッドホンを使わない

交通事故の原因となります。密閉型(周囲の音が聞こえにくくなるタイプ)は、
使用しないでください。

※踏切や横断歩道、駅のホーム、車道、工事現場など

ヘッドホン使用時は音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力が損なわれる原因となります。

**雷が鳴りだしたら、本機に触らない**

落雷による感電のおそれがあります。

接触禁止

注意



ナビゲーション本体と車載用吸盤スタンドの温度を確認してから着脱や角度調整をする

高温環境での放置(直射日光などが長時間あたっていた場合)や連続使用した場合などは、スタンドなどが高温になり、やけどをするおそれがあります。

ヘッドホン接続前に音量を下げる

音量を上げすぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因となることがあります。

音量は少しずつ上げてご使用ください。

取り付け状態を定期的に点検する

走行中に外れる・落下するなど、交通事故やけがの原因となります。
スタンドやスタンド用ストラップにゆるみがないか確認してください。



本機の上に重いものを載せたり、乗ったりしない

落下させる、たたくなど、強い衝撃を与えない

故障や火災の原因となります。

ワンセグ用ロッドアンテナに目や顔を近づけない／人に向けない

アンテナの先端に接触して、事故やけがの原因となります。

アンテナを伸ばして使用するときは、周囲に十分に注意してください。

異常発生時やお問い合わせは

まず、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」にご相談ください。

- お客様による修理は、絶対におやめください。

使用上のお願い

●お買い上げ時や、長時間で使用しなかったときの内蔵電池の残量について

- お買い上げ時は、内蔵電池が十分に充電されていませんので、充電してからご使用ください。
また、長時間で使用しなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。[P.37]
- お買い上げ時、内蔵電池が十分に充電されていない状態では、自転車位置情報(GPS衛星データ)が保持されず、次回起動時に現在地(自転車)マークが東京駅周辺を表示する場合があります。
(お買い上げ時はシガーライターコードまたはACアダプター(別売)を接続し、目安として1時間程度充電しながらご使用ください。)

●内蔵電池の使用について

- ルート探索／登録地点情報の書き出し、書き替え／Myストッカー／Gアプリなどの操作を行う場合は必ず内蔵電池を満充電にし、内蔵電池の残量に注意しながら操作してください。動作中に内蔵電池の残量がなくなると、大切なデータが壊れる場合があります。
- ルート案内はシガーライターコードまたはACアダプター(別売)を使用してください。
- 内蔵電池の残量がなくなると、自転車位置情報(GPS衛星データ)が保持されません。内蔵電池の充電は定期的に行ってください。

●使用中に発生する熱について

- 長時間で使用になると本機が熱くなりますが、異常ではありません。

●温度について

- 推奨動作温度(0℃～+50℃、ACアダプター(別売)使用時は0℃～+40℃)の範囲外の場合で使用すると、正常に動作しない場合や、本機の故障を防ぐために自動的に電源が切れる場合があります。この場合、主電源スイッチを切り、推奨動作温度の場所で再度主電源スイッチを入れてください。
- 充電は必ず+10℃～+35℃の温度範囲で行ってください。

●車内で使用するときのお願い

- 安全のため、走行中は本機の機能・操作が一部制限されます。
必ず安全な場所に停車してご使用ください。(テレビ(ワンセグ)・動画再生は、走行中には映像が表示されず、音声のみとなります。)
- 本機は車速感応タイプ走行規制で走行／停車判定を行うため、低速走行時、発進停止の繰り返しなどに正しく判定ができないときがあります。走行中でも操作や映像視聴ができてしまう場合がありますが、操作したり映像や表示を注視しないでください。また、停車中でも一部の操作ができなかったり、映像視聴できない場合があります。
- シガーライター電源で使用するときは、エンジンをかけてご使用ください。
エンジンを止めて長時間使用すると、バッテリーが消耗します。
(アイドリングが禁止の地域もありますので、地域の条例に従ってください。)

●使用場所について

- 本機の内部に熱がこもるため、ふとんやじゅうたん、カーペット、座布団など熱をにがしにくいものの上に置いて長時間使用しないでください。
- 本体の塗料がはがれるため、ウレタン系シートやゴム系シート、ビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。

●カメラユニットの使用について

- 付属のカメラユニットのみでは使用できません。必ずカメラユニットにmicroSDHCメモリーカードを挿入し、ナビゲーション本体に取り付けてからご使用ください。
- 本機は衝撃を検知して映像を記録する装置ではありません。
- 自動撮影時は常に記録を繰り返しますが、全ての状況において撮影した映像を保証するものではありません。
- カメラユニットで撮影した映像は、事故などの証拠として効力を保証するものではありません。
- LED式信号機などを撮影すると、点滅して表示されたり、色の識別ができない場合があります。
- 推奨動作温度(0℃～+50℃)の範囲外で使用すると、映像が黄色く表示されるなど、正常に動作しなかったり、撮影を停止する場合がありますので、推奨動作温度の範囲でご使用ください。
- 冷暖房を入れた直後など、結露でカメラユニットのレンズがくもる場合があります。
- カメラユニットのレンズを手で触らないでください。
- 音声を録音することはできません。

●液晶ディスプレイについて

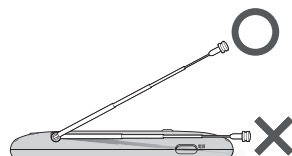
- 先端が固いもの(ボールペン、ピン、爪の先など)は使わず、必ず指で触れて操作してください。また指でたいたり、強く押さないでください。傷、破損、誤動作の原因となります。
- 液晶の保護シートを使用すると、正常に動作しないおそれがあります。
- 内部照明装置(バックライト)が暗くなる場合がありますが、本体の温度が下がると元に戻ります。
- 車から離れるとき(本機を使用しないとき)は、本機に直射日光が当たらないように、車のサンシェードなどをお使いください。
- 低温になると、映像が出ない、映像が出るのが遅い、動きに違和感がある、画質が劣化したりすることがあります。
- 冷暖房を入れた直後など、水蒸気で画面がくもったり、露(水滴)で、正しく動作しないことがあります。約1時間放置してからご使用ください。
- 液晶ディスプレイの画素は、99.99%の精度で管理されていますが、0.01%以下で画素欠けするものがあります。そのため、黒い点が現れたり、赤・緑・青の点が常時点灯する場合がありますが、故障ではありません。

●お手入れについて

- ナビゲーション本体は、電源を切り、乾いた柔らかい布で拭いてください。
- 液晶ディスプレイは、市販のクリーニングクロスで拭いてください。
- ベンジンやシンナー類、マニキュア除去液、アルコール類などは使用しないでください。(塗装が変質するおそれがあります)
- 化学ぞうきんは、注意書きに従って、お使いください。

●GPSアンテナ(本体の上面に内蔵)について

- 本体の上面にペンキなどを塗ったり、シールや紙などを貼らないでください。GPS衛星電波を受信できなくなることがあります。
- 本体の上面にワンセグ用ロッドアンテナや、動作中の他の電気製品(テレビ、ラジオ、パソコンなど)を近づけないようにしてください。GPS衛星電波を受信できなくなることがあります。



●磁気について

- 本機に磁気を帯びたものを近づけないでください。誤動作を引き起こす可能性があります。
- 磁気カード(キャッシュカードなど)を本機に近づけないでください。磁気データが消えてしまうことがあります。

●受信妨害について

- 本機は強い電波を送受信する機器(ETC車載器、DSRC車載器、無線機、レーダー探知機など)からなるべく離れた場所に取り付けてください。また、携帯電話は、なるべく本機から離してご使用ください。これらの機器の近くで本機を使用すると、下記のようなことが起こる場合があります。
 - ・本機の映像や音声 that 乱れる
 - ・現在地を正しく表示できない
 - ・テレビ(ワンセグ)が受信しづらくなる
 - ・本機の近くで使用している機器(上記など)が正常に動作しない
- 動作中のテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで、本機を使用しないでください。本機のテレビ(ワンセグ)やGPS衛星電波の受信状態が悪くなったり、テレビ、ラジオなどの受信状態が悪くなる場合があります。

●ご使用にならないときは

- 極度な高温・低温になる場所に放置しないでください。夏季の閉め切った車内、長時間直射日光や暖房器具の熱が直接あたるところ、極端な低温になるところに放置すると、変形・変色・故障の原因となります。
- 使用しないときは、必ず電源を切って常温の場所に保管してください。

●持ち運ぶとき／収納するときは

- 液晶ディスプレイを持たないでください。
- 付属のカメラユニットを取り外してください。
- ワンセグ用ロッドアンテナは収納し、接続している機器やコード類などを取り外してください。
- 持ち運びの際は、必ず電源を切ってください。
音楽を聞きながら持ち運ぶときは、画面消しにしてください。
- 液晶ディスプレイ破損を防止するため、下記の点に気を付けてください。
 - ・ズボンのポケットに入れたまま座らない
 - ・かばんの底など、無理な力が加わるところに入れない
 - ・ストラップなどのアクセサリや鍵などの金属や硬いものがあたらないようにする

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。

特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのもひとつの方法です。



ワンセグ放送の受信について

- 受信状態が悪くなると、映像のブロックノイズや音声の途切れ、静止画面や黒画面となり音声がなくなることがあります。
- 固定して使用する家庭用と異なり、車の場所や方向、速度などにより受信状態も変化します。
- 本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた携帯電話などを近づけると、映像が乱れたり音声が途切れたりする場合があります。本機から離してご使用ください。
- 地域、天候により電波・受信状況が変わる場合があります。
- 本機の仕様は、ARIB(電波産業会)規格に基づいています。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。

著作権などについて

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- お客様がビデオデッキなどで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- 撮影した映像や画像は、個人で楽しむ以外は、権利者に無断で使用できません。
個人使用目的でも撮影が制限されている場合があります。
- 本機を利用して、本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。
- お客様が本機を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律・条例(迷惑防止条例など)に従い処罰されることがあります。
- 本機は許諾契約に基づき当社が使用許諾を受けた第三者のソフトウェアを含んでおり、本機からのソフトウェアの取り出し、複製、リバースエンジニアリング、その他の許諾されていない当該ソフトウェアの使用は固く禁じられています。また、当該ソフトウェアを更新する目的で配布されるプログラム、データについても同様の扱いとなります。

免責事項について

- 火災や地震、第三者による行為、その他の事故、取り付けの不備、お客様の故意または過失、誤用、異常な条件下での使用により故障および損害が生じた場合、原則として有料での修理とさせていただきます。
- 本機の使用や使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など)に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機のナビゲーション機能および地図データは、道路上での使用を前提に作られています。船舶や航空機の航行補助装置や登山用の地図など、本来の使いかたから逸脱した使用により生じた損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機を業務用のバスやトラック、タクシー、商用車などに使用した場合の保証はできません。
- 本機を観光やガイドなどの業務目的に使用した場合の保証はできません。
- プライバシー保護のため、登録または記録した個人情報(登録地点の位置や電話番号など)は、お客様の責任において取り扱いや管理を行ってください。当社は一切の責任を負いかねます。
- 次の場合、補償はできません。
 - ・ 誤使用や、静電気などの電氣的なノイズを受けたことにより本機が正常に動作しなくなった場合
 - ・ 誤使用や、静電気などの電氣的なノイズを受けたとき、または故障・修理のときなどに本機に登録されていた情報が変化・消失した場合

- 大切な情報(登録地点など)は、万一に備えてメモなどをとっておくことをおすすめします。
- 説明書に記載されている注意事項を守らないことによって生じる不具合に対しては、当社は責任を負いかねますのでご注意ください。正しく取り扱わなかった場合や通常の使用目的から逸脱した使い方をされた場合などは保証の対象外となりますので正しくご使用ください。

ナビゲーションシステムについて

現在地の測位について

本機ではGPS、準天頂衛星システム「みちびき」、グロナスの3衛星を利用して現在地測位を行います。

●GPS(Global Positioning System)

アメリカ国防総省によって運用されている衛星測位システムです。

●準天頂衛星システム「みちびき」

宇宙航空研究開発機構(JAXA)によって打ち上げられた、日本の準天頂衛星システムの初号機です。

※現在、準天頂衛星システムは電波を受信できる時間帯が限られます。

●グロナス(GLONASS : Global Navigation Satellite System)

ロシア宇宙軍によって運用されている衛星測位システムです。

※衛星側の技術的トラブルや運営機関の事情により、精度が落ちたり電波を利用できなくなることがあります。

※本書では特にことわりのない限り、上記衛星を利用する機能や受信する電波を「GPS情報」「GPS衛星電波」など総称して表記しています。

現在地を測位するまでの時間

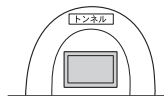
本機をお買い上げ後、初めてご使用になるときや、長時間ご使用にならなかったときは、現在地を表示するまでに15～20分程度かかることがあります。

見晴らしの良い場所をしばらく走行し、現在地周辺の地図が表示されていることを確認してください。

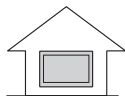
現在地の測位ができない環境について

次のような環境では、GPS衛星電波が受信しにくくなり、現在地の測位ができません。

●トンネルの中



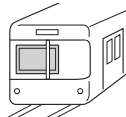
●建物の中



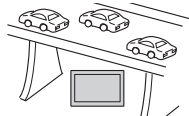
●樹木の間



●自動車以外の乗り物の中



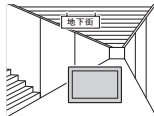
●高速道路の下



●高層ビルなどの間



●地下街



●曇り／雨などの悪天候



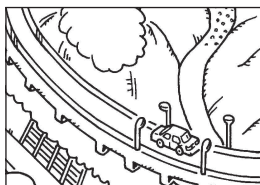
※同じ場所でも、次のような理由でGPS衛星の受信数が変動します。

- GPS衛星は地球の周りを移動する周回衛星であり、時間によって位置が変わるため。
- GPS衛星電波の受信は、GPS衛星の周波数に近似した他の電波の影響を受けるため。
- 車内でご使用の機器(ETC車載器、DSRC車載器、無線機、レーダー探知機など)の妨害、または一部の車種に使用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムなどにより電波がさえぎられ受信感度が悪化したり受信しなくなることがあるため。

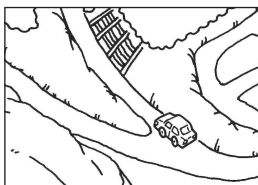
現在地(自車)マークのずれについて

現在地(自車)マークの位置や進行方向は、下記のような走行条件などでずれることがあります。GPS衛星電波をさえぎる障害物がない見晴らしの良い場所を、しばらく走行すると現在地の位置が補正され、正常に使用することができます。

- 直線や緩やかなカーブの長距離走行



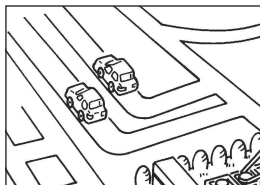
- 緩やかなY字路の走行



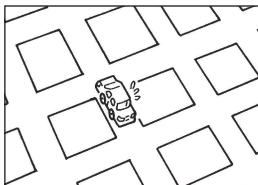
- S字の連続する道路の走行



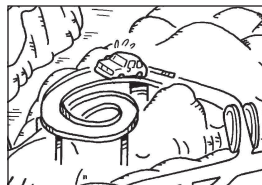
- 近くに似た形状の道路がある所の走行



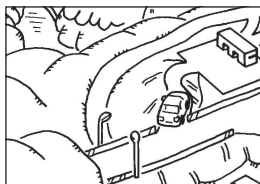
- 碁盤目状の道路の走行



- ループ橋などの走行



- 地図画面に表示されない道路、新設された道路、形状が変わった道路などの走行



お知らせ

- エンジンを開始してすぐ走行した場合も、現在地(自車)マークの向きがずれることがあります。
- 現在地(自車)マークの位置／方向を手動で修正することもできます。

クイックGPSについて

本機が過去に受信したGPS衛星データを用いて現在のGPS衛星位置を予測することにより、GPS衛星を捕捉しやすくし、起動時の捕捉までの時間も早めます。

前回のGPS衛星電波受信後から6日以上経過している場合には機能しません。また、前回GPS衛星電波を受信した状況と起動時の状況の違いによっては、機能しない場合があります。

自律航法(Gジャイロ)とマップマッチングについて

GPS衛星電波を受信しにくい高架下やトンネルなどでも、本機に搭載のジャイロセンサーと加速度センサーを利用した自律航法で現在地を補正します。現在地が道路以外(例えば川の中など)になった場合は、マップマッチングで誤差を補正し、近くの道路に現在地を表示します。

- 自律航法は車動作時のみ機能します。
- 自律航法は、GPS衛星電波を受信してしばらく走行し、センサー学習をしてから動作を始めます。
- 自律航法動作時でも、GPS衛星電波を受信できない状態が長く続くと、自車位置に誤差が生じる場合があります。

カメラユニットを取り付ける

付属のカメラユニットをナビゲーション本体に取り付けます。

お願い カメラユニットを取り付け／取り外しする場合は、ナビゲーション本体の主電源スイッチを必ず「切」にしてください。

※撮影するにはmicroSDHCメモリーカードが必要です。付属のmicroSDHCメモリーカードをカメラユニットに挿入し、本機でフォーマットを行ってからご使用ください。[P.82]

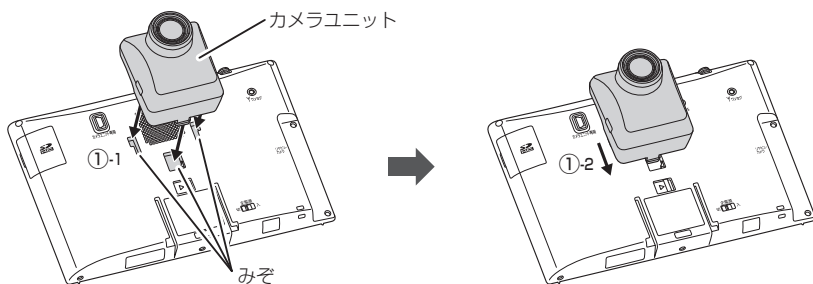
はじめに

カメラユニットの取り付けかた

1

カメラユニットをナビゲーション本体に取り付ける。

- ① カメラユニットのツメをナビゲーション本体のみぞに入れ、“カチッ”と音がするまで下向きにスライドさせる。

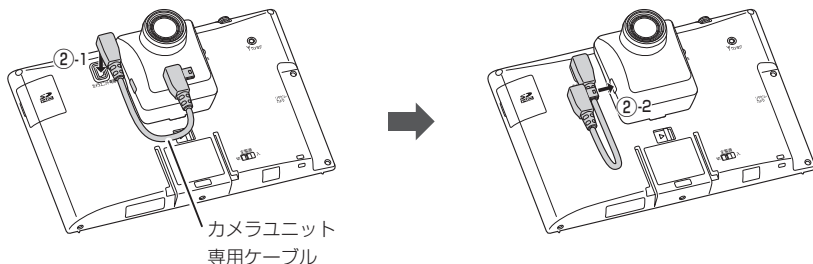


- ② 付属のカメラユニット専用ケーブルをナビゲーション本体側のカメラユニット専用端子に接続し、カメラユニット側のカメラユニット専用端子に接続する。

※カメラユニット専用端子の形状や向きに注意して、下記イラストのように取り付けてください。

※カメラユニット専用ケーブルのコネクタは両端同じ形状ですのでどちら側でも接続することができます。

※付属のカメラユニット専用ケーブル以外は絶対に接続しないでください。

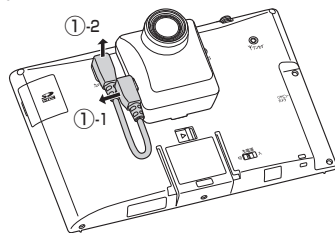


カメラユニットの取り外しかた

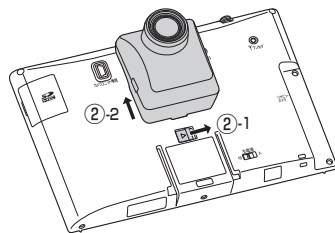
1 カメラユニットをナビゲーション本体から取り外す。

① 付属のカメラユニット専用ケーブルを取り外す。

※カメラユニット側から先に取り外してください。



② カメラユニットロックレバーを右側にスライドさせながらカメラユニットを上向きにスライドさせる。



③ カメラユニットをナビゲーション本体から取り外す。

microSDHC メモリーカードをカメラユニットに挿入する／取り出す

※カメラユニットをナビゲーション本体に取り付けているときは、必ずナビゲーション本体の電源を切った状態で、microSDHC メモリーカードの抜き差しを行ってください。

■ 挿入する場合

① カメラユニットのmicroSDHC メモリーカード挿入口カバーを開け、microSDHC メモリーカード挿入口にmicroSDHC メモリーカードを挿入する。

※矢印の方向に“カチッ”と音がするまで差し込んでください。

※ microSDHC メモリーカードを挿入した後は、microSDHC メモリーカード挿入口カバーをしっかりと閉めてください。

microSDHC メモリー
カード挿入口カバー

microSDHC メモリー
カード挿入口



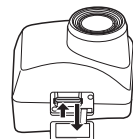
microSDHC メモリーカード

印字面

■ 取り出す場合

① microSDHC メモリーカード挿入口カバーを開け、microSDHC メモリーカードを1回押してから取り出す。

※ microSDHC メモリーカードを取り出した後は、microSDHC メモリーカード挿入口カバーをしっかりと閉めてください。



車に吸盤スタンドを取り付ける

付属の吸盤スタンドを車に取り付けます。

※作業が困難な場合は、本機または車をお買い上げの販売店や最寄りのカー用品専門店にお問い合わせください。(作業工賃が発生した場合は、お客様のご負担となりますのでご了承ください。)

ナビゲーションの取り付け位置について

国土交通省の定める保安基準*に適合させるため、下部イラストのように、運転者の視界を妨げないように取り付けてください。また、前面ガラスおよび側面ガラス(運転者席の左右)への取り付けは、保安基準第29条に不適合となりますので、絶対におやめください。

*印…道路運送車両の保安基準 第21条(運転者席)

道路運送車両の保安基準 第44条(後写鏡等)

最新の保安基準は、国土交通省のWebサイトをご確認ください。

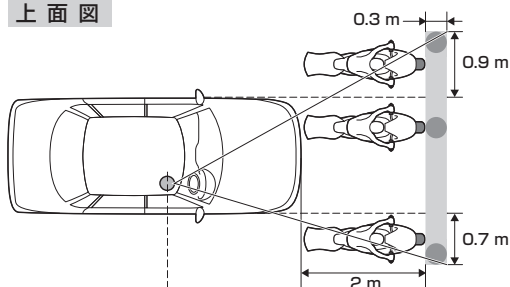
前方視界について

基準概要

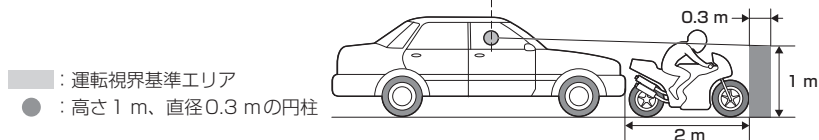
自動車の前方2 mにある高さ1 m、直径0.3 mの円柱(6歳児を模したものを鏡等を用いず直接確認できること。

- 図は右ハンドル車の例です。
左ハンドルの場合は、左右逆になります。

上面図



側面図



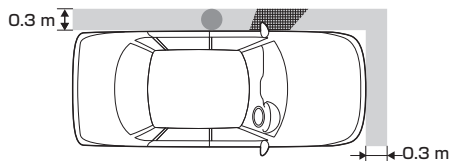
■ : 運転視界基準エリア
● : 高さ1 m、直径0.3 mの円柱

直前直左視界について

基準概要

自動車の前面及び左側面(左ハンドル車にあっては右側面)に接する高さ1 m、直径0.3 mの円柱(6歳児を模したものを直接に又は鏡、画像等により間接に視認できること。

- 図は右ハンドル車の例です。
左ハンドルの場合は、左右逆になります。



■ : 運転視界基準エリア
● : 高さ1 m、直径0.3 mの円柱
■ : 適用外エリア
(Aピラーまたは室外後写鏡により視界が遮られるエリア)

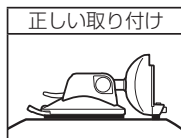
取り付け上のお願ひ

- 吸盤スタンドを取り付ける前に、取り付ける位置を決め、取り付け場所でナビゲーション本体がGPS衛星電波やワンセグを受信できるかどうか確認してください。
- 必ず指定の吸盤スタンドを使用してください。
- フロントガラスには取り付けないでください。
- 吸盤スタンドや取付用シートなどの貼り付け場所は必ず付属のクリーナーできれいに拭き、ほこりや油分などを取り除いて完全に乾燥させてから貼り付けてください。
※車によってはクリーナーでダッシュボードが変色する場合があります。あらかじめ目立たない部分で試してからご使用ください。変色した場合は、付属のクリーナーを使用せず、水にひたした布(毛羽立たない素材など)を固くしぼって拭いてください。
※ベンジンやシンナー類などは使用しないでください。
- 取付用シートなど粘着テープを使用する付属品は貼りなおさないでください。
- 運転前は、吸盤が確実に吸着していることを確認してください。

説明書に記載されている注意事項を守らないことによって生じる不具合に対しては、当社は責任を負いかねますのでご注意ください。正しく取り扱わなかった場合や、通常の使用目的から逸脱した使い方をされた場合などは保証の対象外となりますので正しくご使用ください。

取り付ける前に

- エアバッグが装着されている車両に取り付ける場合は、絶対にエアバッグのカバー部分および作動時の妨げになる場所には取り付けないでください。
(取り付け位置の安全性を考慮し、販売店またはカー用品専門店にご相談の上、取り付け位置を決めてください。)
- 吸盤スタンドおよび取付用シートの貼り付け位置はダッシュボード上の凹凸のない平らな面をお選びください。また、吸盤スタンドをダッシュボード上に軽く置いたときに吸盤の外周がダッシュボードと均等に密着し、すき間がないことを確認してください。
- 下記のような場所には絶対に取り付けないでください。吸盤スタンドが外れ落下するおそれがあります。

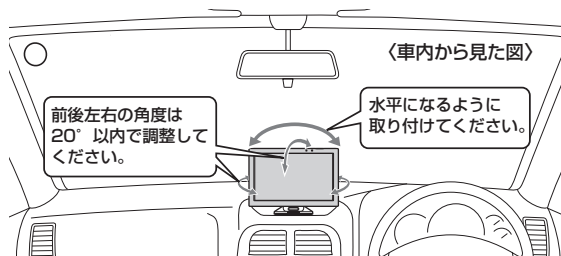


取り付け面が密着しない曲面	傾いた面	不安定な面	垂直な面

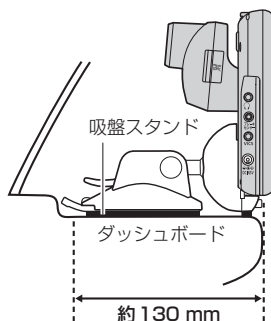
取り付け角度・寸法について

ナビゲーション本体の取り付けには、下記の角度および取り付けスペースを参考にしてください。

取り付け角度



取り付けスペース



※付属の吸盤スタンドを使用して、ナビゲーション本体をしっかりと固定してください。

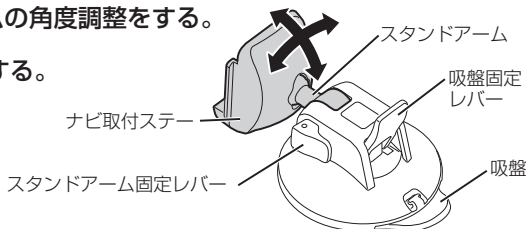
※自律航法の誤差を少なくするため前後左右の角度は20°以内で調整してください。

吸盤スタンドの取り付けかた

1

ナビ取付ステーとスタンドアームの角度調整をする。

① ナビ取付ステーの角度を調整する。



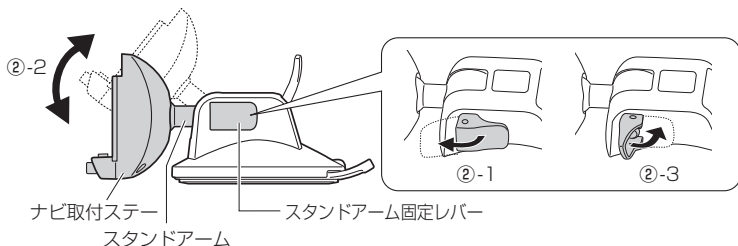
お願い

ナビ取付ステーはスタンドアームに対して自由な方向に動かせます。動きが固すぎる／固定具合が弱すぎる場合は、右記のように正面のねじをドライバーなどの工具で調整してください。

※ナビゲーション本体を取り付けて使用中、ゆるまな程度に動きが固めの状態にしてください。



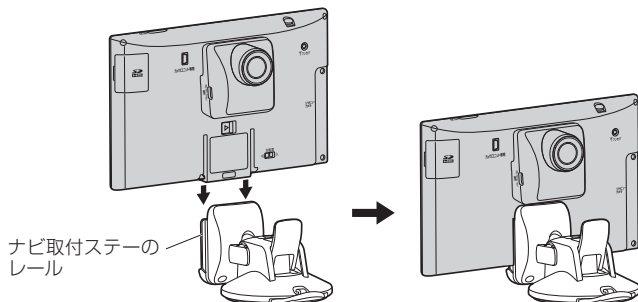
② スタンドアーム固定レバーを起こして、スタンドアームとナビ取付ステーの上下位置を調整し、スタンドアーム固定レバーを倒して固定する。



2

ナビ取付ステーにナビゲーション本体を取り付ける。

※ナビゲーション本体裏面のみぞをナビ取付ステーのレールに合わせて、“カチッ”と音がするまで入れてください。

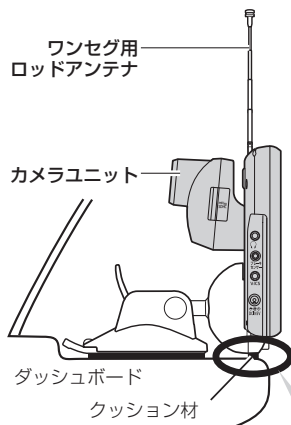


3

ダッシュボード上の見やすいところに取り付ける位置を決める。

※シガーライターコードを接続し、ナビゲーションを起動してカメラ映像を表示しながら、取り付ける位置を決めてください。【P.83】

※取り付け位置が決まったら、ナビ取付ステーからいったんナビゲーション本体を取り外してください。取り外しかたについては、【P.28】をご覧ください。



お願い

- カメラユニットがフロントガラスに当たらないようにしてください。
※吸盤スタンドの取り付け位置で、ナビゲーション本体の着脱を行ってもカメラユニットがフロントガラスに当たらないことも確認してください。
- ワンセグ用ロッドアンテナをまっすぐ上にのばしてフロントガラスに当たらないことを確認してください。

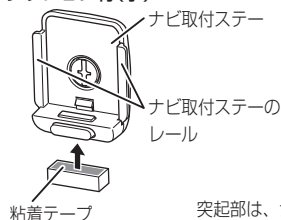
振動によるぐらつきやダッシュボードへの傷、カメラ映像のブレなどを防ぐため、ナビ取付ステーの底面に付属のクッション材(小/大のいずれか)を必ず貼り付けて、クッション材がダッシュボードに当たるように調整してください。

※振動でぐらついたり、カメラ映像がブレる場合は、クッション材(大)をご使用ください。

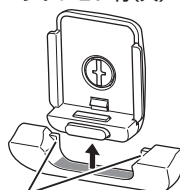
※ダッシュボードに強く当てすぎると吸盤が外れる場合があります。

粘着テープのはくり紙をはがし、ナビ取付ステーに貼り付けてください。

クッション材(小)



クッション材(大)

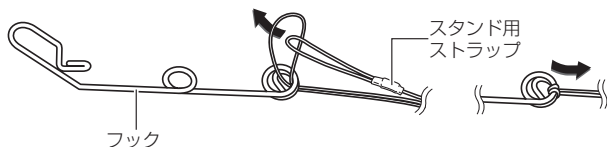


突起部は、ナビ取付ステーのレールの裏面に当たるようにしてください。

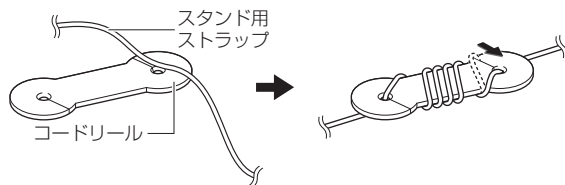
4

フックおよびスタンド用ストラップを取り付ける。

① フックにスタンド用ストラップを取り付ける。



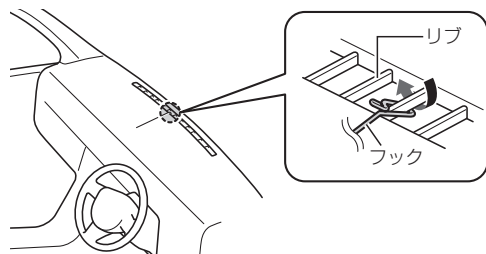
② スタンド用ストラップをコードリールに適度な長さまで巻き付ける。



③ フックを車のデフロスタ*のリブ部へ取り付ける。

※デフロスタへの取り付けは、スタンド用ストラップを取り付けていない方のフックを取り付けてください。

*印…デフロスタとは車のフロントガラスの送風口のことです。

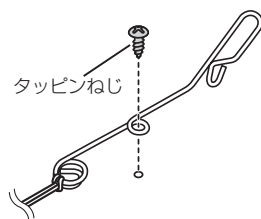


デフロスタへ取り付けできない場合は、付属のタッピンねじでフックを固定してください。

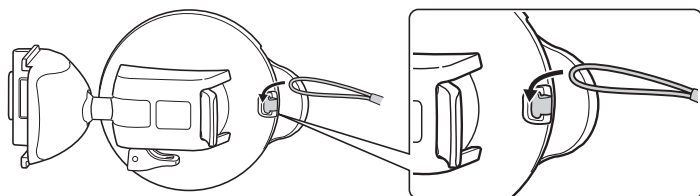
※ダッシュボードに穴があくことをご了承ください。

お願い

タッピンねじを取り付ける時に、ダッシュボードが割れる可能性やダッシュボード内の配線などに干渉する可能性がありますので、お買い上げの販売店またはカー用品専門店へご相談ください。



④ 吸盤スタンドにスタンド用ストラップのもう一方を取り付ける。



取付用シートを貼り付ける。

※ダッシュボードの材質や表面状態によっては、吸盤の吸着力が十分得られないことがありますので、必ず付属の取付用シートを使用してください。

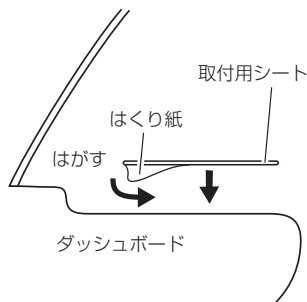
取付用シートを貼り付ける前に必ずお読みください。

- 取付用シートの貼り付け場所を付属のクリーナーできれいに拭いてください。
- 貼り付けは1回のみです。貼りなおしができないので慎重に取り付け場所を決めてください。
- 空気が入らないよう端から貼って、強く押し付けてください。
- 気温が低い(20℃以下)場合は粘着力が低下します。車内ヒーターで車内を暖めてから貼り付けてください。
- 貼り付け直後は粘着力が弱いので、必ず24時間以上、取付用シートのための状態で放置してください。

① 取り付け位置を付属のクリーナーできれいに拭き取り、完全に乾燥させる。

② 取付用シート裏面のはくり紙をはがし、
吸盤スタンドの取り付け位置に貼り付ける。

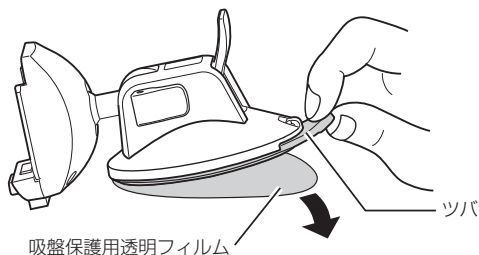
※取付用シートが浮かないよう粘着面全体を上からしっかりと押さえ、取付用シートの周囲にすき間がないように貼り付けてください。
粘着面全体が貼り付けされていない場合は、振動などで脱落するおそれがあります。



ダッシュボードに吸盤スタンドを取り付ける。

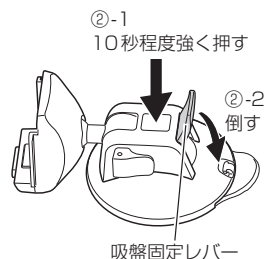
① 吸盤面に付いている吸盤保護用透明フィルムをはがす。

※すでに吸盤保護用透明フィルムをはがし、吸盤面に吸盤スタンド保護用シートを貼り付けている場合は、吸盤後方のツバ部分を持ち、ゆっくりと吸盤スタンド保護用シートをはがしてください。



② 吸盤をダッシュボードに10秒程度強く押しながら、吸盤固定レバーを倒し吸着させる。

※しっかりと吸着できているか、吸着スタンドに力を加えて確認してください。



お願い

- 吸着力を強くするため、10秒程度押し続けてください。
- 取付用シートを使用する場合は、吸盤面がはみ出さないようにしてください。
- 吸盤面が汚れると吸着力が低下しますので、定期的な清掃をおすすめします。毛羽立たない柔らかい布かスポンジに少量の水をふくませ、吸盤面の汚れを取り除くように拭き、完全に乾燥させてからご使用ください。
※水以外では拭かないでください。
- 吸盤スタンドを清掃するなどしても吸着力が弱いと感じる場合は、取り付ける位置を変更するか、取付用シートを貼り付けてから吸盤スタンドを取り付けてください。
[P.27 手順 5]
- 光沢面に吸盤スタンドを貼り付けると、吸着力が増してはがしにくくなる場合があります。光沢面に貼り付ける場合は、取付用シートをご使用ください。
[P.27 手順 5]

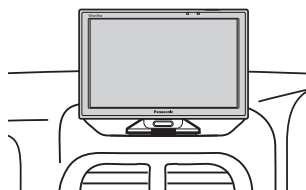
7 ナビゲーション本体を取り付ける。

※ [P.25 手順 2] を参考に、ナビゲーション本体をナビ取付ステーに取り付けてください。

※吸盤スタンドのスタンドアーム固定レバーはしっかり倒し
てください。固定が弱いと、車の振動などでレバーがゆる
み、ナビゲーション本体の取り付け角度が変わるおそれが
あります。

お願い

吸盤スタンド各部のゆるみ、吸盤が外れそうにな
っていないかなど、定期的に点検してください。



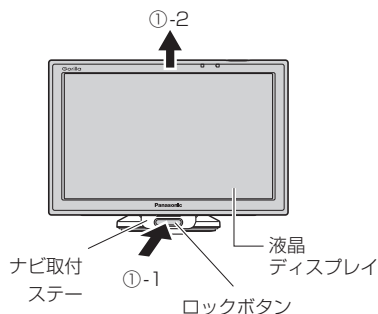
吸盤スタンドの取り外しかた

■ ナビゲーション本体をナビ取付ステーから外す場合

- ① ナビ取付ステーのロックボタンを押しながら
ナビゲーション本体を上向きに
スライドさせる。

お願い

液晶ディスプレイを持って、ナビゲーション本体
を取り付けたり、取り外したりしないでください。

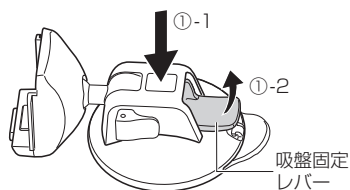


■ 吸盤スタンドをダッシュボードから外す場合

※吸盤スタンドを外す前に、吸盤スタンド後方に取り付けているスタンド用ストラップを外してください。

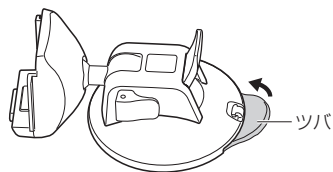
- ① 吸盤スタンドを押したまま吸盤固定レバーを持ち上げる。

お願い 吸盤固定レバーを持ち上げるときに、指をはさまないようにご注意ください。



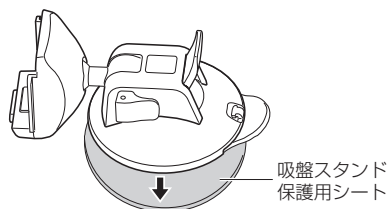
- ② 吸盤後方のツバ部分を持って吸盤スタンドを持ち上げゆっくりとはがす。

※吸盤スタンドを取り外すときに、使用環境により吸着力が強くなる場合がありますので、吸盤スタンドのツバをゆっくり持ち上げて取り外してください。



- ③ 吸盤スタンドを取り外した後、吸盤スタンド保護用シートに貼り付ける。

※取り外した後は吸盤面の汚れを取り除き、付属の吸盤スタンド保護用シートを取り付けて保管してください。



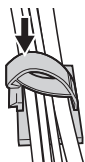
コードクリップの取り付け／取り外しかた

コードを束ねるときに付属のコードクリップを使用して束ねてください。

■ 取り付ける場合

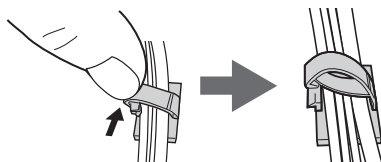
- ① コードをコードクリップに入れ、“カチッ”と音がするまで押してロックする。

※ロック後、コードクリップ裏面のはくり紙をはがし、貼り付けてください。



■ 取り外す場合

- ① 下記イラストのようにスライドさせて、ロックを解除する。



車に VICS アンテナを取り付ける

付属の VICS アンテナを車に取り付けます。

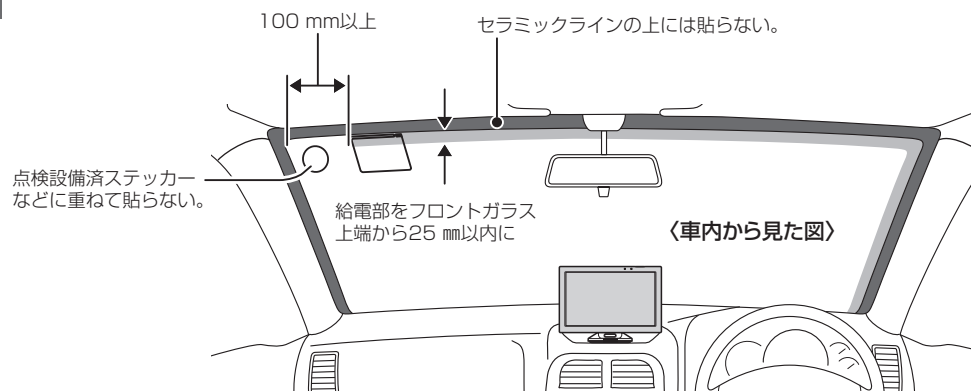
※作業が困難な場合は、本機または車をお買い上げの販売店や最寄りのカー用品専門店にお問い合わせください。(作業工賃が発生した場合は、お客様のご負担となりますのでご了承ください。)

VICS アンテナの取り付け位置について

国土交通省の定める保安基準*に適合させるため、アンテナの給電部は、取付許容範囲内(■部)に貼り付けてください。

*印…道路運送車両の保安基準 第29条(窓ガラス)、細目告示第39条および別添37

最新の保安基準は、国土交通省のWebサイトをご確認ください。



取り付け上のお願ひ

- 貼り付ける前に、付属のクリーナーで設置面(ガラス、ビラー)の汚れ(ごみ、油)などをきれいに拭き取り、はがれないようしっかり貼り付けてください。
※界面活性剤入りのクリーナーは使用しないでください。
※設置面が完全に乾くまで、作業しないでください。
※気温が低いとき(20℃以下)は、車内ヒーターやデフロスタでガラスを温めてください。
- 車種によって、性能が発揮できない場合があります。
※熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用した車種の場合、受信感度が極端に低下します。お買い上げの販売店またはカー用品専門店へご相談ください。

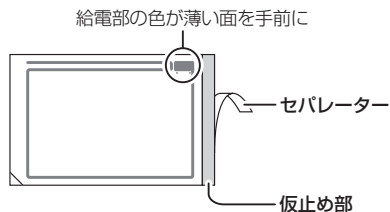
取り付けの前に

- 必ず車内(フロントガラスの上側)に貼り付けてください。
- サイドガラスやリアガラスには貼らないでください。十分な受信状態が得られません。
- 性能を十分発揮するために、必ず指定の位置に、正しい向きで貼り付けてください。
- アンテナを折り曲げないよう、お取り扱いにご注意ください。
- 仮止めて、貼り付ける位置や向きをご確認ください。(貼りなおせません)
- 妨害を防ぐため、他のアンテナから100 mm以上離して貼り付けてください。

1 フロントガラスにアンテナを貼り付ける。

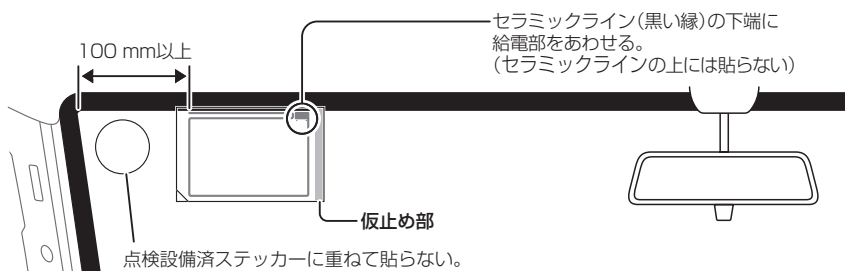
① 仮止め部のセパレーターをはがす。

※糊面に触れないでください。



② 貼り付ける位置を決めて、仮止め部をガラスに貼る。

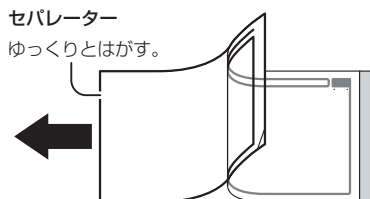
※貼り付ける位置からコードを引き回して、アース端子が正しく取り付けられるか、ナビゲーション本体へアンテナコードが届くかを確認してください。



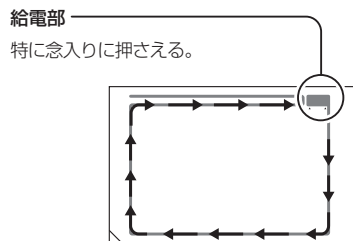
③ セパレーターをはがし、フィルムをガラスに貼り付ける。

※糊面に触れないでください。

※強く曲げる、急にはがす、引っ張るなどしないでください。断線する場合があります。

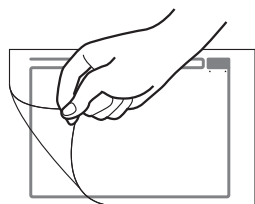


④ アンテナの上を指でこすり、ガラスに密着させる。



⑤ フィルムの左下の角を持ち、ゆっくりとはがす。

※アンテナがフィルム側に残る場合は、フィルムをもとに戻してアンテナ上をこすり、再度はがしてください。



2 アンテナコードを取り付ける。

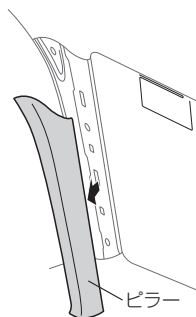
① ピラーのカバーを取り外す。

※ピラーにエアバッグが装備されている場合、取り付けできません。

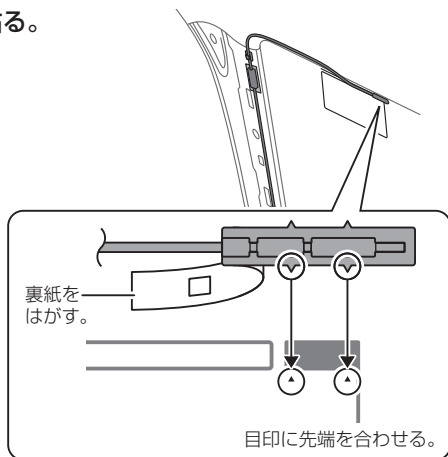
※ピラーのカバーの取り外しかたは、車種によって異なります。

詳しくは、車をお買い上げの販売店へご相談ください。

※作業が困難な場合は、お買い上げの販売店またはカー用品専門店へご依頼ください。



② コードの端子をアンテナの給電部に貼る。



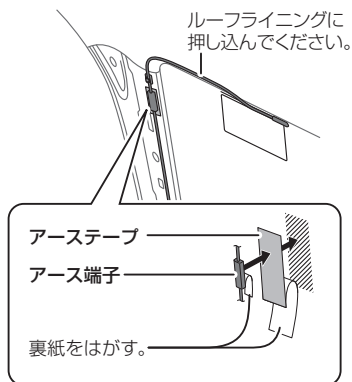
③ アース端子を金属部(塗装面)に貼り付けて、コードを引き回す。

※必ずアース端子を正しく貼り付けてください。

VICSの受信感度が低下する場合があります。

※必ずアーステープをアース端子と金属部の間に貼ってください。

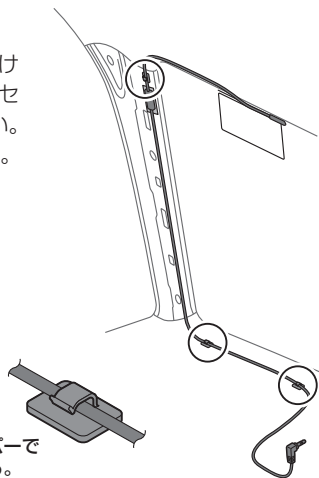
※金属部の塗装をヤスリなどではがす必要はありません。



④ コードを引き回す。

※シガーライターコードなど、他のコードからできるだけ離してください。また、束ねたり交差させたりワンセグ用ロッドアンテナに巻きつけたりしないでください。VICSやワンセグの受信感度が低下する場合があります。

コードクランパーで
要所を固定する。

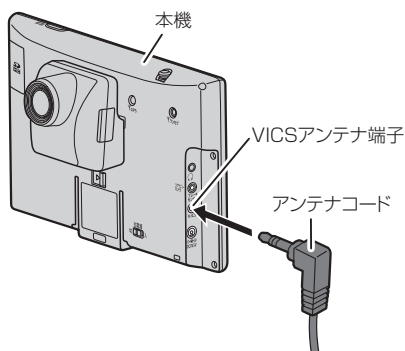


はじめに

3

アンテナコードを本機のVICSアンテナ端子へ接続する。

※取り付けが終わったら、ピラーのカバーをもとに戻してください。



動作の種類と走行中の制限について

動作の種類について

本機では電源の種類や、付属の吸盤スタンドの取り付け状態によって、車動作・家庭動作・電池動作と変わります。

電源の種類 付属の吸盤スタンド	シガーライターコード	ACアダプター (別売)	内蔵電池
装着時	車動作*	車動作*	電池動作
未装着時	家庭動作	家庭動作	電池動作

*印…車動作中に付属の吸盤スタンドを取り外しても家庭動作に変わりません。

家庭動作にするには、付属の吸盤スタンドを取り外した状態で本機の電源を切り、再度電源を入れてください。

走行中の制限について

本機を車動作または吸盤スタンドを装着した電池動作で使用する場合、安全上の配慮から走行中はテレビ(ワンセグ)/動画などの表示や一部の操作を行うことができません。

本機では下記いずれかの方法で走行/停車判定を行います。

※走行中に制限される機能については、P.35をご覧ください。

判定方法	内 容
車速感応タイプ走行規制による判定	本機が受信するGPS衛星電波などで、車の速度を感知して走行/停車判定を行います。
別売品に同梱されている パーキングブレーキ接続ケーブルによる判定*	別売品に同梱されているパーキングブレーキ接続ケーブルを使用している場合は、パーキングブレーキの操作による走行/停車判定を行います。

*印…別売品に同梱されているパーキングブレーキ接続ケーブルを使用している場合は、パーキングブレーキ接続ケーブルによる判定を優先します。

お知らせ

- 車速感応タイプ走行規制の場合、GPS未受信時や発進/停止を繰り返したときは、走行/停車判定が正しく行えない場合があります。
- 別売品に同梱されているパーキングブレーキ接続ケーブルを使用している場合、停車中でも車のパーキングブレーキをかけないと、本機は“停車中”と認識しません。

制限される主な機能

動作の種類(車動作・家庭動作・電池動作)や走行／停車判定によって、下記のように機能が制限されます。

動作の種類	車動作		家庭動作	電池動作* 1
	停車中	走行中		
ヘッドホン接続時の音声出力	○	×	○	○* 2
各メニュー操作	○	×	○	○* 2
地図スクロール	○	×	○	○* 2
道幅 3 m未満の細街路表示	○	×	○* 3	○* 3
マップマッチング	○	○	○	○
音声案内	○	○	○	○
画面消し	×	×	×	○
ecoドライブの評価	○	○	×	×
ガイドブック地点	○	×	○	○* 2
VICS表示	○	○	×	×
ここいこ	○	×	○	○* 2
車両センサーの確認	○	○	×	×
セキュリティコードの設定	○	×	×	×
地図更新／アプリケーションバージョンアップ	○	×	○	×
リヤビューカメラ／ビデオ映像	○	○：リヤビューカメラ、×	×	×
テレビ(ワンセグ)視聴	○	×	○	○* 2
音楽再生	○	○	○	○
動画再生	○	×	○	○* 2
画像再生(スライドショー)	○	×	○	○* 2
Gアプリの操作	○	×	○	○
Myストッカーの操作	○	×	○	○* 2
カメラユニットの設定と撮影／再生	○	×	○	×

○印…制限しない ×印…制限する

* 1 印…電池残量が少なくなると操作できない場合があります。

* 2 印…吸盤スタンドを装着して走行した場合は、車動作(走行中)と同等の制限になります。

* 3 印…走行した場合は、車動作(走行中)と同等の制限になります。

* 4 印…走行中は動画一覧画面から動画ファイルを選択することができません。

* 5 印…ランチャーボタンに表示される **カメラモニター** も操作することができません。[P.42]

電源について

主電源スイッチについて

本機には主電源スイッチと電源ボタン “ (電源)” があります。

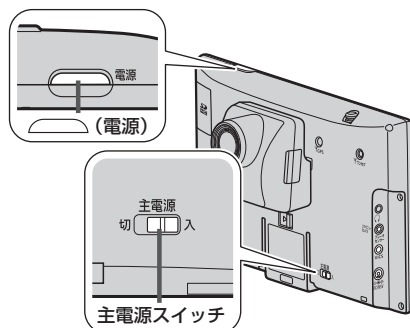
お買い上げ時は、主電源スイッチが「切」になっていますので、まず、主電源スイッチを「入」にして本機の電源を入れてください。

※日常のご使用では主電源スイッチは「入」のまま、 (電源)で電源の切／入を操作してください。

※長時間使用しないときは、主電源スイッチを「切」にしてください。

※主電源スイッチが「切」のときは充電できません。

充電する場合は「入」にしてください。

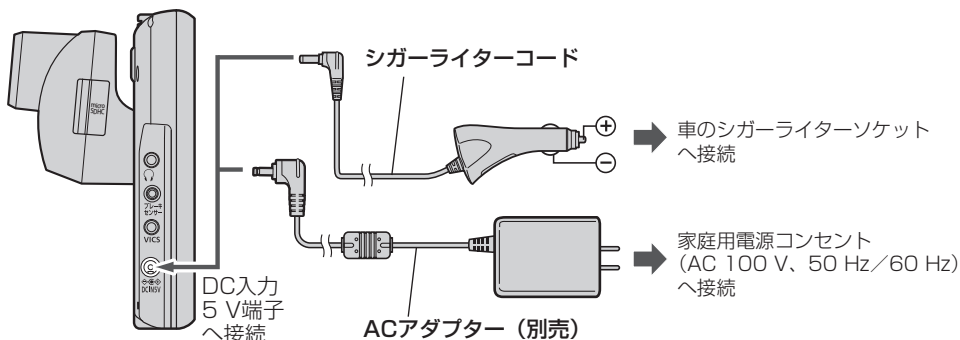


シガーライターコード／ACアダプターで使用する

1 シガーライターコードまたはACアダプター(別売)を本機に接続する。

※電源プラグは、奥までしっかり差し込んでください。

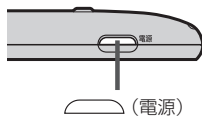
※車で使用の場合は、付属の吸盤スタンドに取り付けて使用してください。[P.22]



2 (電源)を約2秒押す。

：“ピッ”という音が鳴り、本機の電源が入ります。

※セキュリティコードを設定している場合は、セキュリティコードを入力し、**決定**をタッチしてください。[P.89]



3 警告画面の注意事項を確認して、

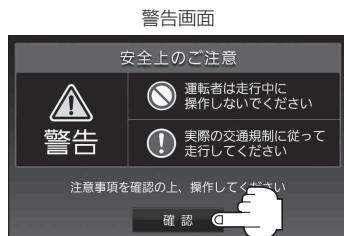
確認をタッチする。

：現在地の地図画面が表示されます。

※メッセージが表示された場合は、メッセージを確認し**閉じる**または**OK**をタッチしてください。

※各AVモードの再生画面が表示された場合は、**現在地**をタッチすると、現在地の地図画面が表示されます。

※約10秒間何も操作しないと、警告画面は消去されます。

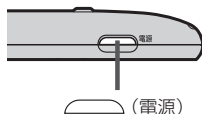


内蔵電池で使用する

- 1** シガーライターコードまたはACアダプター(別売)を接続していない状態で (電源) を約2秒押す。

：“ピッ”という音が鳴り、本機の電源が入ります。

※セキュリティコードを設定している場合は、セキュリティコードを入力し、**決定** をタッチしてください。[P.89]



- 2** 警告画面の注意事項を確認して、**確認** をタッチする。

[P.36 手順 **3**]

お知らせ

- 内蔵電池の残量が少ないと、電源が入らない場合があります。充電してご使用ください。
- 内蔵電池保護のため、本機の内部温度が高くなると電源が入らない場合がありますが、故障ではありません。正常温度に戻ってから再度電源を入れなおしてください。

内蔵電池の充電について

シガーライターコードまたはACアダプター(別売)を接続して充電してください。

※充電するときは (電源) を約2秒押して電源を切ってください。満充電できない場合があります。

※主電源スイッチが「切」のときは充電できません。[P.35]

お願い

- エンジンを切ってもシガーライターの電源が切れない車の場合は、エンジンを切ったあとに、必ずシガーライターソケットからシガーライターコードを外してください。
長時間放置するとバッテリーがあがるおそれがあります。
- ACアダプター(別売)を使用する場合、充電が終了したらコンセントから外してください。
- 内蔵電池の残量がなくなると、自転車位置情報(GPS衛星データ)が保持されません。内蔵電池の充電は定期的に行ってください。

充電ランプ／電池マーク

※充電ランプの位置については、[P.41] を参考にしてください。

充電状態	充電ランプ
満充電	消灯
充電中	点灯(橙色)

※電池動作時に (電源) を短押し(約1秒以内)し、画面消しにしたときは充電ランプが緑色に点灯します。

電池マーク

内蔵電池使用時に電池残量が表示されます。

残量：多	(緑色)
残量：中	(緑色)
残量：少	(赤色)
残量：なし	(灰色)

※低温下では、表示される電池残量が一時的に少なくなることがありますが、これは電池の特性によるものですので故障ではありません。



充電時間と連続使用可能時間

下記の時間はあくまでも目安です。数値を保証するものではありません。

※使用環境、使用する機能や設定により使用可能時間が短くなる場合があります。

充電時間 本機の電源を切った状態で、空の内蔵電池を充電した場合 (周囲温度 +25℃)	約2時間20分
連続使用可能時間 本機を連続して使用した場合(満充電、周囲温度 +25℃) ※テレビ(ワンセグ)受信時で音量/画面の明るさを中間(明るさ自動調整しない)にした場合	約1時間30分

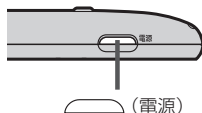
お知らせ

- 充電は必ず+10℃～+35℃の温度範囲で行ってください。
- 使用環境により電池残量が正しく表示しない場合があります。
※低温下での電池の電圧低下があるため、電池残量に関わらず電源が切れる場合があります。
- 周囲の温度が高温のときは、自動的に放電され、使用時間が短くなる場合や電源が入らない場合があります。
- 累積の使用時間により内蔵電池は少しずつ劣化します。そのため使用可能時間が短くなったり、充電時間が長くなったりすることがあります。劣化による修理交換は保証期間内であっても保証対象外となりますので、あらかじめご了承ください。

本機の電源を切る

1 (電源)を約2秒押す。

：“ピッ”という音が鳴り、本機の電源が切れます。



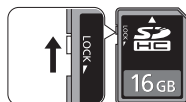
お知らせ

- 車動作時に車のエンジンを切るなどしてシガーライターコードまたはACアダプター(別売)からの通電がなくなると、自動的に本機の電源が切れ、再び通電が始まると本機の電源が入ります。
※家庭動作時の場合は、本機の電源が切れずに電池動作に切り換わります。[P.34]
- 本機の電源を切ってすぐに (電源)を約2秒押しても電源は入りません。
少し待ってから電源を入れてください。

SDメモリーカード／microSDHCメモリーカードについて

SDメモリーカードやmicroSDHCメモリーカードの抜き差しは、必ず電源を切った状態で行ってください。

- SDメモリーカードに書き込むときは、書き込み禁止スイッチを解除してください。
- SDメモリーカードでデータを読み書きしたり、microSDHCメモリーカードを挿入したカメラユニットで撮影、再生などをしているときに、メモリーカードを取り出したり、本機の電源を切ったりしないでください。
- 長時間使用すると、SDメモリーカードやmicroSDHCメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- SDメモリーカードやmicroSDHCメモリーカードには寿命があり、長期間使用すると書き込みや消去などができなくなる場合があります。
- 市販のSDメモリーカードやmicroSDHCメモリーカードが不良品の場合、正常に動作しない場合があります。
- データ消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 次のことをお守りください。
 - ・ 本機やカメラユニットから取り出したら、必ずケースに収納する
 - ・ 裏面の端子部を手や金属で触れたり、汚したりしない
 - ・ 貼られているラベルをはがさない
 - ・ シールやラベルを重ねて貼り付けけない
 - ・ 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどしない



はじめに

使用できるSDメモリーカード／microSDHCメモリーカード

本機はSD規格に準拠した下記のメモリーカードに対応しています。

下記以外のメモリーカードは使用できません。

	ナビゲーション本体で使用できるメモリーカード	カメラユニットで使用できるメモリーカード
使用できるメモリーカード	● 市販のSDHCメモリーカード(32 GB以下)* ● 市販のSDメモリーカード(2 GB以下) ※ microSDHCメモリーカード*、miniSD／microSDメモリーカードも使用できます。使用する場合は、必ずカードに付属の専用アダプターを装着し、取り出すときは必ずアダプターごと取り出してください。	● 付属のmicroSDHCメモリーカード ● 市販のmicroSDHCメモリーカード* (4 GB以上、Class6またはClass10) ※ 上記以外のmicroSDHCメモリーカードを使用すると、正常に撮影ができなかったり、本機で認識できない場合があります。
フォーマットの方法	パソコンなどでFAT16またはFAT32でフォーマットを行います。	本機でフォーマットを行います。 P.82

* 印●SDHCロゴのある(SD規格準拠)カードのみ使用できます。

お願い カメラユニットで使用しているmicroSDHCメモリーカードは、ナビゲーション本体に挿入しないでください。

お知らせ

- フォーマット方法はそれぞれ異なります。上記以外の方法でフォーマットすると正しく使用できなかったり、本機で認識できない場合があります。
- 本書では特にことわりのない限り、ナビゲーション本体で使用できるメモリーカードを「SDメモリーカード」と総称して表記しています。
- 無線LAN内蔵のSDメモリーカードは使用できません。

SDメモリーカードを挿入する／取り出す

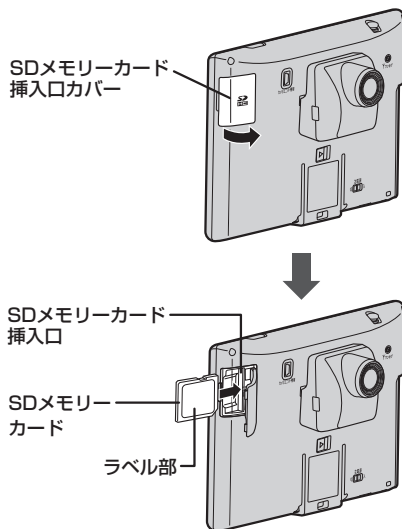
※SDメモリーカードの抜き差しは、必ず電源を切った状態で行ってください。

挿入する

- 1 SDメモリーカード挿入口カバーを開け、
SDメモリーカード挿入口に
SDメモリーカードを挿入する。

※矢印の方向に“カチッ”と音がするまで差し込んでください。

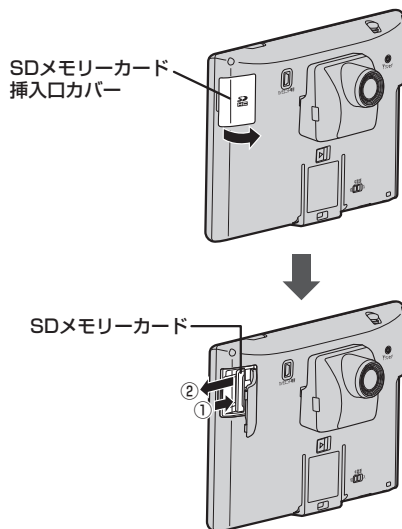
※SDメモリーカードを挿入した後は、SDメモリーカード挿入口カバーを“カチッ”と音がするまで押して閉めてください。



取り出す

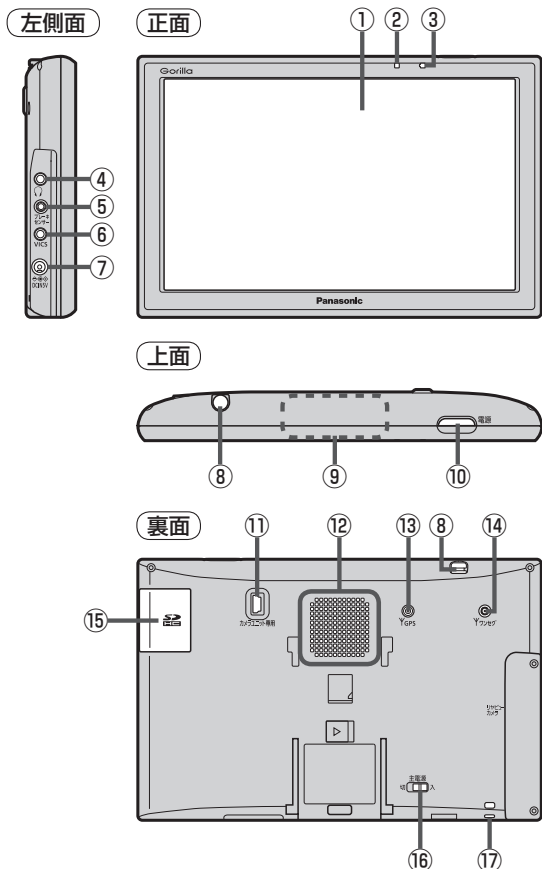
- 1 SDメモリーカード挿入口カバーを開け、
SDメモリーカードを1回押してから
取り出す。

※SDメモリーカードを取り出した後は、SDメモリーカード挿入口カバーを“カチッ”と音がするまで押して閉めてください。



各部のなまえとはたらき

※カメラユニットを取り外した状態の図です。



① タッチパネル部(液晶ディスプレイ)

② 明るさセンサー受光部

③ 充電ランプ

充電中、画面消し中をランプの色でお知らせします。[P.37]

④ ヘッドホン端子

市販のヘッドホンを接続することができます。

⑤ ブレーキセンサー端子／

カメラ・ビデオ映像入力端子

別売品に同梱されているパーキングブレーキ接続ケーブル／リヤビューカメラ接続ケーブル(別売)を接続します。[P.92]

⑥ VICS アンテナ端子

付属のVICSアンテナを接続します。[P.30]

⑦ DC入力5 V端子

シガーライターコードまたはACアダプター(別売)を接続します。[P.36]

⑧ ワンセグ用ロッドアンテナ

テレビ(ワンセグ)を見るときに伸ばして使用します。[P.75]

⑨ GPS アンテナ(内蔵)

GPS衛星電波を受信します。

⑩ ボタン(電源)

- 2秒以上押すと本機の電源を入れる／切ることができます。[P.35]
- 短押し(約1秒以内)すると音声はそのまま、画面を消すことができます。(電池動作時のみ)

⑪ カメラユニット専用端子

付属のカメラユニットと専用ケーブルで接続します。[P.20]

⑫ スピーカー

⑬ GPS アンテナ端子

GPSアンテナ(別売)を接続します。

⑭ ワンセグ用アンテナ端子

ワンセグ用フィルムアンテナ(別売)またはアンテナ変換ケーブル(別売)を接続します。

⑮ SDメモリーカード挿入口

[P.40]

⑯ 主電源スイッチ

長時間使用しない場合などに「切」にすることで放電量を抑えることができます。[P.35]
※お買い上げ時は「切」になっています。

⑰ ストラップ取付穴

市販のストラップを取り付けることができます。

地図画面の見かた

画面のボタンについて

(例)現在地の地図画面



LAUNCHER を
タッチ

(例)現在地の地図画面(ランチャー表示)*



(例)全ルート画面



- ① **ボタンOFF / ボタンON** ボタン
ボタンOFF をタッチすると、**広域** / **詳細** が消え、コンパスボタンがコンパスマークのみに変わります。ボタンを表示させる場合は **ボタンON** をタッチしてください。

- ② **コンパスボタン**
地図の向きを切り換えます。【P.44】

- ③ **広域 / 詳細** ボタン
地図の縮尺を切り換えます。【P.44】

- ④ **手動撮影ボタン**
カメラユニットで手動撮影をします。【P.85】
※本機起動直後は準備中と表示され、操作できません。

- ⑤ **メニュー** ボタン
メニュー画面を表示します。【P.46】

- ⑥ **AV** ボタン
AV モードに切り換えます。【P.71】

- ⑦ **ボタン(VICSタイムスタンプ)**
VICS 表示設定画面を表示します。【P.61】

- ⑧ **LAUNCHER** ボタン
ランチャーボタンとAV 音量バーを表示します。
【P.73】

- ⑨ **ランチャーボタン**
よく使う機能を登録しておく **LAUNCHER** で簡単に呼び出して操作することができます。

- ⑩ **AV 音量バー**
AV 同時動作中に音量調整や消音、AV オフの操作をすることができます。【P.73】

- ⑪ **×閉** ボタン
ランチャーボタンとAV 音量バーを閉じます。

- ⑫ **現在地** ボタン
現在地の地図画面に戻ります。
※表示されているルートで、ルート案内を開始します。

- ⑬ **シミュレーション** ボタン
設定したルートで疑似的に現在地(自転車)マークが走行します。

- ⑭ **戻る** ボタン
1 つ前の画面に戻ります。
※表示されているルートで、ルート案内を開始します。

- ⑮ **別ルート** ボタン
複数ルート探索を開始します。

- ⑯ **詳細情報** ボタン
設定したルートの道路の種類や、案内区間の距離を確認することができます。

- ⑰ **案内スタート** ボタン
ルート案内を開始します。

* 印…しばらくにも操作しなかった場合や画面をタッチした場合、ランチャーボタンとAV 音量バーは消えます。

画面の表示内容について



① ルート

目的地までのルートを表示します。

② 各種マーク表示

- …GPSログ記録中に表示
- …AVモード消音時に表示
- …AVオフ時/各AVモード時に表示
- …ecoドライブ評価中に表示
- …電池の残量を表示(電池動作時のみ) [P.37]
- …カメラユニット撮影中に表示

※ボタンサイズの設定を「大」にしている場合は表示されませんので、ボタンOFF([P.42])で表示させてください。

③ GPS / みちびき / グロナス / グロナス みちびき 受信表示

- コンパスマークの背景色：GPSの受信状態
 緑色…GPSなどにより測位中
 黄色…クイックGPS([P.19])により測位中
 黒色…測位計算中/未測位
- みちびき受信時/グロナス受信時は、「GPS」の表示が「みちびき」/「グロナス」に変わります。
- 「GG」表示の色：自律航法([P.19])の動作状態
 水色…自律航法が動作している。
 灰色…自律航法が動作していない。

※ボタンOFF([P.42])やコンパス非表示にすると、コンパスマークのみ表示します。

④ 事故多発地点

事故が多く発生している場所に表示します。

⑤ 立体アイコン

特定の建物を立体アイコンで表示します。

⑥ 現在の時刻

⑦ マーク

スマートフォンとBLUETOOTH接続すると表示します。
[P.62]

⑧ 情報バー

道路名または周辺の住所、目的地までの残距離*¹、到着予想時刻*¹などを表示します。

* 1印…ルート案内時のみ表示します。

⑨ 現在地(自車)マーク

自車位置と進行方向を「▲」で表示し、停車時は「●」で表示します。

※矢印以外を現在地(自車)マークに設定している、または自律航法が動作している場合「●」になりません。

⑩ 交差点情報表示マーク

交差点の名称と曲がる方向を表示します。

⑪ 各種案内警告マーク

- …合流案内時に表示
- …踏み切り案内時に表示
- …急カーブ案内時に表示
- …事故多発地点警告時に表示

⑫ 盗難多発地点

盗難が多く発生している地域に表示します。

⑬ 道路

青色：高速道路、有料道路 赤色：国道
 緑色：主要地方道、県道 灰色：一般道、細街路*²
 青色(破線)：フェリー航路

* 2印…細街路とは道幅5.5 m未満の道路のことです。

※市街地図の場合は、上記と異なる色で表示します。

※地図ソフト作成時点で建設中などの未開通道路は、灰色(破線)などで表示されます。また、市街地図では未開通道路でも実線表示している箇所があります。(どちらもルート探索の対象道路にはなりません。)

⑭ VICSタイムスタンプ

VICS情報の提供時刻を表示します。[P.61]

⑮ 目的地方向表示

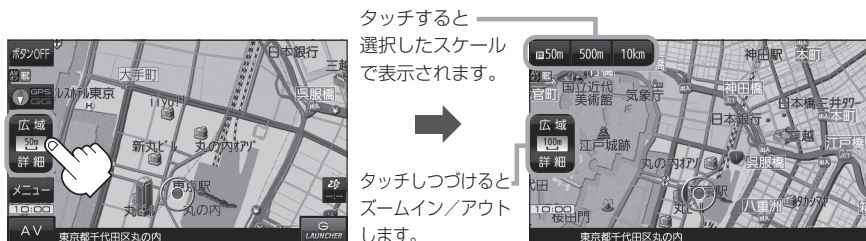
ルート設定時、赤い直線または丸印で目的地の方向を示します。

地図の操作

地図を拡大／縮小する

1

広域／**詳細** をタッチして地図を拡大または縮小する。



お知らせ

- 地図は、下記のスケールで表示されます。(詳 5 m～詳 50 m は市街地図が表示されます。)
詳 5 m / 詳 12 m / 詳 25 m / 詳 50 m / 50 m / 100 m / 200 m / 500 m / 1 km / 2.5 km
/ 5 km / 10 km / 25 km / 100 km / 250 km
- ※お買い上げ時は 50 m (右画面地図は 200 m) で表示されます。
- 指定の縮尺の地図がないときはメッセージが表示され、選ばれた縮尺より広域な地図を表示します。
- 3D 地図で市街地図を表示した場合は、一部のビルなどを立体的に表示します。

地図表示(方位)を切り換える

1

コンパスボタンをタッチする。

※タッチするたびに方位表示と画面が切り換わります。

※コンパスマークのみ表示している場合は、タッチしても切り換えることができません。[P.43]

※お買い上げ時は進行方向を上(平面地図)で表示されます。

進行方向を上(平面地図)



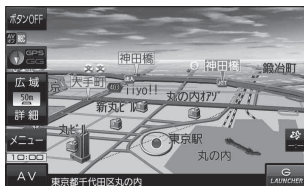
進行方向を上に表示します。



3D 地図



進行方向を上(3D)で表示します。



北方向を上(平面地図)



北方向を上に表示します。



地図スクロール(地図を動かす)

平面地図画面で地図スクロールする

※走行中は、地図をタッチするたびに一定量だけ移動します。

- 1 画面をタッチし、スクロールしたい方向をしばらくタッチする。

※画面に が表示され、 の近くをタッチすると低速で、 から離れてタッチすると高速でスクロールします。



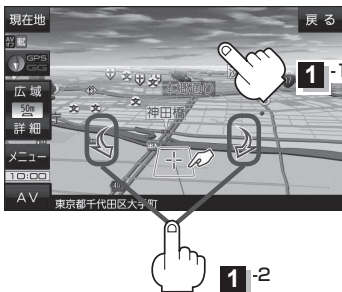
3D 地図画面で地図スクロールする

※走行中は、地図をタッチするたびに一定量だけ移動します。

- 1 画面をタッチし、動かしたい方向の地図画面、または / をタッチする。

: カーソル(—|—)を中心に地図が右回転(時計まわり)します。

: カーソル(—|—)を中心に地図が左回転(反時計まわり)します。



平面地図画面で位置を微調整する

微調整は、平面地図画面でのみ行うことができます。

※走行中は微調整できません。

- 1 画面をタッチし、**微調整** をタッチする。

- 2 動かしたい方向の (矢印) をタッチし、**調整終** をタッチする。

：スクロール画面に戻ります。

お知らせ

以外をタッチしてもスクロールはしません。
地図を微調整する場合は動かしたい方向の矢印を
タッチしてください。



2-2

ナビメニュー画面／設定メニューについて

走行中操作できないボタンは暗くなり、選択できません。

メニュー画面を表示する

1 メニュー をタッチする。

：メニュー画面が表示されます。

(例) 現在地の地図画面



メニュー画面



クイックメニュー P.48

現在地ボタン／戻るボタンについて

現在地の地図画面を表示する、または 1 つ前の画面に戻る場合は下記の操作を行います。

1 現在地／戻る をタッチする。

ボタン	内 容
現在地	現在地の地図画面を表示します。
戻る	タッチすることにより 1 つ前の画面に戻ります。



お知らせ 現在地 または 戻る をタッチしての設定の保持について

設定画面などで **決定** がある場合は **決定** をタッチすると設定が保持されます。

決定 がない画面では、**現在地** または **戻る** などタッチしたときに設定が保持されます。

各メニュー画面を表示する

メニュー画面(☞ P.46)で各メニューを選択します。

- **メニュー** →
目的地 を
タッチ

目的地のメニュー画面



次へ> を
タッチ
→
←
前へ< を
タッチ



- **メニュー** →
ガイドブック
をタッチ

ガイドブックのメニュー画面



- **メニュー** →
ルート を
タッチ

ルートのメニュー画面



- **メニュー** →
情報 を
タッチ

情報のメニュー画面



FM多重(VICS)については、
☞ P.59をご覧ください。

- **メニュー** →
設定 を
タッチ

設定のメニュー画面



次へ> を
タッチ
→
←
前へ< を
タッチ

システム設定については、
☞ P.88をご覧ください。



お知らせ 「ここいこ」の設定や操作については☞ P.62をご覧ください。

クイックメニューについて

- **自宅へ戻る** ボタン

自宅までのルートを探索します。

※この機能を使うにはあらかじめ自宅を登録しておく必要があります。

 P.50

- **再探索** ボタン

ルート案内中にルートから外れた場合、探索条件を変えて再探索することができます。

※ルート案内を停止している場合、このボタンは選択できません。

- **案内ストップ** / **案内スタート** ボタン

ルート案内を一時的に停止したり、停止したルート案内を再び案内開始することができます。

※ルートが設定されていない場合、このボタンは選択できません。

- **右画面** ボタン

現在地表示時、画面右側に地図やルート情報などを表示することができます。

- **迂回** ボタン

ルート案内中に工事や渋滞などで前方の道が通れない場合、迂回ルートを探索することができます。

- **道路切換** ボタン

一般道路と有料道路が隣接している場合、自車位置を一般道路または有料道路に切り換えることができます。

※複数の道路が隣接・交差しているときなど、必ずご希望の道路に切り換わるとは限りません。

※有料道路に切り換えた場合、正しい料金計算ができないため料金表示はされません。



クイックメニュー

設定メニューを表示する

1 画面をタッチし、 をタッチする。

：設定メニューが表示されます。



設定メニュー

- **目的地にする ボタン**
目的地を登録し、ルートを探します。
- **出発地にする ボタン**
ルート編集画面で出発地を変更するときに表示されます。
- **経由地にする ボタン**
ルート案内中や、ルート編集画面で経由地を追加／変更するときに表示されます。
※ルート案内を停止している場合、このボタンは表示されません。
- **自宅にする ボタン**
自宅の登録を行います。
- **複数ルート探索する ボタン**
目的地を登録し、5通りのルートを探します。
- **地点登録 ボタン**
地点の登録を行います。
- **地点編集 ボタン**
登録地点マークにカーソル(→)を合わせたとき、登録地点の編集や削除をすることができます。
- **施設の詳細 ボタン**
施設名などで目的地を設定するとき、施設に詳細情報があると、住所や電話番号などが確認できます。
- **テナント情報 ボタン**
スクロール先の施設にテナント情報があると、施設内のテナント名や階数、電話番号などが確認できます。
※市街地図で「家形」表示時のみ確認できます。
- **周辺検索 ボタン**
スクロール先の周辺施設を検索することができます。
- **ガイドブック ボタン**
現在地やスクロール先周辺のガイドブックを表示させ、施設を調べることができます。
- **×閉 ボタン**
設定メニューを閉じます。

自宅を登録する

自宅を登録しておく、自宅までのルートを探索することができます。

1

メニュー → **情報** → **地点編集** をタッチする。

：地点編集画面が表示されます。

お知らせ

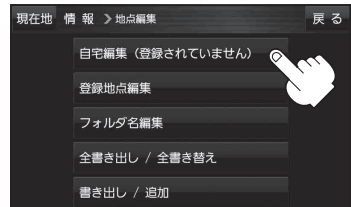
自宅が未登録の場合、**メニュー** → **自宅へ戻る** → **はい** をタッチしても自宅を登録することができます。

2

自宅編集(登録されていません) をタッチする。

：自宅の登録方法選択画面が表示されます。

地点編集画面



3

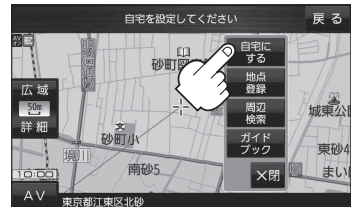
登録方法を選び、地図を表示する。



4

自宅にする をタッチする。

※設定メニューが表示されない場合は、**+** をタッチして設定メニューを表示してください。



■ 自宅の位置を修正する場合

① **X閉** または地図画面をタッチして設定メニューを閉じ、カーソル(—|—)を自宅に合わせる。

② **+** → **自宅にする** をタッチする。

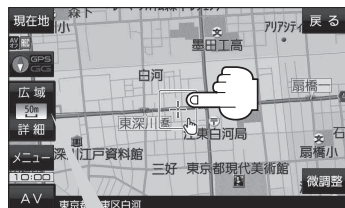
：地点編集画面に戻ります。(地図上には  マークが表示されます。)

地図から自宅／地点を登録する

自宅や覚えておきたい場所に、マークをつけて登録することができます。(最大2500件・自宅含む)

- 1 登録したい地点の地図を表示させ、
マークをつけたい場所にカーソル(—|—)を合わせ、
 をタッチする。

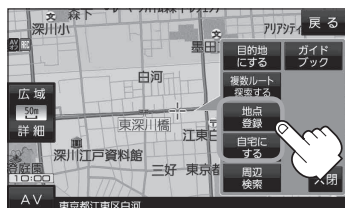
：設定メニューが表示されます。



最詳細地図を選んでおくと、
位置の誤差が少なくなります。

- 2 **自宅にする**／**地点登録** をタッチする。

：地図上に地点マークが追加されます。



目的地を設定する

目的地のメニュー画面[図 P.47]からさまざまな方法で目的地を探すことができます。

※ここでは登録地点／住所から目的地を探す方法を例にしています。

目的地設定について詳しくは[図]『詳細操作編』をご覧ください。

登録地点から探す

※あらかじめ地点を登録しておく必要があります。[図 P.51]

※自宅は表示されません。

1 **メニュー** → **目的地** → **登録地点** をタッチする。

：登録地点リストが表示されます。

2 リストの表示方法を変更する。

※表示方法を変更しない場合は下記手順**3**へ進んでください。

ボタン	内 容
フォルダ *	登録地点を登録しているフォルダのみ表示 ※表示させたい登録地点が登録されているフォルダ(フォルダ指定なし ～ フォルダ 100) をタッチしてください。
登録順	地点が登録された順(古いものから)表示
マーク順	同じマークごとに表示

* 印…登録地点リストを全て表示する場合は、**全表示** をタッチしてください。



3 リストから登録地点を選択し、**決定** をタッチする。

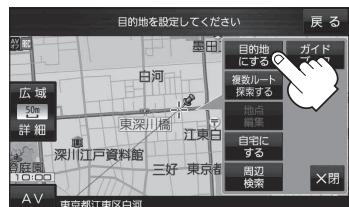
：周辺の地図が表示されます。

4 **目的地にする** をタッチする。

：カーソル(—|—)のある位置が目的地として設定されます。

※カーソル(—|—)の位置が、目的地に設定したい地点と異なる場合は、地図をスクロールさせてカーソル(—|—)の位置を修正してから、**目的地にする** をタッチしてください。

※ **目的地にする** が表示されていない場合は **+** をタッチし、設定メニューを表示してください。



5 **案内スタート** をタッチする。

：ルート案内を開始します。

※走行すると **案内スタート** をタッチしなくても自動的にルート案内を開始します。

住所から探す

1

メニュー → 目的地 → 住所 をタッチする。

：都道府県リスト画面が表示されます。

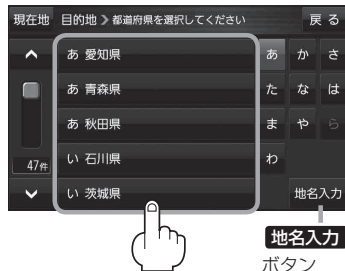
2

住所(都道府県→市区町村→町名→丁目→番地・号)を選ぶ。

■ リストから選択する場合

- ① リストから都道府県→市区町村→町名→丁目→番地・号の順に選択し、タッチする。

※頭文字選択ボタンや、数字入力ボタンをタッチして、選択したい町名や番地などを表示することができます。☞ 下記お知らせ内



■ 地名を入力して選択する場合

- ① 地名入力 をタッチし、地名をひらがな入力して 検索 をタッチする。

※地名の一部を入力して検索することができます。

- ② リストから住所を選択し、タッチする。

※ 絞込み をタッチすると、都道府県ごとに絞り込んで選択することができます。

- ③ 丁目→番地・号の順に選択し、タッチする。

お知らせ

番地など住所の詳細がわからないときは“都道府県”“市区町村”“町名”を選んだあと代表地点 をタッチすると、選んだ場所の代表地点の地図が表示されます。

検索リスト画面について

頭文字選択ボタン
※頭文字を連続でタッチすると選択している行のリストがくり返し表示されます。

数字入力ボタン
※入力できない文字は暗くなり選択できません。

入力した数字を1つ訂正する場合
① <訂正> をタッチする。
② 正しい数字をタッチする。

“丁目・字・街区・地番・戸番・枝番”の続きに地名がある場合、他 をタッチして地名をリストに表示し、効率よく場所を絞り込んでいきます。(地名がない場合はボタンは暗くなり選択できません。)

ページ戻し/送り (↑/↓)

リスト

3

目的地に設定し、ルート案内を開始する。

☞ P.52 手順 4、5

ガイドブックを利用する

ガイドブックとは、JTBパブリッシングの観光データベース「るるぶDATA」をナビゲーション用に収録したものです。

- 「るるぶDATA」の著作権は、(株)JTBパブリッシングが有しています。(ジャンル名称など、一部のデータは(株)JTBパブリッシングが保有するコンテンツを元に編集しています。)
- 「るるぶDATA」は、2013年10月時点のものです。掲載内容は変更される場合があるため、ご利用の際は事前にご確認ください。

1

メニュー → **ガイドブック** をタッチする。

：エリア選択画面が表示されます。

2

エリア → **都道府県** → **ジャンル** → **施設** を選択し、タッチする。

：施設の詳細画面が表示されます。

(例)施設選択画面

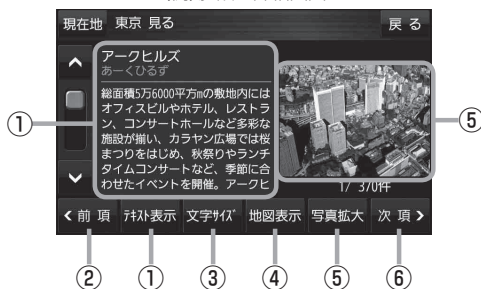


50音順に表示します。

距離順
：現在地からの距離に近い順に表示します。

サブエリア
サブジャンル
：エリア/ジャンルを選択して絞り込みができます。

(例)施設の詳細画面



① **テキスト表示** ボタン/テキストをタッチ

テキストが全画面表示されます。

戻る をタッチすると施設の詳細画面に戻ります。

② **◀前項** ボタン

前の施設の詳細画面に移動します。

③ **文字サイズ** ボタン

テキストの文字サイズを選択することができます。

×閉 をタッチすると施設の詳細画面に戻ります。

④ **地図表示** ボタン

選択した施設周辺の地図を表示します。

※地点リストが表示された場合は、地点を選択し、**決定** をタッチしてください。

※**☞** P.52 手順 ④、⑤ に従って操作するとルート案内を開始します。

⑤ **写真拡大** ボタン/写真をタッチ

写真が全画面表示されます。

戻る をタッチすると施設の詳細画面に戻ります。

⑥ **▶次項** ボタン

次の施設の詳細画面に移動します。

ガイドブック地点を利用する

ガイドブックに収録されている施設などを地図上にアイコン表示し、情報を見ることができます。

1

画面をタッチする。

：画面に  が表示され、カーソルに近い順にアイコン表示された施設の写真がリスト表示されます。写真がない施設は、写真の代わりに吹き出しアイコンのマークが表示されます。

※吹き出しアイコンは、現在地を中心に直径10 km圏内の施設を、最大100件まで表示します。



2

情報を見たい施設を写真リスト最上部の大きな写真に表示させ、タッチする。

：選択した施設の詳細画面が表示されます。

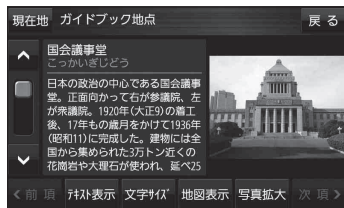
※下記の方法で、施設を写真リスト最上部の大きな写真に表示することができます。

- 写真リスト右の  /  で選択する。
- 写真リストに表示されている写真をタッチする。
- 情報を見たい施設の吹き出しアイコンをタッチする。
※同じ建物内に複数の施設がある場合は、続いて  /  で選択してください。



吹き出しアイコン

写真リスト



お知らせ

- **メニュー** → **設定** → **地図カスタマイズ** → **地図基本表示** でガイドブック地点の表示／非表示の設定をすることができます。
- **メニュー** → **設定** → **ガイドブック地点** で表示させる施設のジャンルの設定をすることができます。
※全てのジャンルを非表示にしている場合は、吹き出しアイコンや写真リストは表示されません。
- 現在地の地図画面の縮尺スケールが200 m以上の場合は、吹き出しアイコンは表示されません。
※スクロール後は縮尺スケールに関係なく表示されます。
- 3D地図ではガイドブック地点は表示されません。

ナビゲーションの操作

ルートを変更する

設定したルートを修正して、新しいルートを探索することができます。

経由地の追加

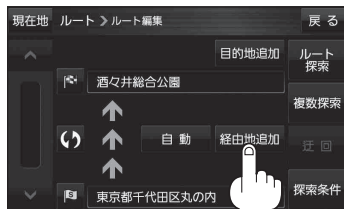
経由地は5カ所まで登録できます。

※すでに通過した区間は経由地に登録することはできません。

- 1 **メニュー** → **ルート** → **ルート編集** をタッチし、
追加する場所の **経由地追加** をタッチする。

：経由地を探す方法画面が表示されます。

※ルートが設定されている状態で、地図画面で地図をスクロールし、**+** をタッチして経由地を追加することもできます。



- 2 地点の検索方法を選び、地図を表示する。

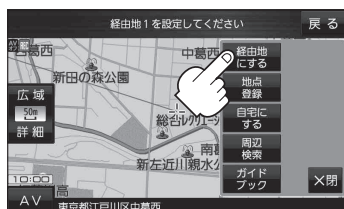


- 3 **経由地にする** をタッチする。

：ルート編集画面または経由地追加画面が表示されます。

※ **経由地にする** が表示されていない場合は **+** をタッチし、設定メニューを表示してください。

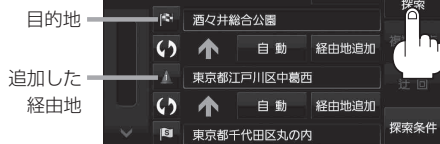
※経由地追加画面が表示された場合は追加したいところの **追加** をタッチし、下記手順 5 へ進んでください。



- 4 **ルート探索** をタッチする。

：ルート探索を開始します。

ルート探索が完了すると、全ルート画面が表示されます。



- 5 **案内スタート** をタッチする。

：ルート案内を開始します。

※走行すると **案内スタート** をタッチしなくても自動的にルート案内を開始します。

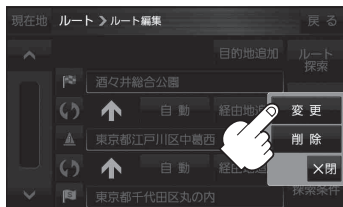
出発地／経由地／目的地の変更と削除

1

メニュー → ルート → ルート編集 → 変更したい項目( /  / ) → 変更 をタッチする。

：地点検索方法画面が表示されます。

※ 経由地がある場合は、 **削除** をタッチすると削除することができます。



2

地点の検索方法を選び、地図を表示する。



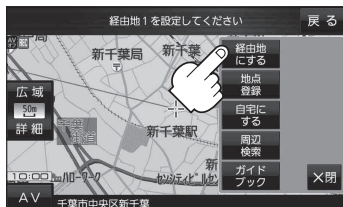
ナビゲーションの操作

3

出発地にする／経由地にする／目的地にする をタッチする。

：カーソル()のある位置が各地点として登録され、ルート編集画面に戻ります。

※ **出発地にする**／**経由地にする**／**目的地にする** が表示されていない場合は  をタッチし、設定メニューを表示してください。



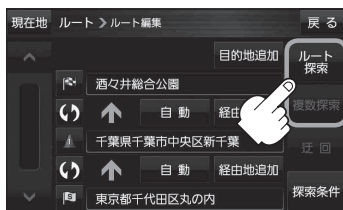
4

ルート探索／複数探索 を選択し、タッチする。

：ルート探索を開始します。

ルート探索が完了すると全ルート画面が表示されます。

※ 経由地がある場合、 **複数探索** は選択できません。



5

案内スタート をタッチする。

：ルート案内を開始します。

※ 走行すると **案内スタート** をタッチしなくても自動的にルート案内を開始します。

ecoドライブ情報について

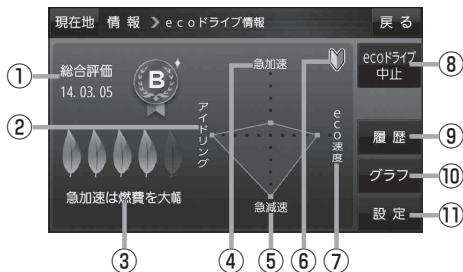
車動作時に「加速」「減速」「アイドリング時間」などをGPS衛星電波をもとに計算し、環境にやさしく無駄の少ない運転(ecoドライブ)ができているか評価することができます。

1

メニュー → **情報** → **ecoドライブ** をタッチする。

：ecoドライブ情報画面が表示されます。

(例)ecoドライブ情報画面*1



① 総合評価

総合評価を5段階で判定。
葉の数が多いほど環境にやさしく、無駄の少ない運転ができていたことを表します。

葉の数	評価
5	A評価
4	B評価
3	C評価
2	D評価
1	E評価

② アイドリング

車両停車時間
(一定時間以上の停車をアイドリングとします。)

③ メッセージ

メッセージがスクロール表示されます。

④ 急加速*2

急に加速した回数が少ないと高評価になります。

* 1 印…カーマーカー設定で **ゴリラ** を選択した場合、ゴリラオリジナルecoドライブ情報画面に変わります。

* 2 印…ecoドライブの急加速・急減速と、カメラユニットの急加速・急減速の測定方法は異なりますので運動はしません。

⑤ 急減速*2

急に減速した回数が少ないと高評価になります。

⑥ 評価レベル

初級で評価した場合、♥マークを表示します。

⑦ eco速度

規定速度で走行した時間
(法定速度とは異なりますのでご注意ください。)

⑧ ecoドライブ中止 / ecoドライブ開始 ボタン

ecoドライブ中止 …ecoドライブ評価を中止します。
ecoドライブ開始 …ecoドライブ評価を開始します。

⑨ 履歴 ボタン

ecoドライブ評価履歴のリストが最大30件表示されます。

※リストをタッチすると、詳細画面が表示されます。

※評価履歴を削除する場合は、リスト画面の

全削除 → はい、または詳細画面の
削除 → はい をタッチしてください。

⑩ グラフ ボタン

ecoドライブ評価グラフが最大20件表示されます。

⑪ 設定 ボタン

ecoドライブの設定をすることができます。

お知らせ

- ecoドライブ情報は、実際の走行状態を表すものではありません。
- 評価は1日単位で記録し、走行中に評価レベルの設定値を超えたときは音声でお知らせします。
- GPS未受信時、または家庭動作時/電池動作時の場合はecoドライブ評価をしません。
- メニュー** → **右画面** → **ecoドライブ** をタッチすると、地図画面にecoドライブ情報を表示し、評価レベルをメッセージや葉の色などでお知らせします。

例)葉の色(緑=優良、黄=注意、赤=要注意)

※ecoドライブ情報をタッチすると **ecoドライブ** に変わります。もう一度タッチすると元に戻ります。

※ルート案内中に交差点拡大などを表示する設定にしている場合は、交差点拡大などを優先して表示します。



VICS 情報(FM多重)について

VICSとは、渋滞・事故などの影響による規制、目的地までの所要時間などの道路交通情報をナビゲーションに送信するシステムです。本機では、FM多重放送のVICS情報を受信することができます。VICSはVehicle Information and Communication System(道路交通情報通信システム)の略です。

● VICSに関する問い合わせ先について

問い合わせの内容によって、下記のように問い合わせ先が異なります。

問い合わせ項目 \ 問い合わせ先	サービスご相談窓口	VICSセンター*
VICSの概念、計画		○
レベル1の表示内容		○
レベル2の表示内容		○
レベル3の表示内容	○	
サービスエリア	○	
受信可否	○	
本機の調子、機能、使い方	○	

*印…VICSの概念、計画、または表示された情報内容に関することはVICSセンターへお問い合わせください。(ただし、レベル3(地図)表示の表示内容は除く。)

VICSセンター

お問い合わせ窓口 サービス・サポート・センター

受付時間 平日9:30～17:45(土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く)

電話番号 0570-00-8831

※全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。

※PHS、IP電話等からはご利用できません。

FAX番号 03-3562-1719(24時間受付)

お知らせ 使用上のご注意

- 提供されるVICS情報はあくまでも参考です。実際の交通規制と異なる場合は、実際の交通規制に従ってください。
- 提供されるデータなどは最新情報でない場合があります。

VICS情報表示について

- 本機が家庭動作／電池動作の場合は、VICS規約によりVICS情報を利用することができません。VICS情報は、車動作時のみ利用することができます。[P.34]
- VICS情報を受信するためには、付属のVICSアンテナを接続してください。[P.30]
- 受信状況によっては、VICS情報が本機に表示されるまで時間がかかる場合があります。

表示について

VICS情報の表示には、3種類(レベル1、レベル2、レベル3)があります。

※表示形式は、放送局によって異なる場合があります。

レベル1(文字)表示

(例)



① ヘッダー文

FM多重放送局名、ページ、情報提供時刻などを表示します。

② 表示内容

③ 表示内容選択ボタン

④ 受信中の周波数

⑤ 戻る ボタン

1つ前の画面に戻ります。

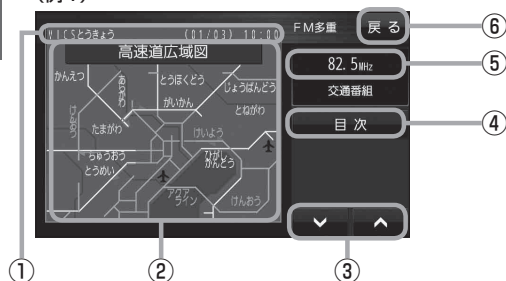
①

②

③

レベル2(簡易図形)表示

(例1)



① ヘッダー文

FM多重放送局名、ページ、情報提供時刻などを表示します。

② 渋滞情報

赤色：渋滞 橙色：混雑

※広域図などでは渋滞方向を矢印で表示します。

③ 画面送り/戻しボタン

画面送り/戻しをします。

④ 目次 ボタン

目次画面に戻ります。

⑤ 受信中の周波数

⑥ 戻る ボタン

1つ前の画面に戻ります。

⑦ 矢印方向の次の地点までの所要時間

5分単位で表示されます。

⑧ VICS情報マーク

⑨ 高速・有料道路がこの先も続くことを示します。
この先の情報提供がない場合は、灰色です。

①

②

③

(例2)



① ヘッダー文

FM多重放送局名、ページ、情報提供時刻などを表示します。

② 渋滞情報

赤色：渋滞 橙色：混雑

※広域図などでは渋滞方向を矢印で表示します。

③ 画面送り/戻しボタン

画面送り/戻しをします。

④ 目次 ボタン

目次画面に戻ります。

⑤ 受信中の周波数

⑥ 戻る ボタン

1つ前の画面に戻ります。

⑦ 矢印方向の次の地点までの所要時間

5分単位で表示されます。

⑧ VICS情報マーク

⑨ 高速・有料道路がこの先も続くことを示します。
この先の情報提供がない場合は、灰色です。

①

⑨

⑧

⑦

②

③

③

レベル3(地図)表示

(例1)



① 渋滞情報

赤色：渋滞 橙色：混雑
 緑色：渋滞なし 黄色：規制
 ※渋滞の方向を矢印で表示します。

② VICS 情報マーク

③ VICS タイムスタンプ

VICS 情報の情報提供時刻を表示します。
 ※表示可能なレベル3情報がないときは
 情報提供時刻を表示しません。

④ 地図をスクロールさせてVICS 情報マークに
 カーソル(→)をあわせると、マーク詳細情報
 が表示されます。

(例2)



お知らせ

下記の場合、本機で受信したVICS 情報が消去されます。
 ・本機の電源を切ったり、車動作時に車のキースイッチをOFFにしたとき
 ・VICS 情報保存時間を経過したとき

VICS 情報(FM多重)の文字情報を見る

1

メニュー → 情報 → FM多重 をタッチする。

：FM多重画面が表示されます。

2

文字情報 をタッチする。

：文字情報の目次画面が表示されます。

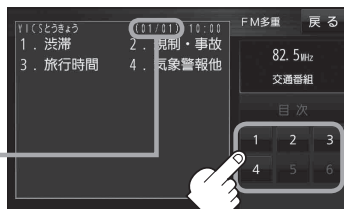


3

見たい情報の番号をタッチする。

※選択画面が続く場合は、見たい情報の番号を表示して
 タッチしてください。

(例) 文字情報の目次画面



2ページ以上ある場合は、画面を送って、
 見たい情報のある画面を表示してください。

おでかけナビサポート「ここいこ♪」について

BLUETOOTH[®] 無線技術を利用して、スマートフォン専用のアプリケーションおでかけナビサポート「ここいこ♪」(無料)から検索した地点を、本機へ送信してルートを探します。

本機で利用できるスマートフォンはAndroid[™]端末のみです。

※ BLUETOOTHを利用する前に必ず、「BLUETOOTHについて」(P.115)をご確認ください。

※ 本機のBLUETOOTH通信は、ハンズフリー機能やBLUETOOTHオーディオなどには対応していません。

※ 本機で利用できるプロファイルは「Serial Port Profile(SPP)」のみです。SPPに対応していないスマートフォンは本機で利用することができません。

※ 適合機種について、詳しくは当社サイト(<http://panasonic.jp/navi/>)をご覧ください。

※ 本書では、BLUETOOTH対応スマートフォンの操作を、docomo P-03Eを例に説明しています。

※ 操作方法は機器によって異なります。詳しくは、BLUETOOTH対応スマートフォンの説明書をご覧ください。

「ここいこ♪」ご利用の流れ

BLUETOOTH対応スマートフォンに、「ここいこ♪」(無料)をダウンロード・インストールする^{*1}

※ 詳しくは、当社サイトをご覧ください。

本機にBLUETOOTH対応スマートフォンを登録する^{*2}

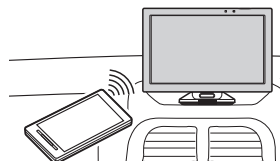
P.63

「ここいこ♪」用のスマートフォンを接続する

※ 複数のスマートフォンを登録し、接続するスマートフォンを変更したい場合はP.65をご覧ください。

「ここいこ♪」を利用する

P.66



* 1 印…Android[™]版「ここいこ♪」1.4.0より前のバージョンは、本機では利用できません。

最新のバージョンをダウンロードし、バージョンアップしてください。

* 2 印…初回利用時のみ

スマートフォンを本機に登録する

BLUETOOTH対応スマートフォンを合計3台まで本機に登録することができます。

※すでに3台登録しているときは、不要な登録データを削除してください。[P.64]

1

メニュー → **ここいこ** をタッチする。

：ここいこ紹介画面が表示されます。

※ここいこ紹介画面で一度**以後、非表示**をタッチしている場合は、下記手順**3**へ進んでください。

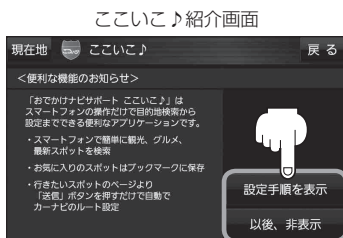


2

設定手順を表示 / **以後、非表示** をタッチする。

：ここいこ設定手順画面が表示されます。

※**以後、非表示**をタッチした場合は、次回からここいこ紹介画面は表示されません。



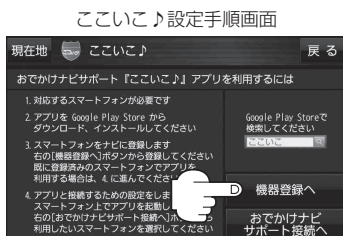
ナビゲーションの操作

3

機器登録へ をタッチする。

：機器登録画面が表示されます。

※ **メニュー** → **設定** → **次へ** → **Bluetooth設定** → **機器登録** をタッチしても表示することができます。



4

新規機器登録 をタッチする。

※他のスマートフォンが本機に接続されている場合はメッセージが表示されますので**はい**をタッチしてください。

：BLUETOOTH接続画面が表示されます。



おでかけナビサポート接続へ をタッチするとおでかけナビサポート機器接続画面を表示します。[P.65]

5 スマートフォンを操作して、BLUETOOTH対応機器(本機)を探す。

※本書では、BLUETOOTH対応スマートフォンの操作を、docomo P-03Eを例に説明しています。

① docomo P-03Eのホーム画面を開き、を押す。

② [本体設定] を選ぶ。

③ [Bluetooth] を選び、「Bluetooth」をONにする。

※しばらくすると、「Gorilla」*が表示されます。

④ 検索された機器リストから [Gorilla]*を選ぶ。

⑤ [ペア設定する] を選ぶ。

※「こここゝ」を利用するスマートフォンとして機器登録されます。

※印…本機の機器名を変更している場合は、変更した機器名が表示されます。[P.69]

6 本機の画面に接続要求メッセージが表示されるので **はい** をタッチする。

※メッセージが表示され、機器登録が完了します。

機器登録したスマートフォンの詳細を見る／削除する

機器登録画面では登録したスマートフォンの詳細を確認したり、登録を削除することができます。

■ 登録したスマートフォンの詳細を見る場合

① 機器登録画面([P.63]で
見たい機器名の **詳細** をタッチする。

：登録機器詳細画面が表示されます。



■ 登録したスマートフォンを削除する場合

① 機器登録画面([P.63]で
削除したい機器名の **削除** をタッチする。

：メッセージが表示され **はい** をタッチすると、選択した機器名が削除されます。

※削除したスマートフォンを再度登録する場合は、スマートフォン側の登録もいったん削除してください。



接続するスマートフォンを切り換える

複数のスマートフォンを機器登録し、接続するスマートフォンを変更したいときなど、手動で切り換えることができます。

1

メニュー → **ここいこ♪** をタッチする。

：ここいこ♪紹介画面が表示されます。

※ここいこ♪紹介画面で一度 **以後、非表示** をタッチしている場合は、下記手順 **3** へ進んでください。

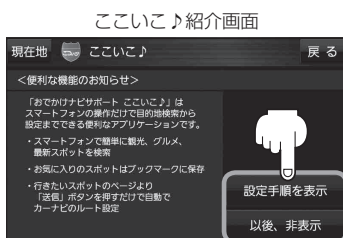


2

設定手順を表示 / **以後、非表示** をタッチする。

：ここいこ♪設定手順画面が表示されます。

※ **以後、非表示** をタッチした場合は、次回からここいこ♪紹介画面は表示されません。



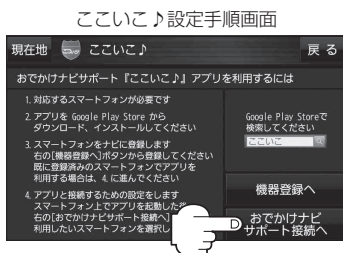
ナビゲーションの操作

3

おでかけナビサポート接続へ をタッチする。

：おでかけナビサポート機器接続画面が表示されます。

※ **メニュー** → **設定** → **次へ>** → **Bluetooth設定** → **おでかけナビサポート接続へ** をタッチしても表示することができます。

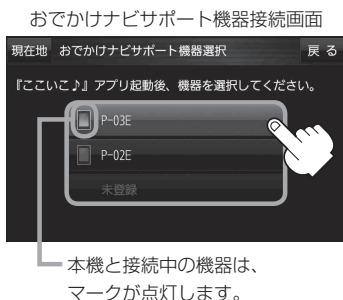


4

接続したい機器名をタッチする。

：本機と接続します。

※他のスマートフォンが接続されている場合はメッセージが表示されますので **はい** をタッチしてください。



本機と接続中の機器は、マークが点灯します。

「ここいこ」で検索した地点を本機に送信する

スマートフォン専用のアプリケーションおでかけナビサポート「ここいこ」(無料)をスマートフォンで操作して、地点情報を本機に送信します。

※地点情報を送信するときに、本機が現在地の地図画面以外を表示している場合は、送信できなかったり、本機にメッセージが表示される場合があります。

メッセージが表示された場合は、メッセージに従って本機を操作してください。

検索した地点をすぐに本機に送信する

- 1 スマートフォンを操作して「ここいこ」から地点を検索し、地点情報を本機に送信する。

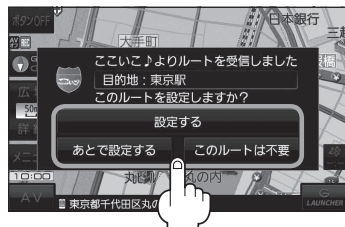
：地点情報を目的地に設定し、ルートを探します。

検索した地点を日時指定して本機に送信する

- 1 スマートフォンを操作して「ここいこ」から地点を検索し、送信する日時を予約する。

：予約した日時になると、スマートフォンと本機が接続されたとき、自動的に予約内容が本機に送信されます。

- 2 本機に確認画面が表示されたら、**設定する**／**あとで設定する**／**このルートは不要**を選択し、タッチする。



ボタン	内容
設定する	地点情報を目的地に設定し、ルートを探します。
あとで設定する	送信されたルートは消去されます。(スマートフォンから手動で再度送信できます。)
このルートは不要	送信されたルートを消去し、スマートフォン側の予約も消去されます。

ランドマーク表示の設定をする

地図画面にランドマークの表示／非表示の設定をすることができます。

1 メニュー → 設定 → ランドマーク をタッチする。

：ランドマーク設定画面が表示されます。

2 表示させたいジャンルをタッチし、(✓)をつける。

※ 駐車場、トイレ、道の駅 以外を選択した場合は、詳細施設が表示されます。下記手順 3 へ進んでください。

✓(チェックマーク)
：ジャンル内詳細施設が選択されています。



表示できるランドマークの数(300件)

選択した数



3 リストから表示したい詳細施設をタッチし、(✓)をつける。

※ (✓)を消すには、(✓)のついている項目をタッチします。

※ 全選択 / 全解除 をタッチすると全施設に(✓)をつける／全施設の(✓)を消すことができます。

お知らせ

- 縮尺スケールが200 m以上の場合、ランドマークは表示されません。
 - ランドマークにカーソル(→)を合わせると、地図画面上に施設名が表示されます。
- 施設の詳細 をタッチすると施設の詳細情報を見ることができます。

ガイドブック地点の設定をする

地図画面にガイドブック地点マークの表示／非表示の設定をすることができます。

1 メニュー → 設定 → ガイドブック地点 をタッチする。

：ガイドブック地点の設定画面が表示されます。

2 表示したいジャンルをタッチし、(✓)をつける。

※ (✓)を消すには、(✓)のついている項目をタッチします。

※ 全選択 / 全解除 をタッチすると全ジャンルに(✓)をつける／全ジャンルの(✓)を消すことができます。

※ お買い上げ時は泊まる／見る／食べるに設定されています。



音声案内の音量を調整する

ルート案内や各音声案内などの案内音量を調整することができます。

1 **メニュー** → **設定** → **案内音量** をタッチする。

：ルート案内の音量設定画面が表示されます。

2 **－** / **＋** / **消音** をタッチして、音量を調整する。

：調整時に“この音量でご案内します。”と音声がかかります。

※お買い上げ時の音量は、左から4目盛目に設定されています。

ボタン	内 容
－	音量が小さくなります。
＋	音量が大きくなります。
消音	音声を一時的に消します。 ※消音中に 消音 をタッチすると、消音を解除します。



速度連動案内の設定をする

走行による雑音で音声案内が聞き取りにくくなる場合があります。速度連動案内の設定により約80 km/h以上の速度になると、設定値から1目盛分大きな音量で音声案内を出すことができます。

1 **メニュー** → **設定** → **案内音量** をタッチする。

：ルート案内の音量設定画面が表示されます。

2 速度連動案内(**する** / **しない**)を選択し、タッチする。

※お買い上げ時は **する** に設定されています。



お知らせ

- 案内音量が消音時／最大音量の場合は設定できません。
- テレビ(ワンセグ)／動画の音声や音楽などは速度連動しません。
- 本機が受信するGPS衛星電波で速度判定を行いますので、実際の速度と異なる判定をする場合があります。また、GPS未受信時など状態によっては速度連動しない場合があります。

BLUETOOTHの設定をする

スマートフォンの登録やBLUETOOTHの利用などについては、 P.62をご覧ください。

1

メニュー → 設定 → 次へ ➤ → Bluetooth設定 をタッチする。

：BLUETOOTH設定画面が表示されます。

BLUETOOTH設定画面



機器登録については、
 P.63をご覧ください。

おでかけナビサポート接続については、
 P.65をご覧ください。

本機の機器名を変更する

機器名は、機器登録などのときにスマートフォンに表示される本機の名前です。

※お買い上げ時は「Gorilla」に設定されています。

1

メニュー → 設定 → 次へ ➤ → Bluetooth設定 → 本体情報 をタッチする。

：本体情報画面が表示されます。

2

機器名変更 をタッチする。

：機器名入力画面が表示されます。

本体情報画面



3

文字をタッチして入力する。

※半角(英数)20文字まで入力できます。

本機のパスキーを変更する

BLUETOOTHパスキーは、BLUETOOTHによる接続を他人に許可なく使われないためのパスワードです。接続機器によっては、あらかじめ設定されていて変更できない場合や、接続時にBLUETOOTHパスキーが不要な場合があります。

※お買い上げ時は「1234」に設定されています。

1

メニュー → 設定 → 次へ → Bluetooth設定 → 本体情報 をタッチする。

： 本体情報画面が表示されます。

2

パスキー変更 をタッチする。

： パスキー入力画面が表示されます。



3

パスキーを入力し、決定 をタッチする。

※パスキーは4桁～8桁です。



入力した文字を削除します。
長めにタッチすると入力した
全ての文字を削除します。

AVモードの基本操作

本機を車で使用する場合、安全上の配慮から走行中はテレビ(ワンセグ)/動画などの表示や一部の操作が制限されます。[P.35]

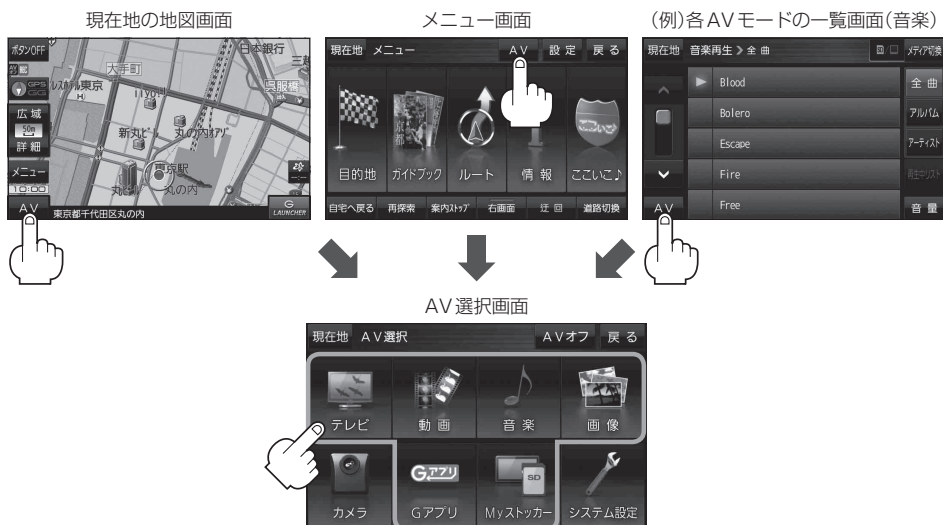
操作したいAVモードに切り換える

1

AV → 操作したいモード(**テレビ** / **動画** / **音楽** / **画像** / **Gアプリ** / **My ストッカー**) をタッチする。

：選択したモード画面に切り換わります。

※ AV 同時動作中に地図画面の **AV** をタッチすると、各 AV モードの再生画面が表示されますので、各 AV モードの一覧画面まで戻り、手順 **1** の操作を再度行ってください。



AV・テレビ・Gアプリを楽しむ

AVモードを終了する

再生中のAVモードを終了します。

1

AV 選択画面または各 AV モードの再生画面で **AV オフ** をタッチする。

：各 AV モードの動作を終了します。

※ AV 同時動作中の AV 音量バーについては、[P.73]をご覧ください。



音量調整する

AV 音量バーを表示し、音量調整や消音の操作をすることができます。

1 各AVモードの再生画面で **音量** をタッチする。

：AV 音量バーが表示されます。

※各AVモードの再生画面でボタン表示が消えている場合は、画面をタッチしてボタンを表示させてください。

※お買い上げ時は音量8に設定されています。



(例)AV 音量バー(音楽再生)



① AV 音量表示

② **AV** ボタン

AV 選択画面を表示します。

▶ P.71

③ **- / +** ボタン

音量を調整します。

(**-** : 小さくなる **+** : 大きくなる)

④ **消音** ボタン

音声を一時的に消します。

※消音中に **消音** または **- / +** をタッチすると消音を解除します。

⑤ **×閉** ボタン

AV 音量バーを閉じます。

お知らせ しばらくになにも操作しなかった場合や画面をタッチした場合、AV 音量バーは消えます。

AV同時動作について

地図画面を表示しながら、テレビ(ワンセグ)/動画の音声や音楽を聞くことができます。地図画面で音量調整などを行うこともできます。

※音声や音楽を止めたいときは、AVモードを終了してください。[P.71]

1

各AVモードの再生画面で**現在地**をタッチする。(例)各AVモードの再生画面(音楽)

: 音声はそのまま、現在地の地図画面に切り換わります。



2

AV同時動作中の地図画面で、**LAUNCHER**をタッチする。

: AV音量バーが表示されます。

※ **LAUNCHER** が非表示で、**音量**を表示している場合は**音量**をタッチしてください。



(例) 現在地の地図画面(AV音量バー表示)



① AV音量表示

消音 または **-** / **+** をタッチすると表示されます。

② AVオフ ボタン

AVモードを終了します。

③ - / + ボタン

音量を調整します。

(**-** : 小さくなる **+** : 大きくなる)

④ 消音 ボタン

AV同時動作中の音声を一時的に消します。

※消音中に **消音** または **-** / **+** をタッチすると消音を解除します。

⑤ ×閉 ボタン

AV音量バーを閉じます。

お知らせ

- しばらくなくとも操作しなかった場合や画面をタッチした場合、AV音量バーは消えます。
- AVオフ時はAV音量バーを操作できません。

テレビ(ワンセグ)について

本機では地上デジタルテレビ放送の携帯・移動体向けサービス「ワンセグ」を見ることができます。

※本機を車で使用する場合、安全上の配慮から車を完全に停車したときのみテレビ(ワンセグ)を見ることができます。(走行中は音声のみになります。)

※AV 選択画面でテレビ(ワンセグ)モードにすると、テレビ(ワンセグ)受信画面が表示されます。

▶ P.71

(例) テレビ(ワンセグ)受信画面*



*印…ボタン表示が消えている場合は、画面をタッチしてボタンを表示させてください。

(例) テレビ(ワンセグ)メニュー画面



(例) データ放送画面



① 現在地 ボタン

現在地の地図画面を表示します。

② チャンネル番号

③ 番組名

④ 放送局名

マルチサービスを受信しているときは放送局名の後ろにサービス番号が表示されます。

⑤ メニュー ボタン

テレビ(ワンセグ)メニュー画面を表示します。

⑥ AV ボタン

AV 選択画面を表示します。▶ P.71

⑦ d ボタン

データ放送画面を表示します。
※データ放送画面でボタンをタッチすると、
テレビ(ワンセグ)受信画面に戻ります。

⑧ ▼ / ▲ ボタン

選局します。▶ P.77

※長くタッチすると自動選局を始め、放送局を受信すると自動で止まります。

⑨ 番組 ボタン

番組表を表示します。

⑩ 音量 ボタン

AV 音量バーを表示し、音量調整や消音の操作をすることができます。▶ P.72

⑪ AVオフ ボタン

AV モードを終了し、現在地の地図画面を表示します。

⑫ ワンセグ電波状態

⑬ 中継サーチ ボタン

中継・系列局サーチをします。

⑭ チャンネルリスト ボタン

チャンネルリスト画面を表示します。▶ P.77

⑮ **チャンネルスキャン** ボタン

チャンネルスキャン画面を表示します。

⑯ **エリア変更** ボタン

視聴エリア変更画面を表示します。[P.76]

⑰ **エリアスキャン** ボタン

エリアスキャンを実行します。

⑱ **自宅呼出** ボタン

自宅登録されたチャンネルリストに切り換えます。

⑲ **お好み呼出** ボタン

お好み登録されたチャンネルリストに切り換えます。

⑳ **各種設定** ボタン

受信レベルの確認や、音声や字幕の切り換えなど、テレビ(ワンセグ)に関する各種設定を行います。

㉑ **10キー** ボタン

10キーボタンを表示します。10キー入力が必要なデータ放送の場合に使用します。

㉒ **▲ / ▼** ボタン

カーソルの移動やデータ放送内容をスクロールする場合にタッチします。

㉓ **取消** ボタン

データ放送を受信中にタッチすると1つ前のデータ放送画面に戻ります。

※データ放送によっては**取消**をタッチしても戻れない場合があります。そのときは**▲ / ▼**でデータ放送画面内にある**戻る**などの項目にカーソルを移動させ**決定**をタッチしてください。

㉔ **決定** ボタン

画面で選んだ項目を決定(実行)します。

お知らせ テレビ(ワンセグ)を見る前に

●ワンセグ用ロッドアンテナをまっすぐ上に伸ばしてください。

※★の部分曲げて、ワンセグ用ロッドアンテナの向きと角度を調整することができます。

※ワンセグ用ロッドアンテナに無理な力を加えないでください。破損するおそれがあります。

※ワンセグ用ロッドアンテナの先端を持って調整しないでください。破損するおそれがあります。

※ワンセグ用ロッドアンテナをGPSアンテナの上に近づけると、GPS衛星電波を受信できなくなることがあります。[P.15]

●初めてテレビ(ワンセグ)を利用する場合は、最初に視聴エリアの設定をして放送局を検索し、チャンネルリストを登録します。次回からはすぐにテレビ(ワンセグ)を見ることができます。[P.76]

●地域によっては同じチャンネル番号に複数の放送局が登録される場合があります。

周波数再編(リバック)について

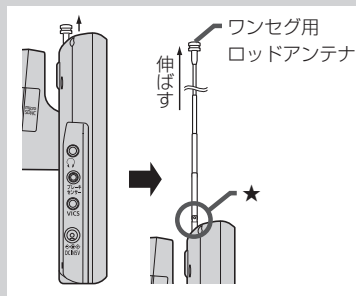
周波数再編により、これまで視聴できたチャンネルが映らなくなった場合は、再スキャンを行ってください。

マルチサービスについて

マルチサービスとは、1つの放送局が同じ周波数で複数の番組(サービス)を放送している運用形態のことです。番組内容は放送局によって異なりますが、地域や時間帯によっては、放送されていないことがあります。

TV(ワンセグ)の画像について

地上デジタルテレビ放送「ワンセグ」は、各放送局から送られてくるデータをそのまま表示します。データによっては画像の大きさ(比率)が異なり、チャンネルを変えたり、CMや次の番組に変わったときなどに、画像の周りや左右、上下が黒く表示されるなど、不自然な画像になる場合があります。



視聴エリアを変更する

視聴エリアを設定してチャンネルリストを作成します。お買い上げ時は今いる地域(現在地エリア)を自動でサーチする設定になっていますが、下記の手順で視聴エリアを手動で選択することもできます。

1 テレビ(ワンセグ)受信画面でボタンを表示させ、

メニュー → **エリア変更** をタッチする。

▶ P.74

2 エリア変更 **手動** をタッチする。

：視聴エリア(地方)が選択できるようになります。

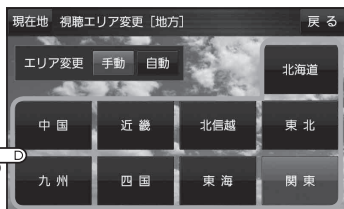
※視聴エリア変更を自動に戻したい場合は **自動** をタッチしてください。



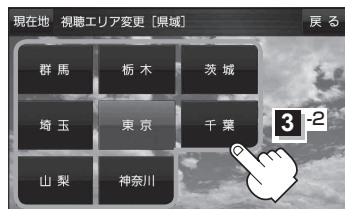
3 変更したい地方と県域をタッチする。

：選択した地域のチャンネルリストを作成し、スキャン*を行うかどうかのメッセージが表示されます。 **はい** / **いいえ** を選択してください。

3-1



3-2



お知らせ

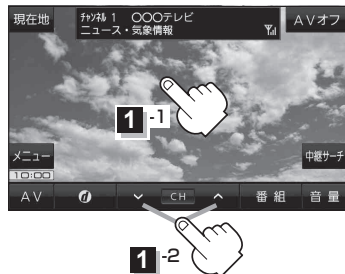
*印…スキャンとは、チャンネルリストに登録された放送局の中継局を探索する機能です。

- 現在地付近に新しく開局された放送局や、現在地に隣接した地域で受信できる放送局を追加したいときは、再スキャンを行ってください。
- エリア変更を **自動** に設定している場合、現在地エリアが変わるとメッセージが表示され、自動でその地域のチャンネルリストを作成します。

選局する

- 1** テレビ(ワンセグ)受信画面でボタンを表示させ、
▼／▲ をタッチ、または長くタッチする。
 (手動選局／自動選局)

☎ P.74



ボタン	内 容
▼／▲ をタッチ(手動選局)	タッチするたびに放送局が変わります。
▼／▲ を長くタッチ(自動選局)	自動選局を始め、放送局を受信すると自動的に止まります。 ※自動選局中に ▼／▲ をタッチすると、自動選局が止まります。

チャンネルリストを確認／選局する

チャンネルリストに設定されている放送局を確認／選局することができます。

- 1** テレビ(ワンセグ)受信画面でボタンを表示させ、
メニュー → **チャンネルリスト** → 呼び出したい放送局をタッチする。

☎ P.74



お知らせ

- 地域によっては同じチャンネル番号に複数の放送局が登録される場合があります。
- 現在受信しているチャンネルがある場合は、リストが点灯します。

音楽／動画／画像について

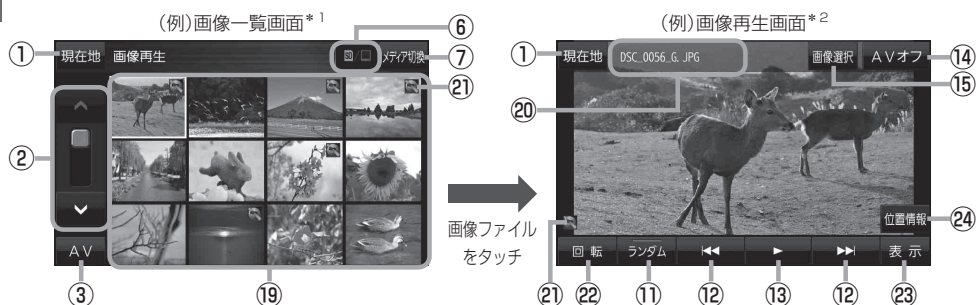
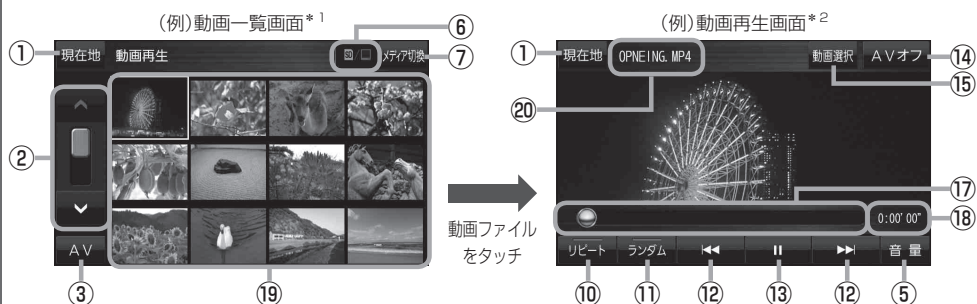
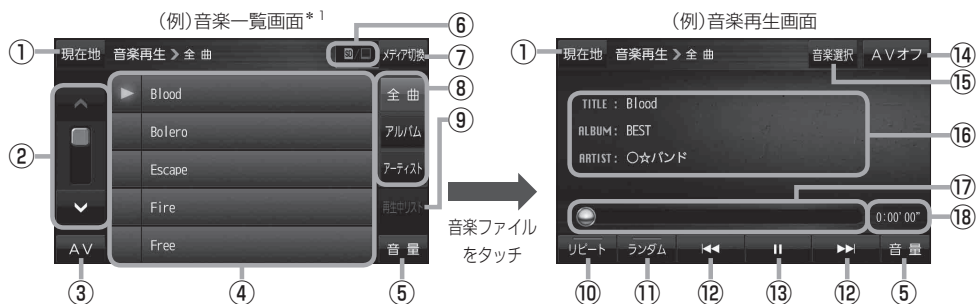
SDメモリーカードまたはMyストックアーに保存されているファイルを本機で再生できます。

※本機を車で使用する場合、安全上の配慮から車を完全に停車したときのみ動画を見ることができます。
(走行中は音声のみになります。)

※再生できるファイルについて詳しくは「P.40『詳細操作編』」をご覧ください。

※SDメモリーカードに保存されているファイルを再生する場合は、操作を行う前にSDメモリーカードを差し込んでください。P.40

※AV選択画面で音楽モード／動画モード／画像モードにすると、各モードの一覧画面が表示されます。
P.71



* 1 印…各ファイルを表示するときに意図しない並べ替えが発生し、希望の順序にならない場合があります。

* 2 印…ボタン表示が消えている場合は、画面をタッチしてボタンを表示させてください。

- ① **現在地** ボタン
現在地の地図画面を表示します。
- ② **ページ戻し／送り** (▲／▼)
③ **AV** ボタン
AV 選択画面を表示します。[P.71]
- ④ **音楽一覧**
保存されている音楽ファイルがリスト表示されます。
※画面をタッチしたまま上下に動かすと、リストを動かすことができます。
※音楽を再生／一時停止している場合は、再生中のタイトル名の左側に ▶／⏸ が表示されます。
- ⑤ **音量** ボタン
AV 音量バーを表示し、音量調整や消音の操作をすることができます。[P.72]
- ⑥ **再生メディア表示**
現在再生しているメディア (SD メモリーカード／My ストッカー) が点灯します。
SD (点灯) …SD メモリーカードを選択中
My (点灯) …My ストッカーを選択中
- ⑦ **メディア切換** ボタン
再生メディアを切り換えます。
(SD メモリーカード／My ストッカー)
- ⑧ **全曲**／**アルバム**／**アーティスト** ボタン
音楽ファイルを全曲／アルバムごと／アーティストごとに表示します。
- ⑨ **再生中リスト** ボタン
再生中の音楽ファイルが音楽一覧画面に表示されていない場合、ボタンをタッチして音楽一覧画面に表示させることができます。
- ⑩ **リピート** ボタン
再生中のファイルを繰り返し再生します。
※ **リピート** 選択後、もう一度ボタンをタッチすると解除します。
- ⑪ **ランダム** ボタン
順序不同で再生します。
※ **ランダム** 選択後、もう一度ボタンをタッチすると解除します。
※保存されているファイルが全て再生されない場合があります。
- ⑫ **◀／▶** ボタン
ファイルの頭出しをします。
- ⑬ **▶** ボタン(再生)／**⏸** ボタン(一時停止)
タッチするたびに
⏸ ボタン(一時停止) ↔ **▶** ボタン(再生)
とボタンが切り換わります。

※画像再生の場合は、画像を順番に表示していくスライドショーを再生／一時停止します。
- ⑭ **AV オフ** ボタン
AV モードを終了し、現在地の地図画面を表示します。
- ⑮ **音楽選択**／**動画選択**／**画像選択**
各一覧画面に戻ります。
- ⑯ **タイトル名、アルバム名、アーティスト名**
音楽ファイルに登録されているタイトル名、アルバム名、アーティスト名を表示します。
- ⑰ **再生バー**
ファイルの再生位置を表示します。再生バーをタッチすると、タッチした位置からファイルを再生します。
- ⑱ **再生時間**
- ⑲ **動画一覧／画像一覧**
保存されているファイルがサムネイル表示されます。
- ⑳ **ファイル名**
再生中のファイル名を表示します。
- ㉑ **位置情報付き画像ファイルマーク**
位置情報付き画像ファイルの場合はマークが表示されます。
- ㉒ **回転** ボタン
スライドショー停止中に画像を 90° ずつ右方向に回転します。
- ㉓ **表示** ボタン
カレンダーや時計を表示することができます。
- ㉔ **位置情報** ボタン
位置情報付き画像ファイルの位置情報を表示したり、地点登録や目的地に設定することができます。
※位置情報がない画像ファイルを表示したときは、操作できません。

お知らせ 再生中に本機の電源を切る、ナビモードにするなどした場合に、次に電源を入れたり AV モードに切り換えたりすると、前回の続きから再生が始まります。

Gアプリについて

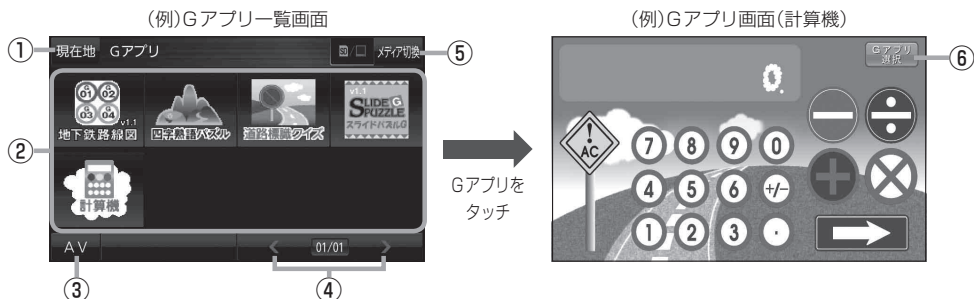
Gアプリは本機をより便利に使っていただくためのソフトです。パソコンでダウンロードし、SDメモリーカード／My ストッカーに保存したGアプリを本機で操作することができます。Gアプリのダウンロードや操作方法などの詳細については、当社サイトをご覧ください。

<http://panasonic.jp/navi/>

※本機を車で使用する場合、安全上の配慮から車を完全に停車したときのみGアプリを操作できます。

※SDメモリーカードに保存されているGアプリを利用する場合は、操作を行う前にSDメモリーカードを挿入してください。[P.40]

※AV 選択画面でGアプリモードにすると、Gアプリ一覧画面が表示されます。[P.71]



① 現在地 ボタン

現在地の地図画面を表示します。

② Gアプリ一覧

保存されているGアプリが表示されます。

※SDメモリーカードに40個以上のGアプリを保存している場合は、メディアに書き込まれた順に40個までしか表示されません。

③ AV ボタン

AV 選択画面を表示します。[P.71]

④ ◀ / ▶ ボタン

Gアプリが9個以上保存されているときにタッチすると表示を切り換えます。

⑤ メディア切換 ボタン

再生メディアを切り換えます。

(SDメモリーカード／My ストッカー)

[点灯]…SDメモリーカードを選択中

[点灯]…My ストッカーを選択中

⑥ Gアプリ選択 ボタン

※Gアプリによってはボタンの形状や位置、ボタン名称などが異なる場合があります。また、Gアプリのメイン画面以外では[Gアプリ選択]が表示されない場合がありますので、この場合[戻る]などをタッチしてGアプリのメイン画面に戻ってください。

お知らせ

- ルート案内中にGアプリを起動した場合は、ルート案内を停止します。
- Gアプリによっては画像が粗く見えるものもあります。

ファイル名について

ダウンロードしたGアプリのファイル名や拡張子を変更すると、本機で認識できなくなり動作しません。Gアプリファイルとして認識するファイル拡張子は「sap(SAP)」「sad(SAD)」のみです。※「sad(SAD)」ファイルを動作させるには、対応した「sap(SAP)」ファイルが必要です。

制限事項について

最大ディレクトリ階層	16階層
SDメモリーカード内で本機が認識できる最大ファイル数	40個

Myストッカー／SDメモリーカードにコピーする

Myストッカーは、SDメモリーカード内の音楽ファイル(MP3／WMA)／動画ファイル(MP4)／画像ファイル(JPEG)／Gアプリを本機にコピーして再生することができます。また、本機にコピーしたファイルをSDメモリーカードへコピーすることもできます。

※ GアプリはMyストッカーからSDメモリーカードにコピーすることができません。

下記操作を行う前にSDメモリーカードを挿入してください。[P.40]

- 1 Myストッカーモードにし、
SDからコピー／**SDへコピー** をタッチする。

[P.71]

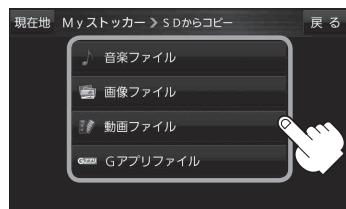
ボタン	内 容
SDからコピー	SDメモリーカードからMyストッカーにコピーします。
SDへコピー	MyストッカーからSDメモリーカードにコピーします。



- 2 ファイル形式(**音楽ファイル**／**画像ファイル**／**動画ファイル**／**Gアプリファイル**)をタッチする。

※手順 1 で **SDへコピー** を選択した場合、**Gアプリファイル** を選択することができません。

(例)SDからコピーの場合



- 3 コピーしたいファイルをタッチし、**コピー** をタッチする。

：メッセージが表示され **はい** をタッチすると、
選択したファイルがコピーされます。
コピーが終了したら **OK** をタッチしてください。

※手順 2 で **Gアプリファイル** を選択した場合は、
サムネイル表示されますので、コピーしたい
Gアプリを選択し、**コピー** をタッチしてください。

※ **全コピー** をタッチすると全てのファイルがコピー
されます。

※印…音楽ファイルの場合、**全曲**／**アルバム**／**アーティスト** をタッチして、全曲／アルバムごと／
アーティストごとに表示することができます。

・表示を切り換えると、選択していたファイルは解除されます。

・ **アルバム**／**アーティスト** 内のファイルを表示しているときに、**全コピー** をタッチすると、
アルバム／**アーティスト** 内のファイルのみを全てコピーします。

(例)音楽ファイルの場合



Myストッカーを使う

microSDHCメモリーカードをフォーマットする

フォーマットを行うとmicroSDHCメモリーカードをカメラユニットでできるよう最適化し、microSDHCメモリーカードのおおよその寿命などを管理できる状態にします。

初めてカメラユニットを使用する場合は、使用前に必ずフォーマットを行ってください。

※撮影中にフォーマットすると、一時的に撮影が停止します。

※フォーマットを行うと、保存フォルダも含めmicroSDHCメモリーカードの記録ファイルは全て消去されます。消去したくない記録ファイルは、パソコンなどにコピーしてください。

※連続して撮影し続けると、不良セクタ*などが発生し撮影や再生ができなくなる場合があります。

本機の起動時などに、microSDHCメモリーカードのフォーマットや交換を促すメッセージが表示されたら、メッセージに従ってフォーマットまたは市販のmicroSDHCメモリーカードに交換することをおすすめします。

*印…長時間の使用でメモリーが損傷し、データを保存できなくなった領域。

お願い

- フォーマット中に本機の電源を切る、接続しているシガーライターコードまたはACアダプター、カメラユニット専用ケーブルを外す、車動作時に車のキースイッチをOFFにするなどの行為は絶対に行わないでください。故障の原因となります。
- カメラユニットで使用しているmicroSDHCメモリーカードをパソコンなどで読み込むときに、microSDHCメモリーカード内にカメラユニット用の管理ファイルが表示される場合がありますが、移動や削除などしないでください。
- 本機以外ではフォーマットしないでください。パソコンなどでフォーマットすると正常に動作しない場合があります。

1

AV → カメラ → 開始 をタッチする。

：確認画面が表示されますので、**OK → はい** をタッチするとフォーマットが開始されます。

※フォーマットが終了するとメッセージが表示されますので **OK** をタッチしてください。



カメラユニットの設置確認をする

本機を車に取り付けるときなどに、カメラユニットに映る映像を確認することができます。

※走行中は映像を表示できません。

カメラユニットを利用する

1 AV → カメラ → 設置確認 をタッチする。

：カメラユニットの映像が表示されます。

※映像を止める場合は画面をタッチし、**戻る** をタッチしてください。



お知らせ

LAUNCHER → カメラモニター をタッチしても、カメラユニットに映る映像を確認できます。ただし、操作を行う前にランチャーボタンに **カメラモニター** を設定しておく必要があります。

カメラユニットの画質調整をする

カメラユニットの設置確認中に、画質の調整をすることができます。

1 カメラユニットの映像を表示し、画面をタッチして **画質調整** をタッチする。

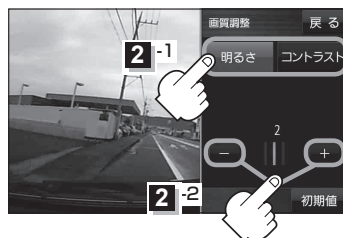
：画質調整画面が表示されます。



2 調整したい項目をタッチし、**-** / **+** をタッチして値を調整する。

※ **初期値** をタッチすると画質がお買い上げ時の設定（明るさ：2 / コントラスト：2）に戻ります。

(例)画質調整画面



カメラユニットを設定する

1 AV → カメラ → 設定 をタッチする。

：カメラ設定画面が表示されます。

2 設定を選び、タッチする。

項目	ボタン	内 容
【動画画質の設定】	標準	標準画質で動画を撮影します。(解像度：640×368、フレームレート：13.5 fps、1分間のファイルサイズ：約9 MB)
	高画質 ☆	高画質で動画を撮影します。(解像度：1280×720、フレームレート：27 fps、1分間のファイルサイズ：約68 MB)
【動画情報表示】	急加速・急減速 ☆	(✓)をつけて記録ファイルを再生すると、急な加速や減速をしたシーンで動画情報が表示されます。
	事故多発地点 ☆	(✓)をつけて記録ファイルを再生すると、事故多発地点を通過したシーンで動画情報が表示されます。
	合流地点 ☆	(✓)をつけて記録ファイルを再生すると、合流地点を通過したシーンで動画情報が表示されます。
	急カーブ ☆	(✓)をつけて記録ファイルを再生すると、急カーブを通過したシーンで動画情報が表示されます。
【急加速・急減速の感度】	－	急加速・急減速の測定感度を下げます。
	＋	急加速・急減速の測定感度を上げます。
【急加速・急減速の感知音】	する ☆	急加速・急減速情報を記録したときに音を鳴らします。
	しない	急加速・急減速情報を記録しても音を鳴らしません。

☆はお買い上げ時の設定です。(急加速・急減速の感度の設定値は3です。)

自動撮影について

本機の電源を入れたら、カメラユニットの撮影準備後*、動画を連続して記録し、1分ごとに記録ファイル(AVI)としてカメラユニットのmicroSDHCメモリーカードへ保存します。microSDHCメモリーカードの容量がなくなると、自動的に古い記録ファイルから順に自動消去して繰り返し保存し続けます。

*印…カメラユニットへの電源供給など撮影準備を行うため、本機が起動してから約30秒後(主電源スイッチで電源を入れた場合は約50秒後)に自動撮影を開始します。

自動撮影が開始されるまでは、地図画面の手動撮影ボタンが下記の表示になります。

 (準備中) →  (自動撮影開始) → 

※車のキースイッチをOFFにするなどで本機の電源を切っても、次回起動時に自動で撮影を開始します。

※手動撮影した記録ファイル、保存フォルダに移動した記録ファイルは、自動消去されません。

※急加速・急減速情報のある記録ファイルは通常自動消去されませんが、microSDHCメモリーカードの容量がないときなどは、自動消去する場合があります。

手動撮影する

手動撮影ボタンをタッチして、残しておきたい風景などを動画や静止画で記録することができます。

カメラユニットを利用する

1

(動画) / (写真) をタッチする。

：撮影を行います。

※動画の場合、撮影中は定期的に確認音が鳴り、 (停止) をタッチすると手動撮影を終了します。

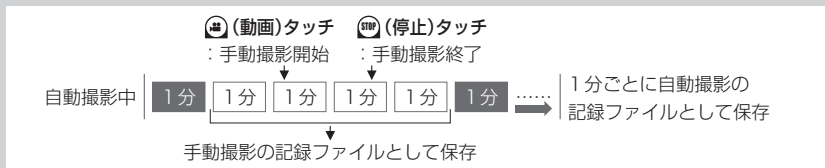
※静止画の場合、【動画画質の設定】 P.84で設定した画質(解像度)のJPEGで記録され、microSDHCメモリーカードの「DCIM」フォルダ内に保存されます。



お知らせ 手動撮影(動画)について

手動撮影で動画を記録すると、自動撮影で記録している動画を手動撮影用の記録ファイルに置き換えて残しておきたいシーンを自動消去されないようにします。

手動撮影時は、 (動画) / (停止) をタッチする約1分前後を含んだ記録ファイルで保存されます。



手動撮影の設定をする

1

AV → **カメラ** をタッチする。

2

手動撮影の設定 (**OFF** / **動画** / **静止画**) を選び、タッチする。

※お買い上げ時は **動画** に設定されています。

※ **OFF** に設定した場合は、地図画面に手動撮影ボタンを表示しません。

カメラユニットで撮影した記録ファイルを再生する

1 AV → カメラ → 確認 をタッチする。

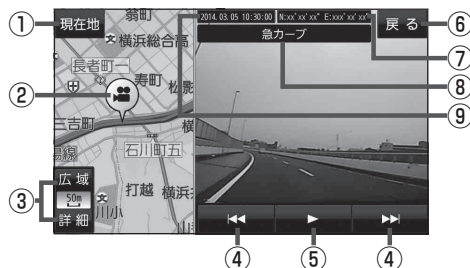
：確認画面が表示されますので、**はい** をタッチすると記録ファイル確認画面が表示されます。

2 再生したい記録ファイルを選択し、**再生** をタッチする。

：記録ファイル再生画面が表示されます。



(例) 記録ファイル(動画)再生画面



① 現在地 ボタン

現在地の地図画面を表示します。

② 撮影地点

③ 広域 / 詳細 ボタン

地図の縮尺を切り換えます。

④ ◀▶ ボタン

ファイルの頭出しをします。

※動画再生の場合、長くタッチすると早戻し／早送り
をします。

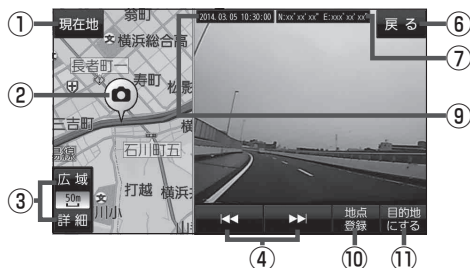
⑤ ▶ ボタン(再生) / ⏸ ボタン(一時停止)

タッチするたびに

⏸ ボタン(一時停止) ↔ ▶ ボタン(再生)

とボタンが切り換わります。

(例) 記録ファイル(静止画)再生画面



⑥ 戻る ボタン

1つ前の画面に戻ります。

⑦ 位置情報

⑧ 動画情報を表示

⑨ 撮影日時

⑩ 地点登録 ボタン

撮影場所を地点登録します。

⑪ 目的地にする ボタン

撮影場所を目的地に設定し、ルート探索を開始します。

※ルート探索が完了すると全ルート画面が表示され、

案内スタート をタッチするとルート案内を開始
します。

お知らせ

●再生画面の左に表示される地図は、常に北方向が上になります。

●再生画面をタッチすると動画や静止画を全画面で表示します。もう一度タッチすると元に戻ります。

記録ファイルを保存フォルダへ移動／削除する

自動的に削除されたくない記録ファイルを保存フォルダへ移動させたり、不要なファイルを削除したりします。

※カメラユニット内部の記録ファイル処理状況により、保存フォルダへの移動や削除が極端に遅くなる場合があります。移動や削除が完了するまでお待ちください。

1

AV → カメラ → 確認 をタッチする。

：確認画面が表示されますので、**はい** をタッチすると記録ファイル確認画面が表示されます。

2

記録ファイルを保存フォルダへ移動／削除する。

■ 記録ファイルを保存フォルダへ移動する場合

① 移動したい記録ファイルを選択し、

保存 → はい → OK をタッチする。

：記録ファイルが保存フォルダへ移動します。

※保存フォルダ内の記録ファイルは、microSDHCメモリーカードの「SAVEDATA」フォルダ内で確認することができます。



■ 記録ファイルを削除する場合

① 削除したい記録ファイルの **削除** → **はい** →

OK をタッチする。

：記録ファイルが削除されます。

※記録ファイルを全て(保存フォルダ内の記録ファイルは除く)削除する場合は **全削除 → はい → OK** をタッチしてください。

※保存フォルダ内の記録ファイルを削除する場合は **保存フォルダ** をタッチしてから記録ファイルを選択して操作を行ってください。

※保存フォルダ内で全削除した場合は、保存フォルダ内の記録ファイルが全て削除されます。



システム設定画面を表示する

1

メニュー → 設定 → 次へ → システム設定 をタッチする。

：システム設定画面が表示されます。

※ AV 選択画面で **システム設定** をタッチして表示することもできます。[P.71]



① **画面の明るさ** ボタン

画面の明るさを調整します。

② **省電力** ボタン

電池動作時の省電力設定をします。

③ **操作音** ボタン

ボタンをタッチしたときなどのキー操作音を設定します。

④ **セキュリティ設定** ボタン

セキュリティコードを設定します。[P.89]

⑤ **初期化** ボタン

お買い上げ時の状態に戻します。[P.90]

⑥ **バージョン情報** ボタン

バージョン情報を表示します。[P.91]

⑦ **地図更新** ボタン

地図更新時に使用します。

通常お使いの場合は使用しません。

※誤ってタッチし、バージョンアップ画面が表示された場合は、本機の主電源スイッチを切り、10秒過ぎてから再度本機の電源を入れてください。

⑧ **映像入力設定** ボタン

別売のレビューカメラや市販のビデオカメラなどを表示します。[P.92]

セキュリティコードについて

万一盗難にあった場合でも、セキュリティコードを設定していれば、盗難後の使用や個人情報の漏洩を防ぐことができます。設定したセキュリティコードは忘れないようご注意ください。

●セキュリティコードを忘れた場合

セキュリティコードを忘れた場合は有償による解除となります。本機、本機を購入されたご本人と確認できる書類(運転免許証、保険証など)、保証書をお近くの「サービスご相談窓口」までお持ちください。

セキュリティコードを設定する

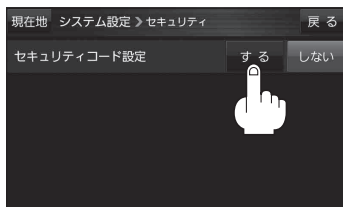
1

システム設定画面で

セキュリティ設定 → **する** をタッチする。

 P.88

：セキュリティコード入力画面が表示されます。



システム設定をする

2

セキュリティコードを入力し、

決定 をタッチする。

：確認画面が表示されますので、再度同じセキュリティコードを入力して **決定** をタッチすると、メッセージが表示され、セキュリティ設定画面に戻ります。

※セキュリティコードは3桁～8桁です。

※印…入力した文字を削除します。

長くタッチすると全ての文字を削除します。



2-1

2-2

お知らせ

- セキュリティコードの設定・解除および変更は、車動作時のみ操作できます。 P.34
- 設定したセキュリティコードを変更する場合は、一度解除して再度セキュリティコードを設定してください。
- セキュリティコードを設定すると、本機の電源を入れたときや、お買い上げ時の状態に戻すときなどに、セキュリティコード入力画面が表示されます。

セキュリティコードを解除する

1

システム設定画面で **セキュリティ設定** → **しない** をタッチする。

 P.88

：セキュリティコード入力画面が表示されます。

2

現在のセキュリティコードを入力し、**決定** をタッチする。

：メッセージが表示され、セキュリティ設定画面に戻ります。

お買い上げ時の状態に戻す(初期化)

本機で設定した内容や登録した情報(登録地点など)、My ストッカー内のファイルを初期化することができます。

※ AV 同時動作中や GPS ログ記録中は、初期化の操作を行うことができません。

お願い

- 本機を他人に譲り渡したり処分などされる場合はプライバシー保護のため、お客様の責任において本機の情報を消去してください。
- 初期化中に本機の電源を切る、本機に接続しているシガーライターコードまたは AC アダプターを外す、車動作時に車のキースイッチを OFF にするなどの行為は絶対に行わないでください。故障の原因となります。

1 システム設定画面で **初期化** をタッチする。

 P.88

：初期化画面が表示されます。

2 **出荷状態に戻す** をタッチする。

：メッセージが表示されるので、**はい** → **はい** をタッチしてください。

※セキュリティコードを設定している場合は、セキュリティコード入力画面が表示されます。セキュリティコードを入力し、**決定** をタッチしてください。

 P.89

※初期化が完了するとメッセージが表示されますので、メッセージに従い本機の主電源スイッチを切り、10 秒過ぎてから再度本機の電源を入れてください。



初期化される項目について

初期化される項目は下記のとおりです。

- 画面表示(地図表示(方位)、スケール)
- ランドマーク
- ガイドブック地点
- 案内設定
- 案内音量
- 地図カスタマイズ
(地図基本表示/地図の設定/右画面設定/カーマーク選択)
- 地図ボタン表示(メイン地図/右地図)
- ランチャーボタン
- 到着予想
- 探索条件
- eco ドライブ
(評価履歴/評価の連続回数カウント/設定)
- FM 多重(VICS)
- BLUETOOTH 設定
- GPS ログ(保存データ/設定)
- 走行軌跡(保存データ/設定)
- システム設定
(画面の明るさ/省電力/操作音/セキュリティ設定/映像入力設定)
- 目的地履歴
- 自宅/登録地点
- 登録ルート
- 音量調整
- テレビ(ワンセグ)/音楽/動画/画像の設定
- My ストッカー内のファイル
- カメラユニット設定

バージョン情報を見る

現在のプログラム／地図ソフト／まっぷるコード(MGコード)のバージョンや、地図更新ID、ナビIDを見ることができます。

1 システム設定画面で「バージョン情報」をタッチする。

(例)バージョン情報画面

📶 P.88

：バージョン情報画面が表示されます。

現在地	システム設定 > バージョン情報	戻る
アプリケーションバージョン	XXXXXXXXXXXX	
地図データバージョン	ベース 20XX-XX	更新 20XX-XX
まっぷるコードバージョン	MCJMX. XXXX	
地図更新ID: XXXXXXXXXXXX	ナビID: XXXXXXXX	
地図更新用SDの作成	アプリケーションバージョンアップ	

お知らせ

地図更新用SDの作成

アプリケーションバージョンアップ

は地図更新／アプリケーションバージョンアップを行うときに使用します。通常お使いの場合は使用しません。

システム設定をする

地図更新について

本機では下記の方法で地図更新を行うことができます。

バージョンアップキットで地図を更新する

別売のバージョンアップキットに付属のSDメモリーカードを本機に挿入して地図更新を行います。発売時期、販売方法については、決定次第下記サイトにてご案内します。

<http://www.zenrin.co.jp/go/s-navi/>

お知らせ

- 地図の年度更新は株式会社ゼンリンで取り扱っています。詳しくは下記にお問い合わせください。
株式会社ゼンリン カスタマーサポートセンター
📞 0120-210-616 受付時間：月～土 9:30～17:30(祝日・弊社指定休日は除く)
※携帯・PHSからもご利用いただけます。
※IP電話等の一部電話機では、ご利用いただけない場合がございます。
商品の詳しい情報は <http://www.zenrin.co.jp/go/s-navi/>
● 地図更新はACアダプター(別売)を使用し、家の中で行ってください。

インターネットを利用して地図を更新する(Web地図更新)

機種によっては、インターネットを利用して地図を更新する「Web地図更新」を利用することができます。対応機種や操作方法については、下記Webサイトをご確認ください。

http://store.zenrin.co.jp/ext/carnavi_update/index.html

リヤビューカメラ／ビデオ映像を表示する

別売のリヤビューカメラ接続ケーブル(CA-PBCX2D)を接続すると、別売のリヤビューカメラ(CY-RC90KD)や市販のビデオカメラなどの映像を表示することができます。

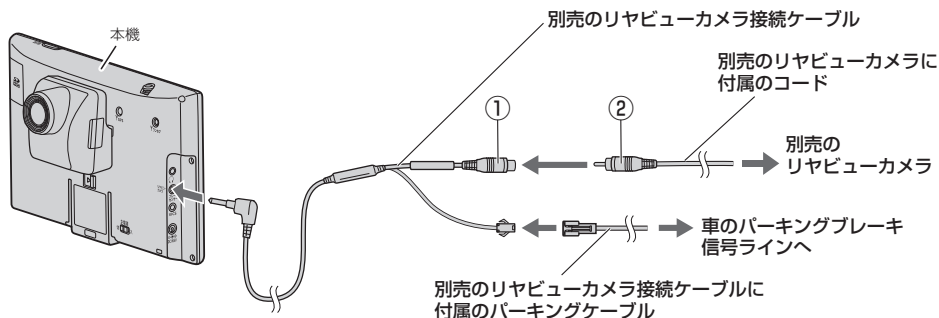
※必ず停車した状態で接続や操作をしてください。

※リヤビューカメラ／ビデオ映像は、車動作時のみ表示することができます。[P.34]

リヤビューカメラを接続する

※リヤビューカメラ(CY-RC90KD)以外は動作保証できません。

システム設定をする

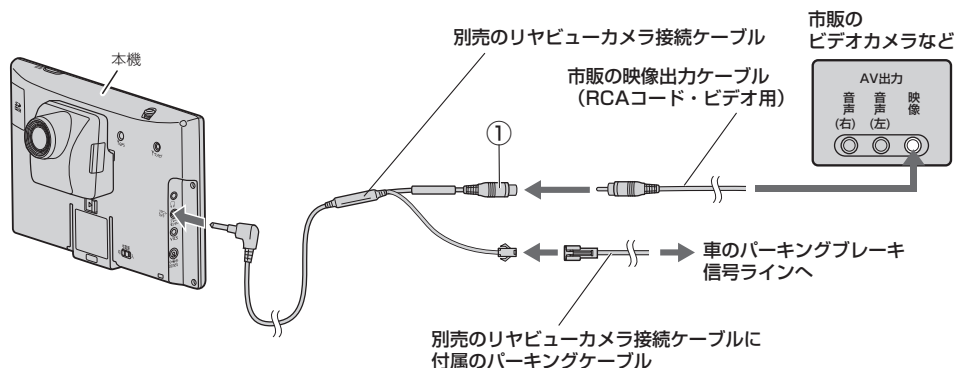


お知らせ

リヤビューカメラ側の電源をリバース以外でとっているときに本機の映像入力切換([P.93])を**自動**に設定した場合は、リヤビューカメラ映像が本機に表示されたままとなり、映像を止めることができません。
この場合、上記図①と②を外し、映像入力切換を**手動**に設定して、再度①と②を接続してください。

ビデオカメラなどを接続する

※接続の前にビデオカメラなどの電源を切ってください。



お知らせ

- 音声は接続できません。音声を出力するには他の機器へ接続してください。
- 本機の映像入力切換([P.93])を**自動**に設定した場合は、ビデオ映像が本機に表示されたままとなり、映像を止めることができません。映像の止めかたについては、[P.93]をご覧ください。

映像入力設定と表示について

1 システム設定画面で **映像入力設定** をタッチする。

P.88

：映像入力設定画面が表示されます。

2 映像入力選択と映像入力切換を設定する。

：メッセージを確認し、**OK** をタッチしてください。



システム設定をする

映像入力選択	映像入力切換	映像を表示する	映像を止める
カメラ *1☆	OFF ☆ 映像を表示しません。	—	—
	手動 *2 手動でリヤビューカメラ映像に切り換えます。	① 現在地の地図画面で LAUNCHER → リヤビューカメラ をタッチする。 ② 車のシフトレバーをリバースに入れる。	① リヤビューカメラ映像を表示中に画面をタッチし、 映像入力OFF をタッチする。
	自動 自動でリヤビューカメラ映像に切り換えます。	① 車のシフトレバーをリバースに入れる。	① 車のシフトレバーをリバース以外に入れる。
ビデオ *3	OFF 映像を表示しません。	—	—
	手動 *2 手動でビデオ映像に切り換えます。	① 現在地の地図画面で LAUNCHER → リヤビューカメラ をタッチする。 ② ビデオカメラなどの電源を入れて再生する。	① ビデオ映像を表示中に画面をタッチし、 映像入力OFF をタッチする。
	自動 自動でビデオ映像に切り換えます。	① ビデオカメラなどの電源を入れて再生する。	① ビデオカメラなどの再生を止めて電源を切る。

☆はお買い上げ時の設定です。

* 1 印…リヤビューカメラ側の電源をリバース以外でとっている場合は、映像入力切換を **手動** に設定してください。

* 2 印…**手動** を選択する場合は、ランチャーボタンに **リヤビューカメラ** を登録する必要があります。

* 3 印…安全上の配慮から車を完全に停車した場合のみビデオ映像を見ることができます。

リヤビューカメラ／ビデオ映像の画質調整をする

- 1 リヤビューカメラまたはビデオ映像を表示し、画面をタッチして **画質調整** をタッチする。

☞ P.93



- 2 調整したい項目をタッチし、**－**／**＋** をタッチして値を調整する。

※ **初期値** をタッチすると画質がお買い上げ時の設定 (明るさ：31／コントラスト：16／色の濃さ：16／色合い：16)に戻ります。



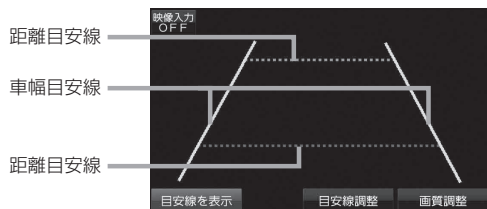
リヤビューカメラ映像の目安線を表示する

- 1 リヤビューカメラ映像を表示し、画面をタッチして **目安線を表示** → **OK** をタッチする。

☞ P.93

：目安線が表示されます。

※再度 **目安線を表示** をタッチすると、目安線が消えます。



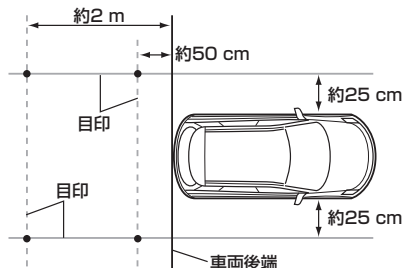
お願い リヤビューカメラの映像だけを見ての後退は絶対に行わないでください。

リヤビューカメラ映像の目安線を調整する

お知らせ

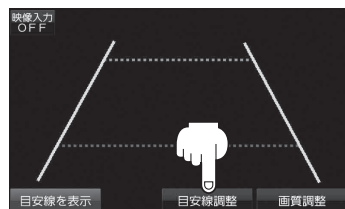
目安線表示機能があるリヤビューカメラを使用する場合は、リヤビューカメラ側の目安線と本機の目安線が二重に表示されるため、本機の目安線は表示しないでください。リヤビューカメラ側の目安線は本機では調整できません。

- 1 車両の幅+両側約25 cm、車両後端から後側へ+約50 cmと+約2 mの位置にガムテープなどで目印をつける。



- 2 リヤビューカメラ映像を表示し、画面をタッチして **目安線を表示** → **OK** → **目安線調整** をタッチする。

[P.93]

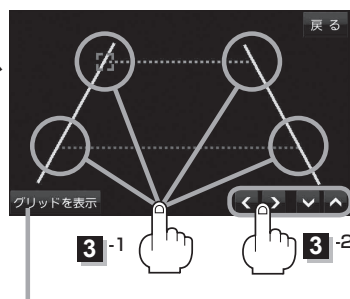


- 3 調整したい目安線の端点(右図 3-1)の任意の1点をタッチし、**◀** / **▶** / **▼** / **▲** で、手順 1 でつけた目印に重なるように調整する。

※ [] マーク(橙色)が表示されている部分の調整ができます。

※ 目安線の調整をして **戻る** をタッチすると確定されます。

※ 車種やリヤビューカメラの取付場所によっては、目印どおりに調整できない場合があります。



画面にグリッド線を表示できます。

故障かな!?

修理を依頼される前に、下記をチェックしてください。それでも異常があるときは、使用を中止してお買い上げの販売店にご連絡ください。

基本的な操作関係

症 状	原 因	処 置	ページ
電源が入らない。	シガーライターコードまたはACアダプター(別売)の接続が不完全。	接続を確認してください。	P.36
	車のシガーライターソケットが汚れている。または、さびている。 ※シガーライターコード使用时	車のシガーライターソケットの汚れ、さびを取り除いてください。	—
	主電源スイッチが入っていない。	本体裏面の主電源スイッチを「入」にしてください。	P.35
	電源が入っていない。	 (電源) を約2秒押して電源を入れてください。	P.35
	本機の電源を切ってからすぐに  (電源) を約2秒押した。	故障ではありません。少し待ってから電源を入れてください。	—
	● 内蔵電池の充電が少なくなっているか、完全に切れている。 ● 充電時間が足りない。	内蔵電池を十分に充電してください。	P.37
	今までの累積使用時間などによって内蔵電池が劣化している。	内蔵電池の交換が必要です。サービスご相談窓口にご相談ください。	P.123
充電ができない。	主電源スイッチが入っていない。	本体裏面の主電源スイッチを「入」にしてください。	P.35
	充電可能温度(+10℃～+35℃)の範囲外で充電している。	充電は必ず+10℃～+35℃の温度範囲で行ってください。	P.14、P.120
高温時に画面が暗くなる。	液晶ディスプレイの保護のため。	故障ではありません。本体の温度が下がると元に戻ります。	—
映像が出ない。	明るさ調整が、一番暗い設定になっている。	明るさを調整してください。	詳細操作編
	画面消しになっている。	 (電源) を押して映像を表示してください。	詳細操作編
本機に登録されていた情報(登録地点など)が消失している。	本機の使用を誤ったり、修理を依頼したなどにより本機に保存した内容が消失する場合があります。	消失したデータについては補償できません。	—
本機が正しく動作しない、または画面が正しく表示されない。	何らかのメカエラー／動作エラーが発生した。	本体裏面の主電源スイッチを「切」にし、しばらくしてから主電源スイッチを「入」にして本機を再起動させてください。	P.35
タッチパネルが操作できない。	液晶ディスプレイに保護シートが貼ってある。	保護シートの種類によってはタッチパネルが誤作動したり反応しない場合があります。保護シートを取り外してご使用ください。	—

現在地(自車)マーク関係

症 状	原 因	処 置	ページ
現在地が正しく表示されない。	走行条件やGPS衛星の状態により、現在地(自車)マークがずれた。	GPS衛星電波を受信してください。	P.19
	車内で使用中の機器(ETC車載器、DSRC車載器、無線機、レーダー探知機など)による電波の妨害。	使用中の機器の電源を切ってください。	—
起動すると現在地(自車)マークが東京駅周辺を表示する。	お買い上げ時に内蔵電池が十分に充電されてないため、自車位置情報(GPS衛星データ)が保持されていない。	シガーライターコードまたはACアダプター(別売)を接続し、目安として1時間程度充電しながらご使用ください。	P.37
車を移動させても地図がスクロールしない。	現在地表示になっていない。	現在地 をタッチしてください。	P.42
現在地(自車)マークが表示されない。	現在地表示になっていない。	現在地 をタッチしてください。	P.42
地図画面のコンパスマークの背景色がいつまでも黒色のまま。	GPSアンテナの上に物が置いてあるため、GPS衛星電波が受信できない。	GPSアンテナの上に物を置いたり、ペンキを塗ったり、シールを貼ったり、ワンセグ用ロッドアンテナを近づけたりしないでください。	—
	トンネルや屋内、高層ビル付近などGPS衛星電波を受信しにくい場所にいる。	電波が入りやすい、見晴らしのよい場所へ移動してください。	—
現在地(自車)マークが止まったままになる。	低速で走行している。	時速約10 km以上で走行してください。	—

目的地/経由地/メニュー項目などが選択または設定できない

症 状	原 因	処 置	ページ
再探索時、経由地を探索しない。	すでに経由地を通過した、または通過したと判断した。	通過した経由地を再び経由したい場合は、再度ルート設定を行ってください。	P.56
ルート情報が表示されない。	ルート探索を行っていない。	目的地を設定し、ルート探索を行ってください。	P.52
	“ルート案内”が停止になっている。	“ルート案内”を開始してください。	P.48
ルート探索後、有料道路出入口付近を通過しても、案内記号が表示されない。	現在地(自車)マークが探索されたルートを行っていない。	探索されたルート上を走行してください。(案内記号は、探索されたルート内容に関係があるマークのみ表示します。)	—
自動再探索ができない。	自動再探索しない設定になっている。	手動で再探索を行ってください。ただし、このときは全ルート探索を行います。	詳細 操作編
経由地が設定できない。	すでに経由地を5カ所設定している。	経由地は5カ所以上設定することはできません。数回に分けて探索を行ってください。	—

ルート探索関係

症 状	原 因	処 置	ページ
探索されたルートが表示されない。	目的地の近くに道路がない。	目的地近くの道路まで位置修正してください。特に、上り下りで道路が別々に表示されているような場所では進行方向に注意の上、道路上に目的地や経由地を設定してください。	—
遠回りなルートを探索する。	探索では、細街路* ¹ を使用しないエリア* ² があるため、遠回りなルートになることがあります。	細街路* ¹ 以外の道路に近づけて設定してください。	—
	出発地、目的地付近の道路に規制がある(一方通行など)ときは、遠回りのルートを探ることがあります。	出発地や目的地を少しずらして設定してください。または、通りたいルートに経由地を設定してください。	—
ランドマークの表示が実際と異なる。	地形データの不備や誤りにより起こることがあります。	地図ソフトが古い場合がありますので、お買い上げの販売店にご相談ください。	—
出発地、経由地、目的地から離れた地点にルートが引かれる。	地図上の出発地、経由地、目的地付近に経路探索用のデータが入っていないため、ルート案内の開始、経由、終了点が離れてしまう。	目的地近くの道路の上に目的地を設定してください。ただし、近くの道路が細街路* ¹ の場合、少し離れた一般道路からルートが引かれる場合があります。	—
意図したルートとは違うルートが引かれる。	目的地の近くに探索可能な道路がない。	目的地と逆の車線に設定されるなど、正しいルートが作れないことがありますので、目的地は最詳細地図で車線などを確認して設定してください。	P.44
	目的地を建物の中心に設定している。		
	中央分離帯のある道路の反対側に目的地・経由地を設定している。	一方通行を考慮してルート探索するので遠回りなルートを引く場合があります。最詳細地図で車線などを確認して設定してください。	P.44

* 1 印…細街路とは道幅5.5 m未満の道路のことです。

* 2 印…政令指定都市、および県庁所在地以外(地図ソフトの更新により変わることがあります。)

音声案内関係

症 状	原 因	処 置	ページ
音声案内しない。	探索されたルートを外れている。	探索されたルートに戻るか、再探索を行ってください。	P.48
	“ルート案内”が停止になっている。	“ルート案内”を開始してください。	P.48
	音量設定の 消音 をタッチして消音にしている。	音量設定の 消音 をタッチして消音を解除してください。	P.68
	ヘッドホン端子にVICSアンテナのコードを誤って接続している。	VICSアンテナ端子の位置を確認し、VICSアンテナのコードを正しく接続してください。	P.41
ヘッドホンから音がでない。	走行中にヘッドホンを使用している。	車を安全な場所に止め、パーキングブレーキをかけた状態でご使用ください。別売品に同梱されているパーキングブレーキ接続ケーブルを使用している場合は、パーキングブレーキ接続ケーブルが正しく接続されているか確認してください。	—
実際の道路と案内が異なる。	音声案内の内容は右左折する方向、他の道路との接続形態などにより異なった内容になる場合があります。	実際の交通ルールに従って走行してください。	—

VICS関係

症 状	原 因	処 置	ページ
VICS情報が表示されない。	本機を家庭動作／電池動作で使用している。	車動作で使用してください。	P.34
	VICS情報を受信していない。	VICS情報を受信していないときは、表示できません。	—
		VICSアンテナを正しく取り付けているか確認してください。	P.30
	表示中の縮尺が1 km以上で表示されている。	表示中の縮尺を500 m以下にしてください。	P.44

「ここいこ」

症 状	原 因	処 置	ページ
本機に接続できない。	BLUETOOTH対応スマートフォンに、「ここいこ」(無料)がインストールされていない。	BLUETOOTH対応スマートフォンに、「ここいこ」(無料)をダウンロードしインストールしてください。	P.62
	BLUETOOTH対応スマートフォンが本機に機器登録されていない。	機器登録してください。	—
	スマートフォンがSerial Port Profile (SPP)に対応していない。	SPPに対応していないと本機で利用できません。	P.62
	BLUETOOTH対応スマートフォンから本機までの距離が離れすぎている。	BLUETOOTH対応スマートフォンを本機に近づけてください。	—
登録したBLUETOOTH対応スマートフォンが自動的に本機と再接続されない。	BLUETOOTH対応スマートフォンのBLUETOOTH機能が無効になっている。	BLUETOOTH機能を有効にしてください。	—
	BLUETOOTH対応スマートフォンを操作して、BLUETOOTHによる本機との接続を解除した。	BLUETOOTH対応スマートフォンを操作して、再度本機と接続してください。それでも接続できない場合は、BLUETOOTH対応スマートフォンの登録機器リストから「Gorilla」を消去し、再度機器登録からやりなおしてください。	P.63
	本機の近くに、他のBLUETOOTH対応スマートフォンや2.4 GHz帯を使用する機器がある。	混信するため、他の機器を本機から離してください。それでも混信する場合は、他の機器の電源を切ってください。	—
	BLUETOOTH対応スマートフォンが金属物に触れている。	金属物から離してください。	—
	BLUETOOTH対応スマートフォンと本機の間には障害物がある。	BLUETOOTH対応スマートフォンと本機の間には障害物を取り除いてください。	—
「ここいこ」のデータを本機で取得できない。	本機とBLUETOOTH対応スマートフォンが接続されていない。	BLUETOOTH接続状態を確認してください。	P.64
	本機の近くに、他のBLUETOOTH対応スマートフォンや2.4 GHz帯を使用する機器がある。	混信するため、他の機器を本機から離してください。それでも混信する場合は、他の機器の電源を切ってください。	—

テレビ(ワンセグ)

症 状	原 因	処 置	ページ
映像が出ない。	明るさ調整が、一番暗い設定になっている。	画面の明るさ調整をしてください。	詳細 操作編
	走行している。	走行中は映像を見ることができません。 音声のみでお楽しみください。	—
内蔵スピーカーの 音声が出ない。	音量調整が最小になっている。	音量を大きくしてください。	P.72
	消音 をタッチして消音している。	消音 をタッチして消音を解除するか — / + をタッチしてください。	P.72
	ヘッドホンを接続している。	ヘッドホンを外してください。	—
ヘッドホンから音が でない。	走行中にヘッドホンを使用している。	車を安全な場所に止め、パーキング ブレーキをかけた状態でご使用く ださい。別売品に同梱されているパー キングブレーキ接続ケーブルを使用 している場合は、パーキングブレー キ接続ケーブルが正しく接続されて いるか確認してください。	—
音声は出るが、映像 が出ない。(停車中)	別売品に同梱されているパーキング ブレーキ接続ケーブルを使用して、 パーキングブレーキをかけていない 状態で停車している。	パーキングブレーキをかけてください。 それでも映像が出ない場合は、パー キングブレーキ接続ケーブルが正しく 接続されているか確認してください。	—
映像のブロックノイズ が出たり、音かとぎれ たり、静止画面、黒画面 となり音声が出なくなる。	ネオンサイン、高圧線、アマチュア 無線、他の自動車などの影響で起こ ることがあります。	妨害電波を受けない場所に移動し てください。	—
字幕が出ない。	字幕のある番組を選局していない。	字幕のある番組を選局してください。	P.77
	字幕表示の設定がされていない。	字幕を設定してください。	詳細 操作編
受信できない。	視聴する地域にエリアが設定されて いない。	視聴する地域にエリア変更をし てください。	P.76
	ワンセグ用ロッドアンテナを伸ばし ていない。	ワンセグ用ロッドアンテナをまっ すぐ上に伸ばしてください。	P.75
番組表が表示される までに時間がかかる。	データ取得中のためです。	多少時間がかかることがあります。	—

音楽再生／画像再生

症 状	原 因	処 置	ページ
音楽再生／画像再生画面を表示しない。	SDメモリーカード未挿入。	再生可能なファイルの入ったSDメモリーカードを挿入してください。	P.40
音楽再生中に大きな雑音が出たり、音が出なかったり、すぐ次の曲にスキップする。	ファイルの形式と拡張子があていない。	MP3形式でないファイルに「.mp3」の拡張子、WMA形式でないファイルに「.wma」の拡張子を付けないでください。	—
SDメモリーカードの再生が始まらない。	本機で認識できないSDメモリーカードを挿入している。	本機で認識できるSDメモリーカードを挿入してください。	P.39、P.40
	結露している。	SDメモリーカードを取り出して電源を切った状態でしばらく放置してから使用してください。	—
表示されない音楽ファイルがある。	本機で再生できない音楽ファイルは表示されません。	再生可能な音楽ファイル(MP3／WMA)をSDメモリーカードに入れてください。	詳細 操作編

動画再生

症 状	原 因	処 置	ページ
動画再生画面を表示しない。	SDメモリーカード未挿入。	再生可能なファイルの入ったSDメモリーカードを挿入してください。	P.40
動画ファイルが再生できない。	本機に対応していないファイル形式で記録されている。	再生可能なファイル形式で、動画ファイル(MP4)を作成してください。	詳細 操作編
動画ファイル再生中にしま状のノイズが発生する。	インターレースの映像を再生した場合、しま状のノイズが発生することがあります。	動画ファイル作成時にインターレース解除を行ってください。	—
		QVGA(320×240)以下のサイズで作成することで、ノイズが抑えられる場合があります。	—
動画ファイル再生中に、下記の症状になる。 ・音とびやコマ落ち ・映像が止まる ・モザイクがでる ・次のファイルにスキップする。	ビットレートが高すぎる。	動画ファイル作成時に、ビットレートを低く設定することで、症状を抑えられる場合があります。	—
	本機に対応していないファイル形式の動画ファイルを再生している。 (対応していないファイルでも途中で再生する場合があります)	再生可能なファイル形式で、動画ファイル(MP4)を作成してください。	詳細 操作編

Myストッカー

症 状	原 因	処 置	ページ
音楽再生／画像再生／ 動画再生が始まらない。	Myストッカーにファイルが存在しない。	SDメモリーカードからMyストッカーへファイルをコピーしてください。	P.81
コピーできない。	● コピーしようとしているファイルの容量が、Myストッカーの空き容量を超えている。 ● Myストッカーにコピー可能な最大ファイル数に達している。	ファイルを削除して空き容量を増やしてください。	詳細 操作編
再生できない。	コピーしたファイルが本機に対応していないファイル形式である。	再生可能なファイルをコピーしてください。	詳細 操作編

カメラユニット

症 状	原 因	処 置	ページ
撮影できない。	カメラユニット専用ケーブルが正しく接続されていない。	カメラユニット専用ケーブルの取り付けを確認してください。	P.20
	カメラユニットにmicroSDHCメモリーカードが挿入されていない。	カメラユニットにmicroSDHCメモリーカードを挿入してください。	P.21
	本機を電池動作で使用している。	本機を車動作または家庭動作で使用してください。	P.34
撮影した映像が正しく表示されない。	microSDHCメモリーカードを本機でフォーマットしていない、またはパソコンでフォーマットしている。	microSDHCメモリーカードを本機でフォーマットしなかったり、本機以外でフォーマットすると正常に動作しない場合がありますので、必ず本機でフォーマットしてください。	P.82
	付属または使用可能microSDHCメモリーカード以外を使用している。	付属または使用可能microSDHCメモリーカードを使用してください。 (4 GB以上、Class6またはClass10)	P.39

こんなメッセージが出たときは

■下記のようなメッセージが表示された場合、原因と処置を参考にもう一度確認してください。

ナビモード

メッセージ表示	メッセージが出る原因	本機の動作および処置	ページ
入力コードが正しくありません。	入力したセキュリティコードが、設定してあるセキュリティコードと違う。	正しいセキュリティコードを入力しないと、本機の操作ができません。正しいセキュリティコードを入力してください。	P.89
SDカードを読めませんでした。SDカードが挿入されているか確認してください。	SDメモリーカードが挿入されていない。	Webサイトから取得したファイルを、SDメモリーカード内の“DRIVE”フォルダに入れ、SDメモリーカードを本機に挿入してください。	詳細 操作編
	SDメモリーカードは挿入されているが、認識できていない。	電源を切り、SDメモリーカードを抜いてから再度確実に挿入し、電源を入れてください。	P.40
地点情報ファイルがSDカードの『DRIVE』フォルダ内にありません。	SDメモリーカード内に該当するファイルがない。	Webサイトから取得したファイルを、SDメモリーカード内の“DRIVE”フォルダに入れ、SDメモリーカードを本機に挿入してください。	詳細 操作編
ルート情報ファイルがSDカードの『DRIVE』フォルダ内にありません。	SDメモリーカード内に該当するファイルがない。	Webサイトから取得したファイルを、SDメモリーカード内の“DRIVE”フォルダに入れ、SDメモリーカードを本機に挿入してください。	詳細 操作編
登録地点がありません。	本機に地点を登録していない。	地点を登録してください。	P.50、 P.51
ファイルの読み込みに失敗しました。	SDメモリーカード内に該当するファイルがない。	本機に登録している登録地点情報をSDメモリーカードに全書き出し(バックアップ)／書き出し(エクスポート)してください。	詳細 操作編
電池の残量がわずかです。充電してください。	電池残量が少なくなった。	内蔵電池を充電するか、シガーライターコードまたはACアダプター(別売)を使用してください。	P.36、 P.37
この機能を利用するためにはAVをオフにしてください。	AVモードを使用している。	AVモードを終了してください。	P.71

ナビモード(VICS)

メッセージ表示	メッセージが出る原因	本機の動作および処置	ページ
受信局が変化しました。情報を受信中です。	VICS情報(レベル1／レベル2)表示中に受信周波数が変わり、FM多重の情報を受信したが、表示可能な情報ではない。	表示可能な情報が受信できるまでは、メッセージが表示されたままとなります。しばらく待っても表示が変わらない場合は、放送エリア外にいるか、エリア内にいるが電波状況が悪く、受信できない可能性があります。	—
情報の受信中です。	表示しようとしている情報が受信できていない。(受信感度は良い)	受信できるまでしばらくお待ちください。	—
サーチ中は登録できません。	FM多重放送局のサーチ中に、 未設定 を長くタッチしてプリセット登録しようとした。	サーチが完了して周波数が表示された後、プリセット登録してください。	詳細 操作編
放送局は登録されていません。	FM多重放送局をプリセット登録していないときに、 未設定 をタッチした。	あらかじめ、放送局をプリセット登録しておかないと、この機能は働きません。	詳細 操作編
情報を受信していません。	受信エリア外にいる。	受信エリア外では、受信できません。	—
	受信エリア内にいるが、電波状況が悪く、受信できない。	場所を移動してみてください。	—
	放送局のサーチ中に 文字情報 / 図形情報 をタッチした。	サーチが完了して周波数が表示された後、左記の操作をしてください。	—
VICS交通情報が表示されません。VICS外部アンテナを接続してください。	VICSアンテナを取り付けずに本機の電源を入れた。	VICSアンテナを取り付けてください。	P.30

困ったとき

テレビ(ワンセグ)

メッセージ表示	メッセージが出る原因	本機の動作および処置	ページ
受信できません。	放送エリア外にいる。	放送エリア外では受信できません。	—
	地形や周囲の構造物などの影響で受信状態が悪い。	受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できない場合があります。	—
	パソコンや携帯電話などを使用している。	車内で使用している機器、無線利用機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください。 また、違法無線局などの影響を受ける場合があります。	—
	放送エリア内にいるが、受信できない。	一般社団法人デジタル放送推進協会(Dpa)で公表されている放送エリアの目安は固定受信機を想定しているため、本機では放送エリア内でも受信できない場合があります。	—

音楽再生

メッセージ表示	メッセージが出る原因	本機の動作および処置	ページ
SDカード内に再生可能な曲がありません。	SDメモリーカード内に本機で再生可能な音楽ファイルがない。	再生可能な音楽ファイル(MP3／WMA)をSDメモリーカードに入れてください。	詳細 操作編
Myストッカーに音楽ファイルをコピーしてください。	Myストッカー内に本機で再生可能な音楽ファイルがない。	再生可能な音楽ファイル(MP3／WMA)をMyストッカーにコピーしてください。	詳細 操作編
SDカードが挿入されていません。SDカードを挿入してください。	SDメモリーカードが挿入されていない。	再生可能な音楽ファイル(MP3／WMA)が入ったSDメモリーカードを挿入してください。	P.40
	SDメモリーカードは挿入されているが認識できない。	電源を切り、SDメモリーカードを抜いてから再度挿入し、電源を入れてください。	P.40
SDカードを認識できません。SDカードを確認してください。	使用できないSDメモリーカードが挿入されている。	SD規格に準拠し、パソコンでFAT16またはFAT32にフォーマットしたSDメモリーカードを使用してください。	P.39

動画再生

メッセージ表示	メッセージが出る原因	本機の動作および処置	ページ
SDカード内に再生可能なファイルがありません。	SDメモリーカード内に本機で再生可能な動画ファイルがない。	再生可能な動画ファイル(MP4)をSDメモリーカードに入れてください。	詳細 操作編
Myストッカーに動画ファイルをコピーしてください。	Myストッカー内に本機で再生可能な動画ファイルがない。	再生可能な動画ファイル(MP4)をMyストッカーにコピーしてください。	詳細 操作編
SDカードが挿入されていません。SDカードを挿入してください。	SDメモリーカードが挿入されていない。	再生可能な動画ファイル(MP4)が入ったSDメモリーカードを挿入してください。	P.40
	SDメモリーカードは挿入されているが、認識できない。	電源を切り、SDメモリーカードを抜いてから再度挿入し、電源を入れてください。	P.40
SDカードを認識できません。SDカードを確認してください。	使用できないSDメモリーカードが挿入されている。	SD規格に準拠し、パソコンでFAT16またはFAT32にフォーマットしたSDメモリーカードを使用してください。	P.39

画像再生

メッセージ表示	メッセージが出る原因	本機の動作および処置	ページ
SDカード内に再生可能な画像がありません。	SDメモリーカード内に本機で再生可能な画像ファイルがない。	再生可能な画像ファイル(JPEG)をSDメモリーカードに入れてください。	詳細 操作編
Myストッカーに画像ファイルをコピーしてください。	Myストッカー内に本機で再生可能な画像ファイルがない。	再生可能な画像ファイル(JPEG)をMyストッカーにコピーしてください。	詳細 操作編
SDカードが挿入されていません。SDカードを挿入してください。	SDメモリーカードが挿入されていない。	再生可能な画像ファイル(JPEG)が入ったSDメモリーカードを挿入してください。	P.40
	SDメモリーカードは挿入されているが、認識できない。	電源を切り、SDメモリーカードを抜いてから再度挿入し、電源を入れてください。	P.40
SDカードを認識できません。SDカードを確認してください。	使用できないSDメモリーカードが挿入されている。	SD規格に準拠し、パソコンでFAT16またはFAT32にフォーマットしたSDメモリーカードを使用してください。	P.39

Myストッカー

メッセージ表示	メッセージが出る原因	本機の動作および処置	ページ
SDカードが挿入されていません。SDカードを挿入してください。	SDメモリーカードが挿入されていない。	SDメモリーカードを挿入してください。	P.40
	SDメモリーカードが挿入されているが、認識できていない。	電源を切り、SDメモリーカードを抜いてから再度挿入し、電源を入れてください。	P.40
SDカードを認識できません。SDカードを確認してください。	使用できないSDメモリーカードが挿入されている。	SD規格に準拠し、パソコンでFAT16またはFAT32にフォーマットしたSDメモリーカードを使用してください。	P.39
コピー可能なファイルがありません。SDカードを確認してください。	SDメモリーカード内にコピー可能なファイルがない。	SDメモリーカードにコピー可能なファイルが入っていることを確認してください。	詳細 操作編
Myストッカー内にファイルがありません。	Myストッカー内にファイルがない。	Myストッカーにファイルをコピーしてください。	P.81
コピー可能なファイルの上限を超えました。これ以上ファイルをコピーできません。	Myストッカー内のファイル数が上限を超えた。	Myストッカー内のファイルを削除してください。	詳細 操作編
Myストッカーの空き容量が不足しています。これ以上データをコピーできません。	Myストッカー内にファイルをコピーするための空き容量がない。	Myストッカー内のファイルを削除してください。	詳細 操作編

カメラユニット

メッセージ表示	メッセージが出る原因	本機の動作および処置	ページ
カメラにSDカードが挿入されていません。SDカードを挿入してください。	microSDHCメモリーカードがカメラユニットに挿入されていない。	microSDHCメモリーカードをカメラユニットに挿入してください。	P.21
カメラのSDカードのパフォーマンスが低下しています。SDカードのフォーマットを行ってください。	microSDHCメモリーカードのパフォーマンスが低下し、フォーマットが必要である。	本機でmicroSDHCメモリーカードのフォーマットを行ってください。	P.82
カメラのSDカードの交換時期になりました。新しいSDカードへの交換をお勧めします。	microSDHCメモリーカードの寿命が近付き、撮影や再生ができなくなる可能性がある。	使用可能な市販のmicroSDHCメモリーカードに交換することをおすすめします。	P.39
保存領域不足のため自動撮影できません。手動撮影や保存フォルダ内の不要なファイルを削除してください。	microSDHCメモリーカード内の自動撮影に使用する保存領域が不足している。	microSDHCメモリーカード内の手動撮影した記録ファイルや保存フォルダ内の記録ファイルなどを削除して、保存領域を確保してください。(削除したくない記録ファイルは、パソコンなどにコピーしてください。)	P.87
保存領域不足のため手動撮影できません。手動撮影や保存フォルダ内の不要なファイルを削除してください。	microSDHCメモリーカード内の手動撮影に使用する保存領域が不足している。	microSDHCメモリーカード内の手動撮影した記録ファイルや保存フォルダ内の記録ファイルなどを削除して、保存領域を確保してください。(削除したくない記録ファイルは、パソコンなどにコピーしてください。)	P.87

本機を廃棄するときのお願い

環境保護と資源の有効活用をはかるため、電池の回収にご協力ください。
電池以外の部分については、各自治体の指示(地域の条例)に従って廃棄してください。

お願い

- 廃棄時以外は絶対に本機を分解しないでください。
- 内蔵電池を取り外す前に「安全上のご注意」(「[P.6](#)」～「[P.13](#)」)を必ずお読みください。
- 内蔵電池を外した状態で製品を使用しないでください。データが壊れる場合があります。
- 内蔵電池を交換する場合は、サービスご相談窓口で有償による交換となります。
分解せずにお近くの「サービスご相談窓口」までお持ちください。

電池のリサイクルについて



本機に内蔵している内蔵電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。
本機を廃棄する際は、内蔵電池を取り出し、リサイクル協力店へお持ちください。

リサイクル協力店について

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、一般社団法人JBRCのWebサイトをご覧ください。
<http://www.jbrc.net/hp/>

電池を取り出す前に

- SDメモリーカードを本機から取り出してください。
- シガーライターコードまたはACアダプター(別売)などを取り外してください。
- 電池が完全に消耗したことで、本機の電源が切れていることを確認してください。
- ドライバー⊕、⊖を用意してください。

内蔵電池の取り外しかた

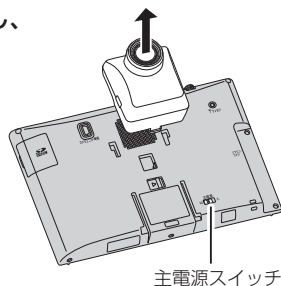
内蔵電池を取り出す際は、本機の電源を入れても動作しないかなど、内蔵電池が完全に消耗したことを確認してください。内蔵電池の容量が残っている場合は、電源が切れるまで内蔵電池で動作させ、必ず本機の主電源スイッチを「切」にしてください。

※取り外しが困難な場合は、お近くの「サービスご相談窓口」までお持ちください。

1

本機の主電源スイッチが「切」になっていることを確認し、カメラユニットを取り外す。

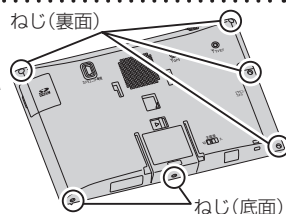
※カメラユニットの取り外しについては
「[P.21](#)」をご覧ください。



必要なとき

2 フロントパネルを本体から外す。

- ① 本機裏面のねじ(4カ所)と本機底面のねじ(2カ所)をドライバー④で外す。

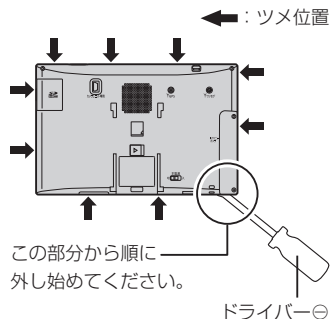


- ② ドライバー④などの工具で、ツメを外しながら、フロントパネルを外す。

：フロントパネルが本体から外れます。

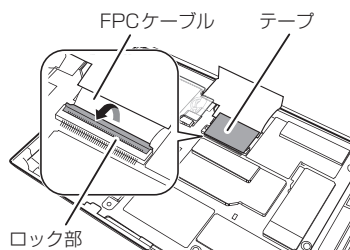
お願い

- 本体とフロントパネルは非常に固くかみ合っていますので、外すときは十分に注意しながら作業を行ってください。
- ドライバーなどの工具類を使用される場合は、誤ってけがをしないよう十分にご注意ください。



3 テープをはがし、FPCケーブル用コネクターのロック部を図の矢印の方向へ上げて解除し、FPCケーブルを外す。

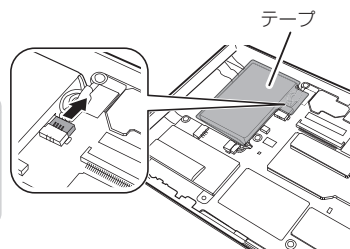
：本体とフロントパネルが分離します。



4 テープをはがし、内蔵電池のコネク터를図の矢印方向へ外す。

お願い

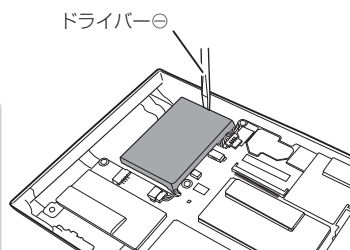
- コネクターの取り外しに金属製のピンセットを使用しないでください。
- 配線は切らずにコネクタから外してください。
- 配線をショートさせないようにしてください。



5 内蔵電池横のすき間からドライバー④などの工具を差し込み、内蔵電池を本体から外す。

お願い

- 内蔵電池は、粘着テープで貼り付けられています。力をかけすぎて、急に外れないように注意してください。
- 取り出した内蔵電池はコネクタ部をテープなどで絶縁し、内蔵電池に固定してポリ袋などに入れてください。



地図ソフトについて

重 要 !!

本使用規定(「本規定」)は、お客様と株式会社ゼンリン(「(株)ゼンリン」)間の「本機」(「機器」)に格納されている地図データおよび検索情報等のデータ(「本ソフト」)の使用許諾条件を定めたものです。本ソフトのご使用前に、必ずお読みください。本ソフトを使用された場合は、本規定にご同意いただいたものとします。

使 用 規 定

1. (株)ゼンリンは、お客様に対し、機器の取扱説明書(「取説」)の定めに従い、本ソフトを本ソフトに格納されている機器で使用する権利を許諾します。
2. (株)ゼンリンは、本ソフトの媒体や取説にキズ・汚れまたは破損があったときは、お客様から本ソフト購入後90日以内にご通知いただいた場合に限り、(株)ゼンリンが定める時期、方法によりこれらが無いものと交換するものとします。但し、本ソフトがメーカー等の第三者(「メーカー」)の製品・媒体に格納されている場合は、メーカーが別途定める保証条件によるものとします。
3. お客様は、本ソフトのご使用前には必ず取説を読み、その記載内容に従って使用するものとし、特に以下の事項を遵守するものとします。
 - (1) 必ず安全な場所に車を停止させてから本ソフトを使用すること。
 - (2) 車の運転は必ず実際の道路状況や交通規制に注意し、かつそれらを優先しておこなうこと。
4. お客様は、以下の事項を承諾するものとします。
 - (1) 本ソフトの著作権は、(株)ゼンリンまたは(株)ゼンリンに著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属すること。
 - (2) 本ソフトは、必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではなく、また、本ソフトの内容・正確性について、(株)ゼンリンは何ら保証しないこと。従って、本ソフトを使用することで生じたお客様の直接または間接の損失および損害について、(株)ゼンリンは何ら保証しないこと。(本ソフトにおける情報の収録は、(株)ゼンリンの基準に準拠しております。また、道路等の現況は日々変化することから本ソフトの収録情報が実際と異なる場合があります。)但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。
 - (3) 本規定に違反したことにより(株)ゼンリンに損害を与えた場合、その損害を賠償すること。
5. お客様は、以下の行為をしてはならないものとします。
 - (1) 本規定で明示的に許諾される場合を除き、本ソフトの全部または一部を複製、抽出、転記、改変、送信すること。
 - (2) 第三者に対し、有償無償を問わず、また、譲渡・レンタル・リースその他方法の如何を問わず、本ソフト(形態の如何を問わず、その全部または一部の複製物、出力物、抽出物その他利用物を含む。)の全部または一部を使用させること。
 - (3) 本ソフトをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすること、その他のこれらに準ずる行為をすること。
 - (4) 本ソフトに無断複製を禁止する技術的保護手段(コピープロテクション)が講じられている場合、これを除去・改変その他方法の如何を問わず回避すること。
 - (5) その他本ソフトについて、本規定で明示的に許諾された以外の使用または利用をすること。

警告



指示

操作は、安全な場所に車を停止させてからおこなってください。
安全な場所以外では追突、衝突されるおそれがあります。

常に実際の道路状況や交通規制標識・標示などを優先して運転してください。

本機に収録されている地図データ、交通規制データ、経路探索結果、音声案内などが実際と異なる場合があります、交通規制に反する場合や、通行できない経路を探索する可能性があるため、交通事故を招くおそれがあります。

一方通行表示については、常に実際の交通規制標識・標示を優先して運転してください。

一方通行表示はすべての一方通行道路について表示されているわけではありません。また、一方通行表示のある区間でも実際にはその一部が両面通行の場合があります。



禁止

運転者は、走行中に操作をしないでください。

運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。

運転中は、画面を注視しないでください。

運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。

本機を救急施設などへの誘導用に使用しないでください。

本機にはすべての病院、消防署、警察署などの情報が含まれているわけではありません。また、情報が実際と異なる場合があります。そのため、予定した時間内にこれらの施設に到着できない可能性があります。

運転者は、走行中にヘッドホンを使用しないでください。

外部の音が聞こえにくくなること等により、交通事故を招くおそれがあります。

【収録情報について】

- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分の1地方図及び2万5千分の1地形図を使用しています。(承認番号 平23情使、第192-B85号)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H・1-No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を使用しています。(承認番号 国地企調発第78号 平成16年4月23日)
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50mメッシュ(標高)を使用しています。(承認番号 平23情使、第768-050号)
- この地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しています。(測量法第44条に基づく成果使用承認13-061)
- 本ソフトに使用している交通規制データは、道路交通法および警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を利用して、MAPMASTERが作成したものを使用しています。
- 本ソフトを無断で複写・複製・加工・改変することはできません。
- 本ソフトに使用している電話番号検索はタウンページ2013年11月のものを使用しています。

-  **vics** は一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。
- “ゼンリン” および “ZENRIN” は株式会社ゼンリンの登録商標です。
- 本ソフトで表示している経緯度座標数値は、日本測地系に基づくものとなっています。
- 道路データは、高速、有料道路についてはおおむね2013年12月、国道、都道府県道についてはおおむね2013年10月までに収集された情報に基づき製作されておりますが、表示される地図が現場の状況と異なる場合があります。
 - ◆ 3D交差点…………… ルート案内時、東・名・阪の主要交差点をリアルデザインで案内します。
※全ての交差点において収録されているわけではありません。
 - ◆ ジャンクションビュー…………… ルート案内時、自動的に高速道路・首都高速道路・都市高速道路のジャンクションをリアルデザインで案内します。
※全ての交差点において収録されているわけではありません。
 - ◆ 方面看板…………… ルート案内時、国道をはじめとした一般道の行き先案内を表示します。
(全国の主要交差点)
※全ての交差点において収録されているわけではありません。
- 細街路規制データは、おおむね2013年7月までに収集された情報に基づき製作されておりますが、表示される規制データが現場の状況と異なる場合があります。
- 経路探索は、2万5千分の1地形図(国土地理院発行)の主要な道路において実行できます。ただし、一部の道路では探索できない場合があります。また、表示された道路が現場の状況から通行が困難なときがあります。現場の状況を優先して運転してください。
- 交通規制は、普通自動車に適用されるもののみです。また、時間・曜日指定の一方通行が正確に反映されない場合もありますので、必ず実際の交通規制に従って運転してください。
- 「市街地図」データは(株)ゼンリン発行の住宅地図に基づき作成しております。なお、当該「市街地図」は地域により作成時期が異なるため、一部整合が取れていない地域があります。また、「市街地図」には、データの整備状況により一部収録されていない地域があります。
- 電話番号検索データはタウンページ(2013年11月発行)をもとに作成しています。タウンページは、NTT東日本およびNTT西日本の商標です。
- 個人宅電話番号検索は、公開「電話番号」および公開電話番号登録者「名字」の入力で、地域に格差がありますが全国で地図検索が可能です。なお、検索された物件の一部では周辺までの表示になる場合があります。
- 2011年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、東北・関東地方の被災地域においては、表示される地図が現地の状況と異なる場合があります。最新の情報は、行政機関などで公開されている情報をご確認ください。
- 本ソフトに使用している渋滞統計情報は、過去の統計情報を基にした渋滞情報表示となります。
(予測データ提供元：NTTデータ 予測の元となる情報：JARTIC／VICSセンター)
なお、ご使用のカーナビゲーション機器によっては、渋滞統計情報が表示されない場合があります。
- VICSリンクデータベースの著作権は、(一財)日本デジタル道路地図協会、(公財)日本交通管理技術協会に帰属しております。なお、本ソフトは、全国47都道府県のVICSレベル3対応データを収録しております。VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)の地図上への表示は毎年、追加・更新・削除され、その削除された部分は経年により一部の情報が表示されなくなることがあります。
※本ソフトの収録エリアには2014年7月時点でVICSサービスが開始されていないエリアも含まれております。VICSサービスの開始時期については(一財)道路交通情報通信システムセンターまでお問い合わせください。

VICS に関するお問い合わせ

(一財)道路交通情報通信システムセンター サービスサポートセンター

電話番号：0570-00-8831

電話受付時間：9：30～17：45(土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く)

※全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。

※PHS、IP電話等からはご利用できません。

FAX：03-3562-1719

【本ソフトの情報について】

本ソフトは、おおむね以下の年月までに収集された情報に基づいて作成されております。

■道路：2013年12月(高速・有料道路)／2013年10月(国道・都道府県道)

■交通規制^{※1}：2013年11月 ■住所検索：2013年11月 ■電話番号検索：2013年11月

■郵便番号検索：2013年11月 ■ジャンル検索：2013年10月 ■高速・有料道路料金^{※2}：2013年12月

■市街地図：2013年7月 ■個人宅電話番号検索：2013年8月

※1：交通規制は普通自動車に適用されるもののみです。

※2：料金表示は、ETCを利用した各種割引などは考慮していません。地図データの作成時期の都合により、新規開通道路にはETCレーン、および料金のデータが収録されていない場合があります。また新規開通道路のパーキングエリア(PA)、サービスエリア(SA)の施設情報は表示されない場合があります。

【VICSレベル3対応データ収録エリア】全国47都道府県

※ただし、本ソフトの収録エリアには2014年7月時点でVICSサービスが開始されていないエリアも含まれております。VICSサービスの開始時期については(一財)道路交通情報通信システムセンターまでお問い合わせください。

2014年7月発行 製作／株式会社ゼンリン

© 2013 一般財団法人日本デジタル道路地図協会

© 2013 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE EAST CORPORATION

© 2013 NIPPON TELEGRAPH AND TELEPHONE WEST CORPORATION

© ジオ技術研究所

© 2013 JTB Publishing, Inc. All Rights Reserved.

© 2014 ZENRIN CO., LTD. All rights reserved.

【ナビソフトユーザー登録について】

株式会社ゼンリンからの新製品情報やバージョンアップ情報、充実したサポートをご提供させていただくために、ナビソフトユーザー登録をお済ませください。

ユーザー登録はこちら>><http://store.zenrin.co.jp/>

※上記サイトへアクセスして、「商品のユーザー登録について」の内容をご確認ください。

ご確認のうえ、必要項目およびお買い求めになった商品コードを入力してください。

地図、ナビソフトユーザー登録に関するお問い合わせ先

株式会社ゼンリン カスタマーサポートセンター

フリーダイヤル 0120-210-616

受付時間 9:30～17:30 月～土(祝日・弊社指定休日は除く)

※携帯・PHSからもご利用いただけます。

※IP電話等の一部電話機では、ご利用いただけない場合がございます。

BLUETOOTHについて

■使用周波数帯

本機では、BLUETOOTH接続中は、2.4 GHz帯の周波数帯を使用します。他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあり、その機器との電波干渉を防ぐため、下記事項に注意してください。

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどでの移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します)があります。

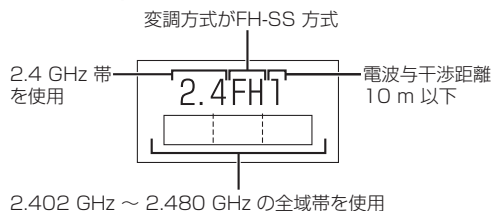
- 1 BLUETOOTHを使う前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認する。
- 2 万一、「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が生じた場合や、何かお困りのことが起きたときは電波の発射を停止した上、お買い上げの販売店または「サービスご相談窓口」(P.123)へご相談ください。

■機器設定(無線局の免許は不要です)

本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けています。ただし、次のことは、法律で罰せられることがあります。

- 分解・改造をする
- 製品銘板をはがす

■周波数表示の見方(製品銘板に記載)



■使用可能距離

見通し距離約 10 m 以内でご使用ください。間に障害物がある場合や、建物の構造などにより、使用可能距離は短くなります。

■他機器からの影響

- 本機と他のBLUETOOTH対応機器や2.4 GHz帯を使用する機器の距離が近いと、電波干渉により、正常動作しないなど、不具合が生じる可能性があります。
- 放送局などが近く電波が強すぎる場合も同じです。

■使用制限

- 全てのBLUETOOTH対応機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
- ワイヤレス通信するBLUETOOTH対応機器は、Bluetooth SIG, Inc.の定める認証が必要です。ただし、認証されていても対応機器の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法・表示・動作が異なる場合があります。
- ワイヤレス通信時は、使用環境などによりセキュリティが十分でない場合がありますのでご注意ください。(BLUETOOTH標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しています)
- ワイヤレス通信時に発生したデータや情報の漏洩について、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■用途制限

- 本機のBLUETOOTH機能を使用するには、BLUETOOTH対応機器がBLUETOOTH標準規格 Ver.1.2以降に対応している必要があります。
- 本機のBLUETOOTH機能を使用するには、BLUETOOTH対応機器がSerial Port Profile(SPP)に対応している必要があります。
- BLUETOOTH対応機器の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法・表示・動作が異なる場合があります。

VICS削除リンクに関する告知

VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)を地図上に表示するためあらかじめ本機に情報提供用の単位(以下、VICSリンクと称します)を設定しています。道路形状や交通施設の変化にとまなない、より正確な情報提供をするため、必要に応じ、毎年、VICSリンクの追加・変更が行われます。過去からのVICSリンクの情報を永続的に提供することは容量などの理由で不可能です。追加・変更が行われた場合、該当のVICSリンクについて3年間は情報提供が行われますが、それ以降は、情報提供が打ち切られることになっております。

このため、VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)の表示は「本製品」発売後、3年程度で一部の道路において情報が表示されなくなることがあります。

VICS 情報有料放送サービス契約約款

第1章 総則

(約款の適用)

第1条 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター(以下「当センター」といいます。))は、放送法(昭和25年法律第132号)第147条の規定に基づき、このVICS 情報有料放送サービス契約約款(以下「この約款」といいます。))を定め、これによりVICS 情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS 情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

- (1) VICS サービス：当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
- (2) VICS サービス契約：当センターからVICS サービスの提供を受けるための契約
- (3) 加入者：当センターとVICS サービス契約を締結した者
- (4) VICS デスクランブラー：FM多重放送局からのスクランブル化(攪乱)された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等

(VICS サービスの種類)

第4条 VICS サービスには、次の種類があります。

- (1) 文字表示型サービス：文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (2) 簡易図形表示型サービス：簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
- (3) 地図重畳型サービス：車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICS サービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICS サービスを提供します。

第3章 契約

(契約の単位)

第6条 当センターは、VICS デスクランブラー1台毎に1のVICS サービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条 VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域(全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内)とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICS サービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICS サービスは、VICS 対応FM受信機(VICS デスクランブラーが組み込まれたFM受信機)を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICSサービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。

- (1) 加入者がVICSデスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
- (2) 加入者の所有するVICSデスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。

- 2 第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料金

(料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める月額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保守

(当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第15条 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。

- 2 当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雑則

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第17条 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。但し、当センターは、当該変更においても、変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

- 2 VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

[別表] 視聴料金 300円(税抜き)

ただし、車載機購入価格に含まれております。

商標などについて

- Windows、Windows CEは、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 本製品は、Microsoft Corporationと複数のサードパーティの一定の知的財産権によって保護されています。本製品以外での前述の技術の利用もしくは配布は、Microsoftもしくは権限を有するMicrosoftの子会社とサードパーティによるライセンスがない限り禁止されています。
- SDHCロゴ、microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。
- マップコードおよびマップコードロゴは株式会社デンソーの商標です。
- まっがるコードおよびまっがるコードロゴは株式会社昭文社の登録商標または商標です。
- 「るるぶDATA」は、株式会社ジェイティービーの登録商標または商標で、株式会社JTBパブリッシングが同社より独占的使用権の許諾を得て利用しています。
- Androidは、Google Inc.の商標です。
- BLUETOOTHワードマークとロゴは、Bluetooth SIG所有であり、ライセンス取得者「パナソニック株式会社」のマーク使用は、許可を得ています。その他のトレードマークおよびトレードネームは各所有者のものです。
- ETCは、一般財団法人道路システム高度化推進機構(ORSE)の登録商標です。
- DSRCは、一般社団法人ITSサービス推進機構(ISPA)の登録商標です。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的又は非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
 - (i) 画像情報をAVC規格に準拠して(以下、AVCビデオ)記録すること。
 - (ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手したAVCビデオを再生すること。詳細についてはMPEG LA, LLCホームページ(<http://www.mpegla.com>)をご参照ください。
- 本製品に搭載のソフトウェアは下記使用目的に限りライセンスされています。

「本製品は、MPEG-4規格のためのAT&T 特許の下でライセンスされ、そして、個人及び非商業目的にのみ、ビデオをエンコードするために、及び/或いは(1)個人及び非商業目的のため、又は、(2)AT&Tの特許に基づきライセンスされたMPEG-4準拠のビデオを提供するビデオプロバイダによってエンコードされたビデオをデコードするために使用することができます。他の目的のためにはライセンスされておりません。」
- 本機搭載のソフトウェアは、Independent JPEG Groupのソフトウェアを一部利用しております。

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
- 本機の説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは、各社の登録商標または商標です。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

本製品には、以下のMozilla Public License(以下「MPL」)の適用を受けるソフトウェアが含まれています。

- 以下のオリジナルコードからの派生コード
js-1.5.tar.gz
- 上記オリジナルコードの初期開発者
Netscape Communications Corporation

お客様は、当社サイトに掲載されるMPLの条件に従い、上記ソフトウェアのソースコードを入手する権利があります。上記ソフトウェアのソースコードの入手方法については、当社サイトをご覧ください。

<http://panasonic.jp/navi/>

なお、ソースコードの中身についてのご質問にはお答えできませんので、あらかじめご了承ください。
また、上記以外の当社が所有権を有するソフトウェアモジュールについては、ソースコード提供の対象とはなりませんのでご了承ください。

当社サイトに掲載されるファイル情報	
・ 修正内容(2011年6月20日公開)	diff.pdf
・ 修正されたソースコード(2011年6月20日公開)	JS.zip
・ Mozilla Public License(2011年6月20日公開)	Mozilla Public License.pdf

本製品には、以下のCamelliaライセンスの適用を受けるソフトウェアが含まれています。

camellia.c ver 1.2.0

Copyright (c) 2006,2007

NTT (Nippon Telegraph and Telephone Corporation) . All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer as the first lines of this file unmodified.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY NTT "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED.

IN NO EVENT SHALL NTT BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

必要
な
と
き

ナビゲーション本体		
外形寸法(幅×高さ×奥行き)		176 mm×113.8 mm×21.5 mm(突起部、カメラユニットは除く)
質量		約365 g(カメラユニットは除く)
推奨動作温度		0℃～+50℃ 0℃～+40℃ (ACアダプター(別売)使用時) ※充電は+10℃～+35℃の範囲で行ってください。
フォーマット		オリジナルメモリーフォーマット
電源		
電源電圧		DC5 V(シガーライターコード使用時)
消費電流		2.5 A
消費電力		12.5 W(ナビゲーション時)
液晶ディスプレイ		
画面寸法	幅×高さ	7V型 152 mm×91 mm
	対角	178 mm
画素数		1152000画素(横800×縦480×3)
有効画素数		99.99 %
表示方式		透過型カラーフィルター方式
駆動方式		TFT(薄膜トランジスタ)アクティブマトリックス方式
使用光源		LEDバックライト
タッチパネル		抵抗感圧式アナログタイプ(フィルム+ガラス)
内蔵スピーカー		
寸法・形状		φ28 mm 丸型
定格出力		1.0 W
最大出力		2.0 W
内蔵GPSアンテナ		
形式		モノポールアンテナ
受信周波数		1575.42 MHz(GPS)／ 1598.0625～1605.3750 MHz(GLONASS)
受信感度		－162 dBm(GPS)／－158 dBm(GLONASS)
受信方式		パラレル32チャンネル
位置更新時間		約1秒(自律航法動作中：約0.5秒)
端子		
電源入力端子		DC5 V(EIAJ 端子)
GPSアンテナ端子		専用コネクタ(MCX)
VICSアンテナ端子		ミニジャック(φ3.5 mm)
ブレーキセンサー端子 (リヤビューカメラ入力端子兼用)		ミニジャック(φ2.5 mm)
ヘッドホン出力端子		ステレオミニジャック(φ3.5 mm)
ワンセグ用アンテナ端子		専用コネクタ(MCX)
カメラユニット専用端子		専用コネクタ

- 液晶ディスプレイのV型は、有効画素の対角寸法を基準とした大きさの目安です。

ワンセグ	
受信可能放送	地上デジタル放送方式(日本) ワンセグ
受信周波数	470 MHz～710 MHz(13 CH～52 CH)
アンテナ	収納式4段階
Bluetooth®	
通信周波数	2402 MHz～2480 MHz
RF出力	0 dBm(1 mW)
通信方式	周波数ホッピングスペクトラム拡散
内蔵リチウムイオン電池	
充電可能温度	+10℃～+35℃
充電時間 (周囲温度 +25℃)	約2時間20分 (シガーライターコードまたはACアダプター(別売)使用/電源「切」)
連続使用可能時間* (満充電、周囲温度 +25℃で使用时) *印…電池の充電時間と使用可能時間は目安です。数値を保証するものではありません。	約1時間30分 ※テレビ(ワンセグ)を受信し、音量/画面の明るさを中間(明るさ自動調整しない)にした場合
電源「切」時の電池保持時間	常温約10日間(電池満充電及び主電源スイッチ「入」の場合)
シガーライターコード	
使用電源	DC12 V/DC24 Vマイナスアース
ヒューズ	5 A
長さ	1.8 m
出力電圧	DC5 V
質量	約85 g
吸盤スタンド	
吸盤寸法(直径)	70 mm
質量	約100 g(吸盤スタンド単体)
スタンド用ストラップの長さ	0.48 m
VICSアンテナ	
出力インピーダンス	75 Ω
コードの長さ	4 m
カメラユニット	
撮像素子	C-MOS
解像度	高画質モード : 1280×720 標準画質モード : 640×368
フレームレート	高画質モード : 27 fps 標準画質モード : 13.5 fps
画角	水平 : 131° 垂直 : 81°
記録メディア	microSDHCメモリーカード
記録ファイル形式	H.264 AVI
外形寸法(幅×高さ×奥行き)	51.4 mm×54.7 mm×44.5 mm(突起部は除く)
質量	約75 g
カメラユニット専用ケーブルの長さ	45 mm

保証とアフターサービス

よくお読みください

■ 使いかた・お手入れ・修理などは…

まず、お買い上げの販売店へご相談ください

お買い上げの際に記入されると便利です。

販売店名	製造番号 ()
電話 () -	万一の故障や盗難時のために、9桁の製造番号をメモしておいてください。製造番号は、本機の裏面および保証書に記載されています。
お買い上げ日 年 月 日	

修理をされるときは

「困ったとき」(P.96)でご確認のあと、なおらないときは、まず接続している電源を外して、お買い上げ日と右の内容を販売店へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容	
製品名	SSD ポータブルカーナビゲーション
品番	CN-GP747VD
故障の状況	できるだけ具体的に

- 保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間（ただしmicroSDHCメモリーカードは除く）

- 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により有償にて修理させていただきます。

補修用性能部品の保有期間 **8年**

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後8年保有しています。

転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください

- 使いかた・お手入れなどのご相談は…

- 修理に関するご相談は…

「サービスご相談窓口」(P.123)におかけください。

必要なとき

パナソニック お客様ご相談センター	
電話	0120-50-8729 ※ 携帯電話・PHSからもご利用になれます。
	■ 上記番号がご利用いただけない場合 045-929-0511 ※ 通話料は、お客様のご負担となります。
	受付：9:00～18:30（365日）
FAX	045-938-1573 ※ 通話料は、お客様のご負担となります。
	受付：9:00～18:30 （土日・祝日・当社休日を除く）

- ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- 上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■ 使いかた・お手入れなどのご相談は…

パナソニック 総合お客様サポートサイト

<http://www.panasonic.com/jp/support/>

■ 修理に関するご相談は…

パナソニック 修理サービスサイト

http://panasonic.co.jp/pas/customer/ad_service.html

パナソニック お客様ご相談センター

電話  **0120-50-8729**
※ 携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■ 上記番号がご利用いただけない場合
045-929-0511
※ 通話料は、お客様のご負担となります。

受付：9:00～18:30 (365日)

FAX **045-938-1573**
※ 通話料は、お客様のご負担となります。

受付：9:00～18:30
(土・日・祝日・当社休日を除く)

- ご使用の回線 (IP 電話やひかり電話など) によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- 本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。
- 上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

愛情点検		長年ご使用のSSDポータブルカーナビゲーションの点検を！	
	こんな症状はありませんか	● 煙が出たり、異常なおいや音がする ● 映像や音声が乱れたり出ないことがある ● 内部に水や異物が入った ● 変形や破損した部分がある ● その他の異常や故障がある	
	ご使用中止	事故防止のため、電源を切り、シガーライターコードやACアダプターを外して、必ず販売店に点検をご依頼ください。	

パナソニック株式会社
オートモーティブ & インダストリアルシステムズ社
 〒224-8520 横浜市都筑区池辺町4261番地

© Panasonic Corporation 2014

Printed in China

HDQG6005010
 YEFM0600383 S0414-0